

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|---|
| <p>添付資料 2.1.5 使用済燃料ピット (SFP) 大規模漏えい時の対応について</p> <p>使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における、使用済燃料ピットの優先順位に従った事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) 使用済燃料ピットの漏えい緩和のための操作を実行するための最も重要な判断は、使用済燃料ピット（建屋）へのアクセス可否となる。これは被害状態（火災の発生状況、線量等）に依存する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットへアクセス可能な場合には、準備から注水するまでの時間が比較的短い恒設設備（No.3 淡水タンク及びNo.2 淡水タンク）を用いた使用済燃料ピット注水操作を実行する。</p> <p>(3) (2)の操作により使用済燃料ピット水位の維持ができない場合、1次系補給水ポンプ、ポンプ車、送水車又は化学消防自動車を用いて使用済燃料ピットへ注水操作を試みる。</p> | <p>添付資料 2.1.12 使用済燃料プール大規模漏えい時の対応について</p> <p>1. 使用済燃料プールにおける事故対応 使用済燃料プールに大規模漏えいが発生した場合における優先順位に従った使用済燃料プールの事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) 使用済燃料プールの漏えい緩和のための操作を実施するに当たり、最も重要な判断は使用済燃料プール（原子炉建屋）へのアクセス可否となる。これは現場の被害状態（火災の発生状況、線量等）に依存する。</p> <p>(2) 常設設備による注水が可能場合には、使用済燃料プールへの注水手段として、準備から注水するまでの時間が比較的短い常設設備（燃料プール補給水系、残留熱除去系（燃料プール水の補給）又はろ過水系）を用いた使用済燃料プールへの注水を行う。</p> <p>(3) (2)による使用済燃料プールへの注水が行えない場合、燃料プール代替注水系（常設配管）を用いた使用済燃料プールへの注水を実施する。また、燃料プール代替注水系（常設配管）を用いた注水が困難な場合、使用済燃料プールへのアクセスが可能であれば燃料プール代替注水系（可搬型）を用いた注水を行う。</p> | <p>添付資料 2.1.6 使用済燃料ピット大規模漏えい時の対応について</p> <p>1. 使用済燃料ピットにおける事故対応 使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における、優先順位に従った使用済燃料ピットの事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) 使用済燃料ピットの漏えい緩和のための操作を実施するに当たり、最も重要な判断は使用済燃料ピット（燃料取扱棟）へのアクセス可否となる。これは現場の被害状態（火災の発生状況、線量等）に依存する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットへアクセス可能な場合には、準備から注水するまでの時間が比較的短い常設設備（燃料取替用水ポンプ、2次系補給水ポンプ、1次系補給水ポンプ）又は消火設備（消火ポンプ又は化学消防自動車）を用いた使用済燃料ピットへの注水を行う。</p> <p>(3) (2)の操作により使用済燃料ピット水位の維持ができない場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いた使用済燃料ピットへの注水を実施する。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】【女川】資料番号の相違 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（使用済燃料ピットへの注水手段の記載） ・泊は、女川審査実績を踏まえ、通常時の補給に使用する燃料取替用水ポンプ及び2次系補給水ポンプを含めて記載する。また、技術的能力1.11での優先順位の考え方や大規模損壊発生時の使用済燃料冷却のための戦略の考え方に沿って文章を構成する。 ・記載する設備に相違はあるが、注水のための設備として準備時間の短い常設設備を優先して使用することに相違はない。</p> <p>【大阪】設備名称の相違 ・送水車⇔可搬型大型送水ポンプ車（以降、相違理由の記載を省略する。）</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・泊は、重大事故等対策として可搬型のポンプ及び可搬型ホースを用いた注水を実施することとしており、常設配管を使用した注水手段は自主対策として位置付けていることから、大阪と同様に、書き分けをしていない。ただし、大規模損壊に特化した手順として、(6)項で示すとおり、使用済燃料ピットへアクセスできない場合を想定し、可搬型大型送水ポンプ車を使用済燃料ピット脱塩塔樹脂床で、ラインに接続して、使用済燃料ピットへ注水する手順を整備する。</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|--|---|
| <p>(4) (3)による使用済燃料ピットへの注水を行っても水位が維持できない場合、原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）内部からのスプレ이가可能であれば、送水車又は化学消防自動車を用いた使用済燃料ピットスプレイ操作を実行する。</p> <p>(5) (4)と並行して、使用済燃料ピットの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料ピット内側からの漏えい緩和を試みる。</p> <p>(6) 使用済燃料ピットへアクセス出来ない場合や建屋内部での使用済燃料ピットスプレイが困難な場合、送水車又は化学消防自動車を用いた建屋外部からのスプレイ操作を実施する。</p> <p>また、大容量ポンプ（放水砲用）を用いた使用済燃料ピットへの放水操作を実施する。</p> | <p>(4) (2)又は(3)による使用済燃料プールへの注水を行っても水位が維持できない場合、原子炉建屋内部からのスプレ이가可能であれば、燃料プールのスプレイ系（常設配管）による使用済燃料プールへのスプレイを行う。また、燃料プールのスプレイ系（常設配管）を用いた使用済燃料プールへのスプレイが困難な場合、使用済燃料プールへのアクセスが可能であれば燃料プールのスプレイ系（可搬型）を用いたスプレイを行う。</p> <p>(5) また、使用済燃料プールへのスプレイと並行して、使用済燃料プールの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料プール内側からの漏えい緩和を行う。</p> <p>(6) 使用済燃料プールへアクセスできない場合や原子炉建屋内部での使用済燃料プールのスプレイが困難な場合、</p> <p>放水設備（大気への拡散抑制設備）による対応を行う。</p> | <p>(4) (3)による使用済燃料ピットへの注水を行っても水位が維持できない場合、燃料取扱棟内部からのスプレ이가可能であれば、可搬型大型送水ポンプ車又は化学消防自動車を用いた使用済燃料ピットへのスプレイを行う。</p> <p>(5) (4)と並行して、使用済燃料ピットの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料ピット内側からの漏えい緩和を行う。</p> <p>(6) 使用済燃料ピットへアクセスできない場合は、可搬型大型送水ポンプ車を使用済燃料ピット脱塩塔樹脂充てんラインへ接続して使用済燃料ピットへ注水する手段を試みる。ただし、周辺の放射線量率が上昇している場合は、速やかな使用済燃料ピットへのスプレイが必要であることから(7)を優先する。</p> <p>(7) 使用済燃料ピットへアクセスできない場合や燃料取扱棟内部での使用済燃料ピットスプレイが困難な場合、可搬型大型送水ポンプ車又は化学消防自動車を用いた建屋外部からのスプレイを行う。</p> <p>また、放水設備（大気への拡散抑制設備）による対応を行う。</p> | <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯と同様に、(3)項の注水操作は(2)項の注水を実施しても水位を維持できない場合に実施するため、(4)項にて再度『(2)項の注水での水位維持不可の場合』に関する記載はしない。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、『建屋』の内部からのスプレイということを意図することから、「燃料取扱棟」と記載する。 <p>【女川】対応手段の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯と同様に、可搬型のポンプ及び可搬型ホースを用いたスプレイを実施することとしており、女川のようなスプレイを目的とした常設配管は設けていない。（詳細は、技術的能力1.11にてご説明。） <p>【大飯】設備・手順の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、使用済燃料ピットの近傍へのアクセスが困難な場合の注水手段として、可搬型大型送水ポンプ車を使用済燃料ピット脱塩塔の樹脂充てんラインに接続して、使用済燃料ピットへ注水する手順を整備する。 <p>【女川】対応手段の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、大飯と同様に、放水砲に比べて準備時間の短い使用済燃料ピットへのスプレイに用いる設備により建屋外部からのスプレイを行う手順を整備する。（建屋外部からのスプレイの詳細については、3.(4)c.項にて示す。） <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|------------------------------|---|---|---|------------|---|---|---|---|---|------------------|---|---|---|---|---|---------------|--|--|---|---|---|------------|---|---|---|---|---|------------------|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|-----------------|---|---|---|---|---|----------------------|--|--|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---------------|---|---|---|---|---|---|---------------|---|---|---|---|------------|---|---|---|---|----------------------|---|---|---|---|----------------------|---|---|---|---|----------------------|---|---|---|---|----------------------|---|---|---|---|--------------------------|---|---|---|---|--------------------------|---|---|---|---|------|---|---|---|---|---|------|---|---|---|---|------------|---|---|---|---|------------------|---|---|---|---|------------------|--|--|---|---|------------|---|---|---|---|------------------|---|---|---|---|---------------|---|---|---|---|------------------|--|--|---|---|------|---|---|---|---|---------------|---|---|---|---|--|
| <p>重大事故時の使用済燃料ピットの監視対応フロー</p> | <p>2. 重大事故を想定した使用済燃料プールの監視対応フロー</p> <p>※1 燃料プール補給水系、残留熱除去系（燃料プール水の補給）又は普通水系による注水。 ※2 資機材等による漏えい緩和措置が有効な場合は実施する。</p> | <p>2. 重大事故を想定した使用済燃料ピットの監視対応フロー</p> | <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p><各設備の監視機能></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器名称</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済燃料ピット水位</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ピット水位</td> <td></td> <td></td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>空間線量率</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット区域エアモニタ</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エアモニタ</td> <td></td> <td></td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>状態監視</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 青：設計基準対象施設 赤：重大事故等対応設備</p> | 計器名称 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 使用済燃料ピット水位 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット水位 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | 可搬式使用済燃料ピット水位 | | | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット温度 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット温度 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | 空間線量率 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット区域エアモニタ | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | 可搬式使用済燃料ピット区域周辺エアモニタ | | | 青 | 青 | 青 | 状態監視 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット監視カメラ | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | <p>第1図 使用済燃料プールの監視対応フロー</p> <p>第1表 各設備の監視機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器 (パラメータ) 名称</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料貯蔵プール水位計</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位 (ガイドバルブ式)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (低線量)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>状態監視</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> | 計器 (パラメータ) 名称 | ① | ② | ③ | ④ | 燃料貯蔵プール水位計 | ○ | ○ | ○ | - | 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | 使用済燃料プール水位 (ガイドバルブ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (低線量) | ○ | ○ | ○ | - | 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量) | - | - | - | - | 状態監視 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>第1図 使用済燃料ピットの監視対応フロー</p> <p>第1表 各設備の監視機能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器名称</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済燃料ピット水位</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td></td> <td></td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピットエアモニタ</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型エアモニタ</td> <td></td> <td></td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>状態監視</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> <td>青</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 青：設計基準対象施設 赤：重大事故等対応設備</p> | 計器名称 | ① | ② | ③ | ④ | 使用済燃料ピット水位 | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット水位 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット水位 (可搬型) | | | 青 | 青 | 使用済燃料ピット温度 | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット温度 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピットエアモニタ | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ | | | 青 | 青 | 状態監視 | 青 | 青 | 青 | 青 | 使用済燃料ピット監視カメラ | 青 | 青 | 青 | 青 | |
| 計器名称 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット水位 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット水位 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬式使用済燃料ピット水位 | | | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット温度 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット温度 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空間線量率 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット区域エアモニタ | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬式使用済燃料ピット区域周辺エアモニタ | | | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 状態監視 | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット監視カメラ | 青 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計器 (パラメータ) 名称 | ① | ② | ③ | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料貯蔵プール水位計 | ○ | ○ | ○ | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール水位 (ガイドバルブ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (低線量) | ○ | ○ | ○ | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量) | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 状態監視 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計器名称 | ① | ② | ③ | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット水位 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット水位 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット水位 (可搬型) | | | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット温度 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット温度 (AM用) | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピットエアモニタ | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ | | | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 状態監視 | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット監視カメラ | 青 | 青 | 青 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--|--------|----------|------|---|---|------|------|----|------------------|-----|----|--------|------|-----------|---|--|---------|--|--|-------|--|-----------|------------------|-------|-------|------|---|---|--|------|------|----|----|------------------|-----|----|----|--------|------|----|---------|--------------------|
| <p style="text-align: right;">添付5-1</p> <p>使用済燃料ピットへのスプレイ手順の妥当性について (1) 使用済燃料ピットへの必要スプレイ流量について 送水車等による使用済燃料ピット（以下「SFP」という）への注水によってもSFP水位を維持できないような漏えいが生じた場合に実施するSFPスプレイ手順について、SFP内に保管されている照射済燃料の冷却に必要なスプレイ流量を算出する。</p> <p>a. 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SFP内の冷却水が流出して燃料が全露出している状態を想定する。 ・崩壊熱をスプレイ水により冷却できるスプレイ流量を算出する。 ・スプレイ水の温度は保守的に見積っても40℃程度であるが、顕熱冷却による効果は考慮せずに飽和水（大気圧下）と仮定する。 ・想定する崩壊熱は、定検中（全炉心燃料取出し後）と出力運転中（定検終了直後）の2ケースを評価する。（SFPの有効性評価と同一の発熱量） | <p>3. 使用済燃料プールへのスプレイ手順の妥当性について</p> | <p>3. 使用済燃料ピットへのスプレイ手順の妥当性について (1) 使用済燃料ピットへの必要スプレイ流量について 可搬型大型送水ポンプ車等による使用済燃料ピットへの注水によっても使用済燃料ピット水位を維持できないような規模の漏えいが生じた場合に実施する使用済燃料ピットスプレイ手順について、使用済燃料ピット内に保管されている照射済燃料の冷却に必要なスプレイ流量を算出する。</p> <p>a. 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ピット内の冷却水が流出して燃料が全露出している状態を想定する。 ・崩壊熱をスプレイ水により冷却できるスプレイ流量を算出する。 ・スプレイ水の温度は保守的に見積っても40℃程度であるが、顕熱冷却による効果は考慮せずに飽和水（大気圧下）と仮定する。 ・想定する崩壊熱は、定検中（全炉心燃料取出し後）と出力運転中（定検終了直後）の2ケースを評価する。（使用済燃料ピットの有効性評価と同一の発熱量） | <p>【大飯】資料構成の相違</p> <p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は必要なスプレイ流量は4項で整理している。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は本添付資料においては「使用済燃料ピット」を「SFP」と読み替えない（以降、相違理由の記載を省略する。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">大飯3（4）号炉</th> </tr> <tr> <th>3（4）号炉</th> <th>1号炉及び2号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃焼条件</td> <td> <燃焼度> 3回照射燃料 55,000MWd/t 2回照射燃料 36,700MWd/t 1回照射燃料 18,300MWd/t <ウラン濃縮度> 4.8wt% </td> <td> <燃焼度> 3回照射燃料 55,000MWd/t <ウラン濃縮度> 4.8wt% </td> </tr> <tr> <td>運転期間</td> <td>13ヶ月</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>停止期間（定期検査での停止期間）</td> <td>30日</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>燃料取出期間</td> <td>8.5日</td> <td>21ヶ月冷却後輸送</td> </tr> </tbody> </table> | | 大飯3（4）号炉 | | 3（4）号炉 | 1号炉及び2号炉 | 燃焼条件 | <燃焼度> 3回照射燃料 55,000MWd/t 2回照射燃料 36,700MWd/t 1回照射燃料 18,300MWd/t <ウラン濃縮度> 4.8wt% | <燃焼度> 3回照射燃料 55,000MWd/t <ウラン濃縮度> 4.8wt% | 運転期間 | 13ヶ月 | 同左 | 停止期間（定期検査での停止期間） | 30日 | 同左 | 燃料取出期間 | 8.5日 | 21ヶ月冷却後輸送 | <p style="text-align: center;">第2表 泊発電所3号炉 崩壊熱評価条件^{※1}</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">泊発電所3号炉</th> </tr> <tr> <th colspan="2">3号炉燃料</th> <th>1号及び2号炉燃料</th> </tr> <tr> <th>ウラン・プルトニウム混合酸化燃料</th> <th>ウラン燃料</th> <th>ウラン燃料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃焼条件</td> <td> ・燃焼度： 3回照射燃料 45,000MWd/t 2回照射燃料 35,000MWd/t^{※2} 1回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当 </td> <td> ・燃焼度： 3回照射燃料 55,000MWd/t 2回照射燃料 36,700MWd/t 1回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt% </td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転期間</td> <td>13ヶ月</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>停止期間（定期検査での停止期間）</td> <td>30日</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>燃料取出期間</td> <td>7.5日</td> <td>同左</td> <td>2年冷却後輸送</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※1：泊発電所3号炉 ウラン・プルトニウム混合酸化燃料使用に伴う原子炉設置変更許可申請（平成21年3月申請）安全審査における使用済燃料ピット冷却設備の仕様条件 ※2：ウラン・プルトニウム混合酸化燃料は、2回照射で取り出されることも考えられることから、2回照射ウラン・プルトニウム混合酸化燃料の燃焼度は最高燃焼度の2/3である30000MWd/tより高めの35000MWd/tに設定している。なお、安全審査等での評価に用いたウラン・プルトニウム混合酸化燃料を炉心における2回照射取出ウラン・プルトニウム混合酸化燃料の燃焼度の最高値は31,200MWd/tであり、33000MWd/tに包絡される。</small></p> | | 泊発電所3号炉 | | | 3号炉燃料 | | 1号及び2号炉燃料 | ウラン・プルトニウム混合酸化燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | 燃焼条件 | ・燃焼度： 3回照射燃料 45,000MWd/t 2回照射燃料 35,000MWd/t ^{※2} 1回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当 | ・燃焼度： 3回照射燃料 55,000MWd/t 2回照射燃料 36,700MWd/t 1回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt% | | 運転期間 | 13ヶ月 | 同左 | 同左 | 停止期間（定期検査での停止期間） | 30日 | 同左 | 同左 | 燃料取出期間 | 7.5日 | 同左 | 2年冷却後輸送 | <p>【大飯】記載表現の相違</p> |
| | | 大飯3（4）号炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3（4）号炉 | 1号炉及び2号炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃焼条件 | <燃焼度> 3回照射燃料 55,000MWd/t 2回照射燃料 36,700MWd/t 1回照射燃料 18,300MWd/t <ウラン濃縮度> 4.8wt% | <燃焼度> 3回照射燃料 55,000MWd/t <ウラン濃縮度> 4.8wt% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転期間 | 13ヶ月 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 停止期間（定期検査での停止期間） | 30日 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料取出期間 | 8.5日 | 21ヶ月冷却後輸送 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 泊発電所3号炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3号炉燃料 | | 1号及び2号炉燃料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ウラン・プルトニウム混合酸化燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃焼条件 | ・燃焼度： 3回照射燃料 45,000MWd/t 2回照射燃料 35,000MWd/t ^{※2} 1回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当 | ・燃焼度： 3回照射燃料 55,000MWd/t 2回照射燃料 36,700MWd/t 1回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転期間 | 13ヶ月 | 同左 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 停止期間（定期検査での停止期間） | 30日 | 同左 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料取出期間 | 7.5日 | 同左 | 2年冷却後輸送 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、次ページより再掲】

燃料取出スキーム（大飯3（4）号炉燃料取出直後）

| 燃料の種類 | 主炉燃料 | | | | 1号及び2号炉燃料 | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|
| | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 |
| ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 |
| MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

*： 燃焼熱の合計は、既述5名の範囲で既*の発生燃焼の合計とはならない場合がある。
注1：大飯1～4号炉(5,000MW)燃料燃焼等に付する原子力発電所変更許可申請（平成14年8月申請）安全審査における5号炉建設の経緯条件
注2：大飯3（4）号炉のSFPの燃料燃焼容量は、2、1299t

第3表 泊発電所3号炉 燃料取出スキーム（燃料取出直後）

【大飯】記載表現の相違

| 燃料の種類 | 主炉燃料 | | | | 1号及び2号炉燃料 | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|
| | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 |
| ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 |
| MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

注1：2号炉ウラン燃料の燃焼容量は、1,299t
注2：泊発電所3号炉の燃焼容量は、1,299t

第4表 泊発電所3号炉 燃料取出スキーム（定検終了直後）

| 燃料の種類 | 主炉燃料 | | | | 1号及び2号炉燃料 | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|
| | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 | 燃料の種類 |
| ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 | ウラン燃料 |
| MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 | MOX燃料 |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

注1：2号炉ウラン燃料の燃焼容量は、1,299t
注2：泊発電所3号炉の燃焼容量は、1,299t

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| <p>b. 評価式</p> <p>SFP内燃料体の崩壊熱をスプレイ水の気化熱によって取り除くために必要なスプレイ流量は、SFP内燃料体の崩壊熱Qによるスプレイ水の蒸散量$\Delta V / \Delta t$ (m³/h)に等しいとして、下式で計算した。</p> $\Delta V / \Delta t \text{ [m}^3\text{/h]} = Q \text{ [kW]} \times 3600 / (\rho \text{ [kg/m}^3\text{]} \times h_{fg} \text{ [kJ/kg]}) \times 1$ <p>ρ (飽和水密度) : 958kg/m³ ※2 h_{fg} (飽和水蒸発潜熱) : 2,257kJ/kg ※2 Q (貯蔵槽内燃料体の崩壊熱) : 11,674kW ※3 (停止時最大値)</p> <p>*1: ($\rho \times \Delta V$) (kg)の飽和水が蒸気になるための熱量は$h_{fg} \times (\rho \times \Delta V)$ (kJ)で、貯蔵槽内燃料体のΔt時間あたりの崩壊熱$Q \Delta t$に等しい。 なお、保水は保守的に大気圧下での飽和水(100℃)として評価している。 *2: 物性値の典拠: 国立天文台編「理科年表」 *3: 燃料取出スキーム (次頁) 参照</p> | <p>【比較のため、比較表 添付 2.1.6-16 ページより再掲】</p> <p>(3) 判定基準 放水試験の判定基準を以下に示す。 ①使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱(6.7MW)を除去するために必要なスプレイ流量* (約9.7m³/h)を満足すること。 ②使用済燃料プール全域にスプレイ可能であること。 * : 使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱Q[kW]を除去するために必要なスプレイ流量V[m³/h]は、以下の式により求められる。</p> $V = Q \div (H_{SH} + H_{SL}) \times m \times 3600$ <p>H_{SH} : 水の顕熱(40℃~100℃)(大気圧) [kJ/kg] H_{SL} : 水の蒸発潜熱[kJ/kg] m : 水の比容積[m³/kg]</p> | <p>b. 評価式</p> <p>使用済燃料ピット内燃料体の崩壊熱を除去するために必要なスプレイ流量は、使用済燃料ピット内燃料体の崩壊熱Q[kW]によるスプレイ水の蒸発水量$\Delta V / \Delta t$ [m³/h]に等しいとして、下式で計算した。</p> $\Delta V / \Delta t \text{ [m}^3\text{/h]} = Q \text{ [kW]} \times 3,600 / (\rho \text{ [kg/m}^3\text{]} \times h_{fg} \text{ [kJ/kg]}) \text{ ※1}$ <p>ρ (飽和水密度) : 958 [kg/m³]^{※2} h_{fg} (飽和水蒸発潜熱) : 2,256.5 [kJ/kg]^{※3} Q (使用済燃料ピット内燃料体の崩壊熱) : 11,508 [kW]^{※4} (停止時最大値)</p> <p>※1: ($\rho \times \Delta V$) [kg]の飽和水が蒸気になるための熱量は$h_{fg} \times (\rho \times \Delta V)$ [kJ]で、使用済燃料のΔt時間当たりの崩壊熱量$Q \Delta t$に等しい。 なお、スプレイ水は保守的に大気圧下での飽和水(100℃)として評価している。 ※2: 物性値の典拠 国立天文台編 2011年「理科年表」 ※3: 1999 日本機械学会蒸気表 ※4: 燃料取出スキーム (第3表及び第4表) 参照</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプレイ流量の計算式における各パラメータの対応は以下のとおり。 <p>女川 泊, 大飯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ V ⇔ $\Delta V / \Delta t$ ・ Q ⇔ Q ・ H_{SH} ⇔ h_{fg} ・ m ⇔ $1/\rho$ <p>なお、泊と大飯は、保守的にスプレイ水の顕熱冷却による効果を考慮せずに評価することから、女川のH_{SH}に相当するパラメータは考慮していない。その点を除き、評価式に相違はない。</p> <p>【大飯】パラメータの相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飽和水の蒸発潜熱の値が若干異なるが、必要なスプレイ流量への影響としては軽微である。なお、この数値は有効性評価(想定事故1, 2)のものと同様である。(伊方3号, 玄海3/4号も泊と同じ数値で評価している。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>燃料取出スキーム (大飯3(4)号炉燃料取出直後)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>燃料種別</th> <th>大飯3(4)号炉燃料取出直後</th> <th>大飯3(4)号炉燃料取出直後</th> <th>大飯3(4)号炉燃料取出直後</th> <th>大飯3(4)号炉燃料取出直後</th> <th>大飯3(4)号炉燃料取出直後</th> </tr> <tr> <th></th> <th>燃料種別</th> <th>燃料種別</th> <th>燃料種別</th> <th>燃料種別</th> <th>燃料種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済燃料</td> <td>使用済燃料</td> <td>使用済燃料</td> <td>使用済燃料</td> <td>使用済燃料</td> <td>使用済燃料</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table> | | | 燃料種別 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | | 燃料種別 | 燃料種別 | 燃料種別 | 燃料種別 | 燃料種別 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | |
| 燃料種別 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | 大飯3(4)号炉燃料取出直後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 燃料種別 | 燃料種別 | 燃料種別 | 燃料種別 | 燃料種別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | 使用済燃料 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ... | ... | ... | ... | ... | ... | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>*1: 崩壊熱の合計は、崩壊1人の崩壊熱*の崩壊熱の合計とはならない場合がある。 ※1: 大飯1~4号炉50,000kgの燃料貯蔵等に付する原子炉設置変更申請(平成11年8月申請)安全審査におけるSFP中燃料貯蔵の評価条件 (注: 大飯3(4)号炉のSFPの燃料貯蔵容量は: 2,129kg)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|------|--|------------------|---------------|-----|-----------|----------|-----------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|---|--|------|--|----------------------|-------------------|-----|-------------|------------|-----------|----------------------------|---------------------------|-------------|-------------|--|
| <p>c. 大阪発電所3(4)号炉において、必要なSFPスプレイ流量</p> <table border="1" data-bbox="91 411 638 529"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">大阪3(4)号炉</th> </tr> <tr> <th></th> <th>定期検査中(全炉心燃料取出し後)</th> <th>出力運転中(定検終了直後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>崩壊熱</td> <td>11.674 MW</td> <td>4.743 MW</td> </tr> <tr> <td>必要なスプレイ流量</td> <td>約19.44 m³/h 約85.5 gpm</td> <td>約7.90 m³/h 約32.8 gpm</td> </tr> </tbody> </table> <p>d. まとめ</p> <p>SFPの熱負荷が最大となるような組み合わせで燃料を貯蔵した場合を想定した厳しい条件でも、当該の燃料の崩壊熱除去に必要なスプレイ流量は約19.44m³/hである。</p> <p>大阪発電所3(4)号炉で配備している可搬型スプレイ設備(スプレイヘッド2台、送水車等)により、上記流量及びNEI 06-12で要求されるスプレイ流量(200gpm=約45.4m³/h)を上回る約120m³/hを確保可能である。(送水車は2セット以上、スプレイヘッドは1セット以上配備している。)</p> | | 大阪3(4)号炉 | | | 定期検査中(全炉心燃料取出し後) | 出力運転中(定検終了直後) | 崩壊熱 | 11.674 MW | 4.743 MW | 必要なスプレイ流量 | 約19.44 m ³ /h 約85.5 gpm | 約7.90 m ³ /h 約32.8 gpm | <p>【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.7より引用】</p> <p>(3) 評価結果</p> <p>伊方3号炉において必要なSFPスプレイ流量を第2.1.7-4表に示す。</p> | <p>c. 評価結果</p> <p>泊発電所3号炉において、必要な使用済燃料ピットスプレイ流量を第5表に示す。</p> <p>第5表 泊発電所3号炉において必要な使用済燃料ピットスプレイ流量</p> <table border="1" data-bbox="1240 399 1792 542"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">泊3号炉</th> </tr> <tr> <th>定期検査中 (全炉心燃料取出し後)</th> <th>出力運転中 (定検終了直後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>崩壊熱</td> <td>11.508 [MW]</td> <td>5.122 [MW]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">必要なスプレイ流量</td> <td>約19.16 [m³/h]</td> <td>約8.53 [m³/h]</td> </tr> <tr> <td>約81.4 [gpm]</td> <td>約37.6 [gpm]</td> </tr> </tbody> </table> <p>d. まとめ</p> <p>使用済燃料ピットの熱負荷が最大となるような組合せで燃料を貯蔵した場合を想定した厳しい条件でも、当該の燃料の崩壊熱除去に必要なスプレイ流量は約19.16m³/hである。</p> <p>泊発電所3号炉で配備している可搬型スプレイ設備(可搬型スプレイノズル2台、可搬型大型送水ポンプ車等)により、上記流量及びNEI 06-12で要求されるスプレイ流量(200gpm=約45.4m³/h)を上回る約120m³/hを確保可能である。(可搬型大型送水ポンプ車は2セット以上、可搬型スプレイノズルは1セット以上を配備している。)</p> | | 泊3号炉 | | 定期検査中 (全炉心燃料取出し後) | 出力運転中 (定検終了直後) | 崩壊熱 | 11.508 [MW] | 5.122 [MW] | 必要なスプレイ流量 | 約19.16 [m ³ /h] | 約8.53 [m ³ /h] | 約81.4 [gpm] | 約37.6 [gpm] | <p>【大阪】記載表現の相違(伊方3号と同様。)</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせ⇔組合せ(以降、相違理由の記載を省略する。) <p>【大阪】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ピット内燃料体の崩壊熱の相違に伴い必要なスプレイ流量が異なる。 <p>【大阪】設備名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプレイヘッド⇔可搬型スプレイノズル(以降、相違理由の記載を省略する。) |
| | 大阪3(4)号炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 定期検査中(全炉心燃料取出し後) | 出力運転中(定検終了直後) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 崩壊熱 | 11.674 MW | 4.743 MW | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 必要なスプレイ流量 | 約19.44 m ³ /h 約85.5 gpm | 約7.90 m ³ /h 約32.8 gpm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 泊3号炉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 定期検査中 (全炉心燃料取出し後) | 出力運転中 (定検終了直後) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 崩壊熱 | 11.508 [MW] | 5.122 [MW] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 必要なスプレイ流量 | 約19.16 [m ³ /h] | 約8.53 [m ³ /h] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 約81.4 [gpm] | 約37.6 [gpm] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---|
| <p>(2) SFP 水の大規模漏えい時の未臨界性評価</p> <p>SFP 水が喪失した場合を想定し、SFP の未臨界性評価を実施した。</p> <p>燃料の燃焼計算には、2次元輸送計算コード PHOENIX-P Ver.8 を使用し、実効増倍率の計算には、3次元モンテカルロ計算コード KENO-VI を内蔵した SCALE Ver. 6.0 を用いた。</p> <p>a. 実施内容</p> <p>SFP にウラン燃料を配置した条件（A エリアでは貯蔵する領域を考慮、B エリアはウラン新燃料を敷き詰め）で、あらゆる水密度の未臨界性評価を実施する。判定基準は、$k_{eff} \leq 0.98$（不確定性を含む）とする。</p> | <p>(1) 使用済燃料プール水の大規模漏えい時の未臨界性評価</p> <p>女川2号炉の使用済燃料プールでは、ボロン添加ステンレス鋼製ラックセルに燃料を貯蔵している。使用済燃料プールには、通常は限られた体数の新燃料と使用済燃料が貯蔵されるが、臨界設計については新燃料及びいかなる燃焼度の燃料を貯蔵しても十分安全側の評価を得るように、炉心装荷時の無限増倍率として1.30を仮定している。また、プール水温、ラック製造公差、ボロン添加率、ラックセル内燃料配置それぞれについて最も結果が厳しくなる状態で評価している。未臨界性評価の基本計算条件を第2表に示す。</p> <p>仮に使用済燃料プール水が大規模漏えいし、燃料プールのレイ系が作動する状態となった場合には、使用済燃料プールの水密度が減少することにより、ラックセル内で、中性子を減速する効果が減少し、実効増倍率を低下させる効果がある。一方、ラックセル間では水及びラックセルによる中性子を吸収する効果が減少するため、隣接ラックへの中性子の流れ込みが強くなり、実効増倍率を増加させる効果が生じる。</p> <p>低水密度状態を想定した場合の使用済燃料プールの実効増倍率は上記の2つの効果のバランスにより決定されるため、ラックの材質・ピッチの組み合わせによっては、通常の冠水状態と比較して臨界評価結果が厳しくなる可能性がある。</p> <p>そこで、女川2号炉の使用済燃料プールにおいて水密度を $1.0 \sim 0.0 \text{ g/cm}^3$ と変化させて、実効増倍率を第2図に示す体系で計算したところ、中性子の強吸収体であるラックセル中のボロンの効果により、実効増倍率を増加させる効果である隣接ラックへの中性子の流れ込みが抑制されることから、第3図に示すとおり水密度の減少に伴い実効増倍率は単調に減少する結果が得られた。このため、水密度が減少する事象が生じた場合でも未臨界は維持されることを確認した。</p> <p>なお、解析には米国オークリッジ国立研究所（ORNL）により米国原子力規制委員会（NRC）の原子力関連許可評価用に作成された三次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されている SCALE システムを用いた。</p> | <p>(2) 使用済燃料ピット水の大規模漏えい時の未臨界性評価</p> <p>a. 評価の基本方針</p> <p>大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価は、可搬型スプレイ設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）にて、ラック及び燃料体等を冷却し、臨界にならないよう配慮したラック形状及び燃料配置において、スプレイや蒸気条件においても臨界を防止できることを確認するため、使用済燃料ピット全体の水密度を一律に $0.0 \sim 1.0 \text{ g/cm}^3$ まで変化させた条件で実効増倍率の計算を行う。</p> <p>解析には、米国オークリッジ国立研究所（ORNL）により米国原子力規制委員会（NRC）の原子力関連許可評価用に作成された三次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されている SCALE システムを用いる。</p> <p>評価基準は、不確定性を含めて実効増倍率が 0.98 以下となる設計とする。不確定性としては、臨界計算上の不確定性及び製作公差に基づく不確定性（ラックセル内での燃料体が偏る効果を含む）を考慮する。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】評価に係る記載内容、記載表現の相違</p> <p>・「(2) 使用済燃料ピット水の大規模漏えい時の未臨界性評価」については、第54条まとめ資料の補足説明資料 54-11 を踏まえた文章構成としている。（技術的能力 2.1 まとめ資料の添付資料で同様の文章構成としているプラントとして、伊方3号がある。このため、(2)項において、伊方発電所3号炉技術的能力 2.1 まとめ資料の添付資料 2.1.7 も引用し、比較した（次ページ以降）。また、大飯においても、第54条まとめ資料の補足説明資料 54-9 において使用済燃料ピット水の大規模漏えい時の未臨界性評価について示しており、計算条件等の記載があるため、必要に応じて引用し、比較した。）</p> <p>【大飯】評価方法の相違</p> <p>・大飯は、A エリアにおいて、ウラン燃料の燃焼度に応じた貯蔵領域を設定して未臨界性を評価するため、燃料の燃焼計算のためのコードを併用している。</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|--|
| <p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第54条まとめ資料補足説明資料54-9より引用】</p> <p>1. 評価の基本方針 使用済燃料ピットで大規模漏えいが発生した場合、可搬型スプレイ設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）により、使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷の進行を緩和し、できる限り環境への放射性物質の放出を低減するため、使用済燃料ピット全面にスプレイを実施し、ラック及び燃料体等を冷却する。</p> <p>大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価は、可搬型スプレイ設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）にて、ラック及び燃料体等を冷却し、臨界にならないよう配慮したラック形状及び燃料配置において、スプレイや蒸気条件においても臨界を防止できることを確認するため、使用済燃料ピット全体の水密度を一様に0.0～1.0g/cm³まで変化した条件で実効増倍率の計算を行う。ここでは、使用済燃料ピット内に燃料が満たされた場合の未臨界性評価結果を示すことにより、大規模漏えい時においても臨界を防止できる燃料配置の成立性を確認する。なお、使用済燃料ピット内の燃料の移動に際しては、未臨界であることをあらかじめ確認している条件（初期濃縮度、燃焼度及び配置）に基づき移動することを保安規定に定めて、臨界を防止できるよう管理する。詳細は、別添1「領域管理の設定に対する考え方」に示す。</p> <p>燃料の燃焼計算には、2次元輸送計算コードPHOENIX-P Ver.8を使用し、実効増倍率の計算には、3次元モンテカルロ計算コードKENO-VIを内蔵したSCALE Ver.6.0を使用し、その計算フローを第1図に示す。なお、評価に用いる解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、別紙1「計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。</p> | <p>【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.7より引用】</p> <p>(1) 評価方針</p> <p>大規模漏えい時のSFPの未臨界性評価は、可搬型スプレイ設備による冷却により臨界にならないよう配慮したラック形状及び燃料配置が維持される範囲において、スプレイや蒸気条件においても未臨界を維持できることを確認するため、SFP全体の水密度を一様に0.0～1.0g/cm³に変化した条件で未臨界性評価を実施する。</p> <p>評価には、米国オークリッジ国立研究所（ORNL）により米国原子力規制委員会（NRC）の原子力関連許認可評価用に作成されたモンテカルロ法に基づく3次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されているSCALEシステムを用いる。</p> <p>評価基準は、不確定性を含めて実効増倍率が0.98以下となる設計とする。不確定性としては、臨界計算上の不確定性及び製作公差に基づく不確定性（ラックセル内での燃料体が偏る効果を含む）を考慮する。</p> | <p>【比較のため、前ページより再掲】</p> <p>a. 評価の基本方針</p> <p>大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価は、可搬型スプレイ設備（使用済燃料ピットへのスプレイ）にて、ラック及び燃料体等を冷却し、臨界にならないよう配慮したラック形状及び燃料配置において、スプレイや蒸気条件においても臨界を防止できることを確認するため、使用済燃料ピット全体の水密度を一様に0.0～1.0g/cm³まで変化した条件で実効増倍率の計算を行う。</p> <p>解析には、米国オークリッジ国立研究所（ORNL）により米国原子力規制委員会（NRC）の原子力関連許認可評価用に作成された3次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されているSCALEシステムを用いる。</p> <p>評価基準は、不確定性を含めて実効増倍率が0.98以下となる設計とする。不確定性としては、臨界計算上の不確定性及び製作公差に基づく不確定性（ラックセル内での燃料体が偏る効果を含む）を考慮する。</p> | <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第54条)と同様。)</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第54条)と同様。)</p> <p>【大阪(第54条)】評価方法の相違 ・大阪は、Aエリアにおいて、ウラン燃料の燃焼度に応じた貯蔵領域を設定して未臨界性を評価するため、燃料の燃焼計算のためのコードを併用している。</p> <p>【大阪(第54条)】【伊方】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|--|---|
| <p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第54条まとめ資料補足説明資料54-9より引用】</p> <p>2. 計算方法</p> <p>(1) 計算体系</p> <p>計算体系は、Aエリアでは垂直方向、水平方向ともに有限の体系とする。貯蔵する燃料は、各領域で貯蔵可能な最も反応度の高い燃料を当該領域の全てのラックへ貯蔵することを想定する。また、垂直方向では、上下部の構造物による中性子反射効果を考慮し、燃料有効長上部は低水密度状態においても、十分な中性子の反射効果が得られる厚さ（中性子反射効果が飽和する厚さ）である300mmの水反射と仮定し、燃料有効長下部についても同様に、1,000mmのコンクリートとして評価する。</p> <p>水平方向では、ピット側面の構造物による中性子反射効果を考慮し、垂直方向上部と同様に300mmの水反射を仮定する。Bエリアでは、水平方向に無限の広がりを持つ体系とし、体系からの中性子漏えいを無視する。垂直方向は有限の体系とし、上下部の構造物による中性子反射効果を考慮し、燃料有効長上部は低水密度状態においても、十分な中性子の反射効果が得られる厚さ（中性子反射効果が飽和する厚さ）である300mmの水反射と仮定し、燃料有効長下部についても同様に、1,000mmのコンクリートとして評価する。</p> <p>未臨界性評価の計算体系を第2図～第5図に示す。</p> <p>(2) 計算条件</p> <p>評価の計算条件は以下のとおりである。</p> <p>【SUS製ラックを使用するAエリアの計算条件は引用しない】</p> <p>≪Bエリアに対する計算条件≫</p> <p>Bエリアでは、ウラン新燃料を対象に以下の計算条件で評価を実施する。</p> <p>(B-a) ウラン濃縮度は、ウラン加工施設で製造される燃料材の濃縮度上限5.00wt%に濃縮度公差を見込み□wt%とする。</p> <p>(a) ウラン燃料の濃縮度は約4.8wt%であるが、これに余裕と濃縮度公差を見込み□wt%とする。</p> <p>(b) MOX燃料は、核分裂性プルトニウム(Pu)割合が約68wt%となる代表組成を想定する。この場合、約4.1wt%濃縮ウラン相当となるMOX燃料のPu含有量は約9wt%であるが、燃料材最大Pu含有率13wt%に余裕を見込んだ□wt%とする。さらに²⁴¹Puから²⁴¹Amへの壊変は無視し、²⁴¹Amについては全て²⁴¹Puとする。</p> <p>(c) □</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p> | <p>【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.7より引用】</p> <p>(2) 計算方法</p> <p>a. 計算体系</p> <p>計算体系は、垂直方向、水平方向ともに有限の体系とする。垂直方向は上下部の構造物による中性子反射効果を考慮し、燃料有効長上部は低水密度状態においても、十分な反射効果が得られる厚さ（中性子反射効果が飽和する厚さ）である□mmの水反射と仮定し、燃料有効長下部についても同様に、□mmのコンクリートとして評価する。</p> <p>水平方向は、ピット側面の構造物による中性子反射効果を考慮し、垂直方向上部と同様に□mmの水反射を仮定する。評価モデルは、SFP-Aピット及びBピットにウラン新燃料のみを貯蔵した条件及びSFP-Aピットに実運用を考慮した体数のMOX新燃料及びウラン新燃料を貯蔵した条件で評価する。未臨界性評価の計算体系を第2.1.7-1図～8図に示す。</p> <p>b. 計算条件</p> <p>評価の計算条件は以下のとおり、貯蔵される燃料仕様の範囲内で未臨界性評価上厳しい結果を与えるように設定している。</p> <p>(a) ウラン濃縮度は約4.8wt%であるが、これに余裕と濃縮度公差を見込み□wt%とする。</p> <p>(b) MOX燃料は、核分裂性プルトニウム(Pu)割合が約68wt%となる代表組成を想定する。この場合、約4.1wt%濃縮ウラン相当となるMOX燃料のPu含有量は約9wt%であるが、燃料材最大Pu含有率13wt%に余裕を見込んだ□wt%とする。さらに²⁴¹Puから²⁴¹Amへの壊変は無視し、²⁴¹Amについては全て²⁴¹Puとする。</p> <p>(c) □</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>b. 計算方法</p> <p>(a) 計算体系</p> <p>計算体系は、垂直方向、水平方向ともに有限の体系とする。垂直方向では、上下部の構造物による中性子反射効果を考慮し、燃料有効長上部は低水密度状態においても、十分な中性子の反射効果が得られる厚さ（中性子反射効果が飽和する厚さ）である300mmの水反射と仮定し、燃料有効長下部についても同様に、1,000mmのコンクリートとして評価する。</p> <p>水平方向では、ピット側面の構造物による中性子反射効果を考慮し、垂直方向上部と同様に300mmの水反射を仮定する。評価対象ピットは貯蔵容量が大きいB-使用済燃料ピット(840体)とする。また、評価モデルは、B-使用済燃料ピットに、ウラン新燃料のみを貯蔵した条件並びに実運用を考慮した体数のウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料及びウラン新燃料を貯蔵した条件で評価する。未臨界性評価の計算体系を第2図～第5図に示す。</p> <p>(b) 計算条件</p> <p>評価の計算条件は以下のとおりである。</p> <p>イ. ウラン濃縮度は、ウラン加工施設で製造される燃料材の濃縮度上限5.00wt%に濃縮度公差を見込み□wt%とする。</p> <p>ロ. ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料は、核分裂性プルトニウム(Pu)割合が約68wt%となる代表組成を想定する。この場合、約4.1wt%濃縮ウラン相当となるウラン・プルトニウム混合酸化物燃料のPu含有率は約9wt%であるが、保守的に設置変更許可申請書（平成22年11月16日許可）本文における燃料材最大Pu含有率13wt%とする。さらに、²⁴¹Puから²⁴¹Amへの壊変は無視し、²⁴¹Amについては全て²⁴¹Puとする。</p> <p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪(第54条)】 【伊方】個別の計算条件の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、MOX燃料の保管も想定している。また、使用済燃料ラックの仕様はA、B-使用済燃料ピットで同一（ボロン添加ステンレス鋼製）であるから、貯蔵容量が大きいB-使用済燃料ピットを対象として評価を実施する。 ・大阪は、ウラン燃料のみの保管を想定するため、燃料仕様の記載に相違がある。また、Aエリアはステンレス鋼製ラックであり、保管する燃料の燃焼度に応じて貯蔵する領域を考慮する。Bエリアは、泊と同様に、ボロン添加ステンレス鋼製ラックである。 ・伊方は、泊と同様に、MOX燃料の保管も想定している。また、SFP-AピットにはB-SUS板貼付ラックとB-SUS製ラックが用いられている。SFP-Bピットには、泊と同様に、すべてB-SUS製ラックが用いられている。このため、それぞれのラックを評価モデルとするとともに、考慮する不確実性が相違している。 <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第54条)と同様。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第54条)と同様。）</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

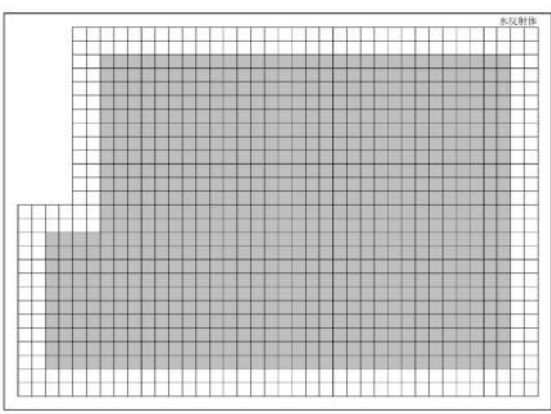
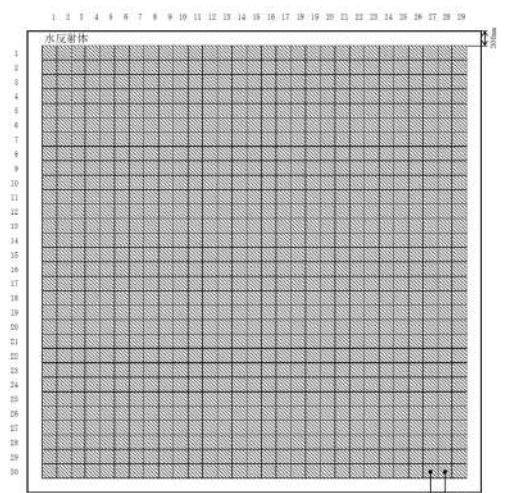
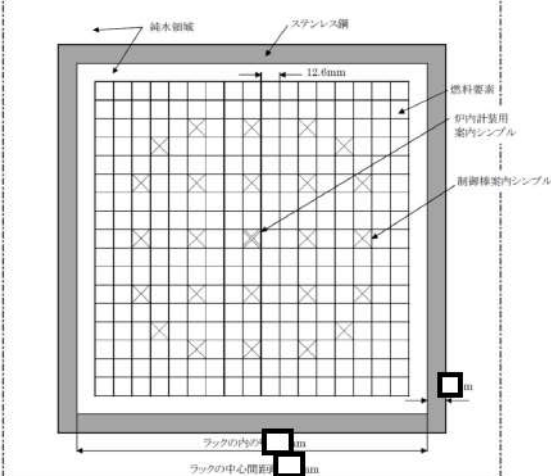
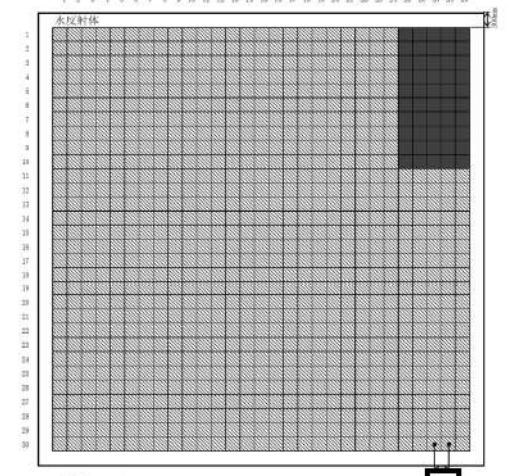
2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | |
|--|-------------|---|--|------|-------|------|-------------------|-------|------|-------------------|-------|---|---|--|
| <p>【比較のため、大阪発電所3/4号炉第54条まとめ資料補足説明資料54-9より引用】</p> <p>(B-b) 燃料有効長は、公称値3,648mmから延長し、3,660mmとする。</p> <p>(B-c) ラックの材料であるボロン添加ステンレス鋼のボロン添加量は、中性子吸収効果を少なくするため下限値0.95wt%とする。</p> <p>(B-d) ラックの厚さは、中性子吸収効果を少なくするため下限値□mmとする。</p> <p>(B-e) 使用済燃料ピット内の水は純水とし、残存しているほう素は考慮しない。 製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件は以下のとおりである。</p> <p>【上記の「製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件」については、Aエリアの計算条件に以下の記載がある】 以下の計算条件は公称値を使用し、正負の製作公差を未臨界性評価上厳しくなる側に不確定性として考慮するもの（以下「製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件」という。）である。</p> <p>なお、製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件には、ラック内での燃料体等が偏る効果を含む。</p> <p>(B-f) ラックの中心間距離</p> <p>(B-g) ラックの内り</p> <p>(B-h) ラック内での燃料体等が偏る効果（ラック内燃料偏心）</p> <p>(B-i) 燃料材の直径及び密度</p> <p>(B-j) 燃料被覆材の内径及び外径</p> <p>(B-k) 燃料要素の中心間隔（燃料体外寸）</p> <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p> <p>なお、本計算における計算条件を第2表に、不確定性評価の考え方について別添2「大規模漏えい時の未臨界性評価における不確定性評価の考え方」に示す。</p> <p>【比較のため、比較表 添付2.1.6-15 ページより再掲】</p> <p>b. 評価結果</p> <p>SFPの未臨界性評価結果を下表に示す。あらゆる水密度において臨界未満である。下表では、k_{eff} が最も高くなる評価結果を示す。</p> <table border="1" data-bbox="145 1300 582 1428"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>評価結果^(注)</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">実効増倍率</td> <td>Aエリア</td> <td>0.956 (0.9410)</td> <td>≤0.98</td> </tr> <tr> <td>Bエリア</td> <td>0.964 (0.9504)</td> <td>≤0.98</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 不確定性を含む。()内は不確定性を含まない値。</p> | | | 評価結果 ^(注) | 評価基準 | 実効増倍率 | Aエリア | 0.956 (0.9410) | ≤0.98 | Bエリア | 0.964 (0.9504) | ≤0.98 | <p>【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.7より引用】</p> <p>(d) 燃料有効長は、公称値3648mmから延長し、□mmとする。</p> <p>(e) ラックセルの仕様のうち、ボロン添加ステンレス鋼（以下、B-SUSという。）の厚さは中性子吸収効果を少なくするために□mmとする。また、ボロン添加量は□wt%とする。</p> <p>以下の基本設計条件は公称値を使用するが、製作公差を未臨界性評価上厳しい結果を与えるように不確定性として考慮する。</p> <p>なお、製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件には、ラックセル内での燃料体等が偏る効果を含む。</p> <p>(f) ラックセルの中心間距離</p> <p>(g) ラックセルの内り</p> <p>(h) ラックセル内で燃料体等が偏る効果（ラックセル内燃料偏心）</p> <p>(i) 燃料材の直径及び密度</p> <p>(j) 燃料被覆材の内径及び外径</p> <p>(k) 燃料要素の中心間隔（燃料体外寸）</p> <p>(l) B-SUS板幅（Aピットのみ）</p> <p>(m) B-SUS板位置（Aピットのみ）</p> <p>(n) B-SUS板浮き上がり（Aピットのみ）</p> <p>(o) ステンレス鋼製ラック板厚（Aピットのみ）</p> <p>本計算における基本計算条件を第2.1.7-5表に示す。</p> <p>(3) 評価結果</p> <p>SFPの未臨界性評価結果を第2.1.7-7表に示す。実効増倍率は不確定性を考慮しても最大で0.975となり、0.98以下を満足している。</p> | <p>ハ. 燃料有効長は、公称値3,648mmから延長し、3,660mmとする。</p> <p>ニ. ラックセルの材料であるボロン添加ステンレス鋼のボロン添加量は、中性子吸収効果を少なくするため下限値0.95wt%とする。</p> <p>ホ. ラックセルの厚さは、中性子吸収効果を少なくするため下限値□mmとする。</p> <p>ヘ. 使用済燃料ピット内の水は純水とし、残存しているほう素は考慮しない。</p> <p>以下の計算条件は公称値を使用し、正負の製作公差を未臨界性評価上厳しくなる側に不確定性として考慮するものである。</p> <p>なお、製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件には、ラックセル内での燃料体等が偏る効果を含む。</p> <p>ト. ラックセルの中心間距離</p> <p>チ. ラックセルの内り</p> <p>リ. ラックセル内での燃料体等が偏る効果（ラックセル内燃料偏心）</p> <p>ヌ. 燃料材の直径及び密度</p> <p>ル. 燃料被覆材の内径及び外径</p> <p>ロ. 燃料要素の中心間隔（燃料体外寸）</p> <p>本計算における計算条件を第6表に示す。</p> <p>c. 評価結果</p> <p>使用済燃料ピットの未臨界性評価結果を第8表、第7図及び第8図に示す。実効増倍率は不確定性を考慮しても最大で0.967となり、0.98以下を満足している。</p> | <p>【大阪(第54条)】【伊方】個別の計算条件の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、MOX燃料の保管も想定している。また、使用済燃料ラックの仕様はA、B-使用済燃料ピットで同一（ボロン添加ステンレス鋼製）であるから、貯蔵容量が大きいB-使用済燃料ピットを対象として評価を実施する。 ・大阪は、ウラン燃料のみの保管を想定するため、燃料仕様の記載に相違がある。また、Aエリアはステンレス鋼製ラックであり、保管する燃料の燃焼度に応じて貯蔵する領域を考慮する。Bエリアは、泊と同様に、ボロン添加ステンレス鋼製ラックである。 ・伊方は、泊と同様に、MOX燃料の保管も想定している。また、SFP-AピットにはB-SUS板貼付ラックとB-SUS製ラックが用いられている。SFP-Bピットには、泊と同様に、すべてB-SUS製ラックが用いられている。このため、それぞれのラックを評価モデルとするとともに、考慮する不確定性が相違している。 <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第54条)と同様。）</p> |
| | | 評価結果 ^(注) | 評価基準 | | | | | | | | | | | |
| 実効増倍率 | Aエリア | 0.956 (0.9410) | ≤0.98 | | | | | | | | | | | |
| | Bエリア | 0.964 (0.9504) | ≤0.98 | | | | | | | | | | | |
| | | <p>本計算における計算条件を第6表に示す。</p> <p>【伊方】記載表現の相違（大阪(第54条)と同様。）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>【大阪】記載内容の相違（女川審査実績反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は女川審査実績を踏まえ、第7図及び第8図として、実効増倍率と水密度の関係を記載している。 <p>【大阪】【伊方】個別評価による相違</p> | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|------|------|------------|-------|--------------------|--------|-----------|--------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|--------|--------|-----|---------------|---------|--------|---------|----|-------------|-------|---------------------|----|--------|------------|--------|--------|--------|---|---|
|  <p>未臨界性評価の解析モデル図 (A エリア) (1/2)</p> | <p>第2表 未臨界性評価の基本計算条件</p> <table border="1" data-bbox="667 231 1216 678"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料種類</td> <td>9×9燃料 (A型)</td> </tr> <tr> <td>燃料濃縮度</td> <td>4.7%^{※1}</td> </tr> <tr> <td>ペレット密度</td> <td>理論密度の約97%</td> </tr> <tr> <td>ペレット直径</td> <td>0.96 cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管外径</td> <td>1.12 cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管厚さ</td> <td>0.71 mm</td> </tr> <tr> <td>燃料有効長</td> <td>3.71 m</td> </tr> <tr> <td>ラックタイプ</td> <td>角管型</td> </tr> <tr> <td>ラックピッチ (長辺方向)</td> <td>12.6 mm</td> </tr> <tr> <td>(短辺方向)</td> <td>12.6 mm</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ボロン添加ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>ボロン濃度</td> <td>0.01%^{※2}</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>1.2 mm</td> </tr> <tr> <td>内のり (長辺方向)</td> <td>0.5 mm</td> </tr> <tr> <td>(短辺方向)</td> <td>0.5 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 未臨界性評価用燃料集合体 (k_{inf}=1.30 未燃焼組成、Gdなし) ※2 ボロン濃度の解析使用値は、製造公差下限値とする。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> | 項目 | 仕様 | 燃料種類 | 9×9燃料 (A型) | 燃料濃縮度 | 4.7% ^{※1} | ペレット密度 | 理論密度の約97% | ペレット直径 | 0.96 cm | 被覆管外径 | 1.12 cm | 被覆管厚さ | 0.71 mm | 燃料有効長 | 3.71 m | ラックタイプ | 角管型 | ラックピッチ (長辺方向) | 12.6 mm | (短辺方向) | 12.6 mm | 材料 | ボロン添加ステンレス鋼 | ボロン濃度 | 0.01% ^{※2} | 厚さ | 1.2 mm | 内のり (長辺方向) | 0.5 mm | (短辺方向) | 0.5 mm |  <p>第2図 B-使用済燃料ピットにウラン新燃料のみを貯蔵した場合の計算体系 (水平方向, B-使用済燃料ピット全体)</p> | <p>【大飯】【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントごとに設備設計や計算条件、評価モデルが異なっていることから、記載している図表も相違しているが、実質的な相違はない。 |
| 項目 | 仕様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料種類 | 9×9燃料 (A型) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料濃縮度 | 4.7% ^{※1} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ペレット密度 | 理論密度の約97% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ペレット直径 | 0.96 cm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 被覆管外径 | 1.12 cm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 被覆管厚さ | 0.71 mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料有効長 | 3.71 m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ラックタイプ | 角管型 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ラックピッチ (長辺方向) | 12.6 mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (短辺方向) | 12.6 mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材料 | ボロン添加ステンレス鋼 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボロン濃度 | 0.01% ^{※2} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 厚さ | 1.2 mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内のり (長辺方向) | 0.5 mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (短辺方向) | 0.5 mm | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  <p>未臨界性評価の解析モデル図 (A エリア) (2/2)</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> | <p>第2図 女川2号炉使用済燃料貯蔵ラック計算体系</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> |  <p>第3図 B-使用済燃料ピットに実運用を考慮した体数のウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料及びウラン新燃料を貯蔵した場合の計算体系 (水平方向, B-使用済燃料ピット全体)</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|-------------|---|--|
| <div data-bbox="107 172 638 710" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="179 746 544 772" data-label="Caption"> <p>未臨界性評価の解析モデル図 (Bエリア)</p> </div> <div data-bbox="365 778 645 799" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p> </div> | | <div data-bbox="1249 172 1792 651" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1238 659 1800 715" data-label="Caption"> <p>第4図 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算体系 (水平方向、燃料体部拡大図)</p> </div> <div data-bbox="1283 730 1753 1276" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1238 1297 1800 1353" data-label="Caption"> <p>第5図 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算体系 (垂直方向)</p> </div> <div data-bbox="1312 1385 1792 1409" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div> | <div data-bbox="1809 167 2141 304" data-label="Text"> <p>【大飯】【女川】記載内容の相違 ・プラントごとに設備設計や計算条件、評価モデルが異なっていることから、記載している図表も相違しているが、実質的な相違はない。</p> </div> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

第1表 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算条件 (Aエリア)

| 計算条件 | | 備考 |
|------------------------|---|---------------------|
| (燃料体) | 17×17型ウラン燃料 | - |
| 燃料 ²³⁵ U濃縮度 | 4.1% | 4.80wt%に濃縮度公差を見込んだ値 |
| 燃料材密度 | 理論密度の97% | (注1) |
| 燃料材直径 | 8.19mm | (注1) |
| 燃料被覆材 内径 | 8.36mm | (注1) |
| 燃料被覆材 外径 | 9.5mm | (注1) |
| 燃料要素中心間隔 | 12.6mm | (注1) |
| 燃料有効長 | 3.660mm | 公称値3.648mmを延長 |
| 貯蔵領域 | 領域A 燃焼度0MWd/tの燃料を貯蔵 領域B 燃焼度20,000MWd/tの燃料を貯蔵 | - |
| (ラック) | - | 配置は図参照 |
| ラックタイプ | キャン型 | - |
| ラックの中心間距離 | 12.6mm | (注1) |
| 材 料 | ステンレス鋼 | - |
| 厚 さ | 1.5mm | (注2) |
| 内 の り | 1.5mm | (注1) |
| (使用済燃料ピット内の水分条件) | 純水 | 残存しているほう素は考慮しない |
| 密度 | 0.0~1.0g/cm ³ | - |

(注1) 製作公差に基づく不確実性として考慮する計算条件
 (注2) 中性子吸収効果を少なくするため下限値を使用

第2表 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算条件 (Bエリア)

| 計算条件 | | 備考 |
|------------------------|--------------------------|---------------------|
| (燃料体) | 17×17型ウラン燃料 | - |
| 燃料 ²³⁵ U濃縮度 | 4.1% | 5.00wt%に濃縮度公差を見込んだ値 |
| 燃料材密度 | 理論密度の97% | (注1) |
| 燃料材直径 | 8.19mm | (注1) |
| 燃料被覆材 内径 | 8.36mm | (注1) |
| 燃料被覆材 外径 | 9.5mm | (注1) |
| 燃料要素中心間隔 | 12.6mm | (注1) |
| 燃料有効長 | 3.660mm | 公称値3.648mmを延長 |
| (ラック) | - | 配置は図参照 |
| ラックタイプ | キャン型 | - |
| ラックの中心間距離 | 12.6mm | (注1) |
| 材 料 | ボロン添加ステンレス鋼 | - |
| ボロン添加量 | 0.95wt% | (注2) |
| 厚 さ | 1.5mm | (注2) |
| 内 の り | 1.5mm | (注1) |
| (使用済燃料ピット内の水分条件) | 純水 | 残存しているほう素は考慮しない |
| 密度 | 0.0~1.0g/cm ³ | - |

(注1) 製作公差に基づく不確実性として考慮する計算条件
 (注2) 中性子吸収効果を少なくするため下限値を使用

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

女川原子力発電所2号炉

【比較のため、比較表 添付2.1.6-12ページより再掲】

第2表 未臨界性評価の基本計算条件

| 項目 | 仕様 |
|------------|--|
| 燃料仕様 | 燃料種類 9×9燃料 (A型) ²³⁵ U濃縮度 4.1% ^{※1} ペレット密度 理論密度の約97% ペレット直径 0.96 cm 被覆管外径 1.12 cm 被覆管厚さ 0.71 mm 燃料有効長 3.71 m |
| 使用済燃料貯蔵ラック | ラックタイプ 角管型 ラックピッチ (長辺方向) 12.6mm (短辺方向) 12.6mm 材料 ボロン添加ステンレス鋼 ボロン濃度 0.95wt% ^{※2} 厚さ 1.5mm 内 の り (長辺方向) 1.5mm (短辺方向) 1.5mm |

※1 未臨界性評価用燃料集合体 (k_∞=1.30 未燃焼組成、Gdなし)

※2 ボロン濃度の解析使用値は、製造公差下限値とする。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.7より引用】

第2.1.7-6表 代表組成

| Pu組成 (wt%) | | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| ²³⁹ Pu | ²⁴⁰ Pu | ²⁴¹ Pu | ²⁴² Pu | ²⁴³ Pu | ²⁴⁴ Pu |
| 1.9 | 57.5 | 23.3 | 10.0 (11.9) | 5.4 | 1.9 (0.0) |

()内は未臨界性評価に用いた値

泊発電所3号炉

第6表 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算条件

| 項目 | 仕様 |
|-------------------|---|
| 燃料仕様 | 燃料種類 17×17型 ウラン燃料 ²³⁵ U濃縮度又はPu含有率/Pu組成 4.1% 燃料材密度 理論密度の97% 燃料要素中心間隔 12.6mm 燃料材直径 8.19mm 燃料被覆材内径 8.36mm 燃料被覆材外径 9.50mm 燃料有効長 3.660mm |
| 使用済燃料ラック | ラックタイプ キャン型 ラックセルの中心間距離 12.6mm 材料 ボロン添加ステンレス鋼 ボロン添加量 0.95wt% ^{※1} 板厚 1.5mm 内 の り 1.5mm |
| 使用済燃料ピット内の水のほう素濃度 | 0 ppm ^{※2} |
| 使用済燃料ピット内の水密度 | 0.0~1.0g/cm ³ |

※1: ボロン添加量は1.0wt%であるが、未臨界性評価上のボロン添加量は公差下限値の0.95wt%とする。
 ※2: 燃料は、約3,200ppmのほう素水中に保管されるが、未臨界性評価には0ppmを使用する。

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

第7表 代表組成

| Pu組成 (wt%) [*] | | | | | |
|-------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| ²³⁹ Pu | ²⁴⁰ Pu | ²⁴¹ Pu | ²⁴² Pu | ²⁴³ Pu | ²⁴⁴ Pu |
| 1.9 | 57.5 | 23.3 | 10.0 (11.9) | 5.4 | 1.9 (0.0) |

※: ()内は未臨界性評価に用いた値

相違理由



【大飯】【女川】記載内容の相違
 ・プラントごとに設備設計や計算条件、評価モデルが異なっていることから、記載している図表も相違しているが、実質的な相違はない。

【大飯】【女川】個別の評価条件の相違
 ・泊は、MOX燃料の保管を想定していることから、MOX燃料の代表組成について記載している。(伊方3号と同様)

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------|----------------------|---------------------|------|-------|------|-------------------|-------|------|-------------------|-------|--|--|------|---------------------|--|-----------|------|-------|--------|-------------------|----------------------|-------------|---------------------------|-------------------|----------------------|-------------|--|
| <p>b. 評価結果</p> <p>SFPの未臨界性評価結果を下表に示す。あらゆる水密度において臨界未満である。下表では、k_{eff}が最も高くなる評価結果を示す。</p> <table border="1" data-bbox="145 284 584 405"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>評価結果⁽¹⁾</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">実効増倍率</td> <td>Aエリア</td> <td>0.956 (0.9410)</td> <td>≦0.98</td> </tr> <tr> <td>Bエリア</td> <td>0.964 (0.9504)</td> <td>≦0.98</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 不確定性を含む。()内は不確定性を含まない値。</p>  <p>図 使用済燃料ピット配置</p> | | | 評価結果 ⁽¹⁾ | 評価基準 | 実効増倍率 | Aエリア | 0.956 (0.9410) | ≦0.98 | Bエリア | 0.964 (0.9504) | ≦0.98 | | <p>第8表 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1243 293 1794 400"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="2">実効増倍率^{a)}</th> <th rowspan="2">関連する計算体系図</th> </tr> <tr> <th>評価結果</th> <th>水密度条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウラン新燃料</td> <td>0.964 (0.9493)</td> <td>1.0g/cm³</td> <td>第2図、第4図、第5図</td> </tr> <tr> <td>ウラン新燃料+ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料</td> <td>0.967 (0.9490)</td> <td>1.0g/cm³</td> <td>第3図、第4図、第5図</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：不確定性を含む。()内は不確定性を含まない値。</p>  <p>第6図 使用済燃料ピット配置図</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊は、大飯審査実績を踏まえ、使用済燃料ピット配置図を記載した。</p> | 評価項目 | 実効増倍率 ^{a)} | | 関連する計算体系図 | 評価結果 | 水密度条件 | ウラン新燃料 | 0.964 (0.9493) | 1.0g/cm ³ | 第2図、第4図、第5図 | ウラン新燃料+ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料 | 0.967 (0.9490) | 1.0g/cm ³ | 第3図、第4図、第5図 | |
| | | 評価結果 ⁽¹⁾ | 評価基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実効増倍率 | Aエリア | 0.956 (0.9410) | ≦0.98 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Bエリア | 0.964 (0.9504) | ≦0.98 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価項目 | 実効増倍率 ^{a)} | | 関連する計算体系図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 評価結果 | 水密度条件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウラン新燃料 | 0.964 (0.9493) | 1.0g/cm ³ | 第2図、第4図、第5図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウラン新燃料+ウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料 | 0.967 (0.9490) | 1.0g/cm ³ | 第3図、第4図、第5図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---|--|
| | <div data-bbox="660 193 1223 598" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="781 603 1104 627" style="text-align: center;"> <p>第3図 実効増倍率の水密度依存性</p> </div> <div data-bbox="900 635 1223 655" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>詳細みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div> | <div data-bbox="1240 177 1794 564"> </div> <div data-bbox="1240 571 1794 627" style="text-align: center;"> <p>第7図 実効増倍率と水密度の関係（ウラン新燃料のみを貯蔵した場合）</p> </div> <div data-bbox="1240 671 1794 1059"> </div> <div data-bbox="1240 1066 1794 1150" style="text-align: center;"> <p>第8図 実効増倍率と水密度の関係（実運用を考慮した体数のウラン・プルトニウム混合酸化物新燃料及びウラン新燃料を貯蔵した場合）</p> </div> | <div data-bbox="1812 169 2141 245" style="text-align: center;"> <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川審査実績を踏まえ、実効増倍率と水密度の関係を記載した。 </div> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|-------------|---|--|
| <p>c. 地震による SFP ラック損傷時の未臨界性維持について</p> <p>大飯3（4）号炉の SFP ラックにおいて、耐震上で相対的に強度余裕の少ない箇所は、「ピット壁」と「固定板の溶接部」である。仮に基準地震動を超える大きな地震力が作用し、これらの部分が破損した場合でもラックブロック自体に大きな負荷がかかるとはならない。</p> <p>一方、燃料集合体を水平方向に支持し、燃料集合体間の距離を維持するための部材（支持格子）及び中性子吸収材（ラックセル）については、基準地震動に対して一定程度の裕度を有しており健全性が期待できることから、燃料集合体間の間隔が維持されるため未臨界性に影響を与えることはない。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>大飯3（4）号炉の SFP ラックセル数 <Aエリア>：974体 ブロックA：78、ブロックB：117、ブロックC：117、 ブロックD：130 ブロックE：140、ブロックF：126、 ブロックG：126、ブロックH：140 <Bエリア>：1155体 ブロックI：289、ブロックJ：272、ブロックK：306、 ブロックL：288</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。 </div> | | <p>(3) 地震による使用済燃料ラック損傷時の未臨界性維持について</p> <p>泊発電所3号炉の使用済燃料ラックにおいて、耐震上、相対的に強度余裕の少ない箇所は、「取付ボルト」及び「ピット壁と固定板の溶接部」である（第9図参照）。仮に基準地震動を超える大きな地震力が作用し、これらの部分が破損した場合でもラックブロック自体に大きな負荷がかかるとはならない。</p> <p>一方、燃料集合体を水平方向に支持し燃料集合体間の間隔を維持するための部材（支持格子）及び中性子吸収材（ラックセル）については、基準地震動に対して一定程度の裕度を有しており健全性が期待できることから、燃料集合体間の間隔が維持されるため未臨界性に影響を与えることはない。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p>第9図 サポート部の構造例（壁支持型：泊3号炉 A-使用済燃料ピット）※</p> <p>※：泊3号炉の使用済燃料ピットのラックセル数 ・A-使用済燃料ピット： ブロックE=300セル、ブロックF=300セル ・B-使用済燃料ピット： ブロックA=195セル、ブロックB=225セル、 ブロックC=210セル、ブロックD=210セル</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div> | <p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・泊は、使用済燃料ピットのラック形状等により未臨界を維持できる設計とすることから、地震によるラック損傷時における未臨界性維持について整理している。</p> <p>【大飯】設計の相違 ・耐震上、相対的に強度余裕の少ない箇所に相違はあるが、後述のとおり、燃料集合体を支持する支持格子及びラックセルについては一定程度の裕度を有しており、未臨界性に影響を与えないことに相違はない。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

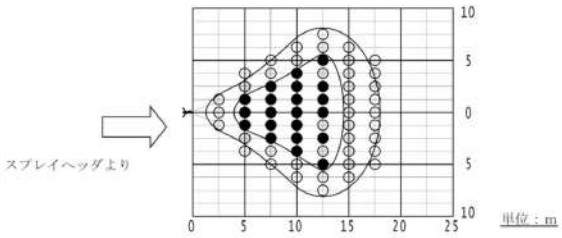


2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|---|
| <p>(3) スプレィヘッドの放水範囲について 本資料は、2台のスプレィヘッドで使用済燃料ピット全域にスプレィできることを示すものである。(スプレィヘッドは大飯3号炉用2台、大飯4号炉用2台及び予備2台の計6台を配備している。)</p> <p>a. 放水角度の設定範囲 スプレィヘッドの放水角度は、縦方向に10°～45°の任意の角度(仰角)に設定することが可能である。また、横方向には、スプレィヘッド内に水が流れることにより、±10°、±15°、±20°の角度でノズルが旋回し、広範囲にスプレィすることが可能である。(旋回させないことも可能)</p> <p>なお、ノズルの設定変更により、噴霧状態から直線状態まで放水状態を変更することが可能である。</p> <p>b. 放水範囲 放水試験を実施し、放水範囲の確認を行っている。</p> <p>(a) 試験条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 放水角度(仰角) : 30° 旋回角度 : ±20° 流量 : 60m³/h <p>・試験時間 : 1分間 ・直径約22cmのバケツを並べ、放水量を確認</p> <p>(b) 試験結果 旋回させない状態で飛距離を約15mになるよう設定した後、旋回状態にした場合の分布範囲は下図のとおり。</p> | <p>4. 使用済燃料プールへの必要スプレィ流量について</p> <p>(1) 試験方法 スプレィノズルの放水試験方法は、開口部直径約0.3mの試験容器を並べてスプレィノズルによる放水を実施し、放水量の計測及び放水範囲の確認を実施する。試験に際しては、流量及び放水圧力を測定し、実際のスプレィノズルによる使用済燃料プールへのスプレィ状態と同様の状態で試験可能となるよう考慮した。</p> <p>(2) 測定条件 放水試験は以下の条件で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放水角度(仰角) : 30° 旋回角度 : 40°(左右各20°) 流量 : 700L/min (42m³/h) 放水圧 : 0.4MPa 試験時間 : 1分間 <p>・水平飛距離 : 15m及び10m</p> <p>(3) 判定基準 放水試験の判定基準を以下に示す。 ①使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱(6.7MW)を除去するために必要なスプレィ流量*(約9.7m³/h)を満足すること。 ②使用済燃料プール全域にスプレィ可能であること。 * : 使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱Q[kW]を除去するために必要なスプレィ流量V[m³/h]は、以下の式により求められる。 $V = Q \div (H_{SH} + H_{SL}) \times m \times 3600$ H_{SH} : 水の顕熱(40℃～100℃)(大気圧)[kJ/kg] H_{SL} : 水の蒸発潜熱[kJ/kg] m : 水の比容積[m³/kg]</p> <p>(4) 測定結果 スプレィノズルによる放水試験の結果を第4図及び第5図に示す。</p> | <p>(4) 可搬型スプレィノズルの放水範囲について 本項は、2台の可搬型スプレィノズルで使用済燃料ピット全域にスプレィできることを示すものである。(可搬型スプレィノズルは予備を含め計4台を配備している。)</p> <p>a. 放水角度の設定範囲 可搬型スプレィノズルの放水角度は、縦方向に10°～45°の任意の角度(仰角)に設定することが可能である。また、横方向については、可搬型スプレィノズル内に水が流れることにより、±10°、±15°、±20°の角度でノズルが旋回し、広範囲にスプレィすることが可能である。(旋回させないことも可能)</p> <p>なお、ノズルの設定変更により、噴霧状態から直線状態まで放水状態を変更することが可能である。</p> <p>b. 放水範囲 放水試験を実施し、放水範囲の確認を行っている。</p> <p>(a) 試験条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 放水角度(仰角) : 30° 旋回角度 : ±20° 流量 : 60m³/h <p>・試験時間 : 1分間 ・直径約22cmのバケツを並べ放水量を確認</p> <p>(b) 試験結果 旋回させない状態で飛距離を約15mになるよう設定した後、旋回状態にした場合の分布範囲を第10図に示す。</p> | <p>【女川】記載箇所の相違 ・泊は、使用済燃料ピットへの必要スプレィ流量については、(1)項にて示している。</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊は、大飯と同様に、可搬型スプレィノズルの仕様(放水角度の設定範囲)について記載している。可搬型スプレィノズルを用いた放水試験については、b.項に記載している。</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備仕様との相違 ・女川は、42m³/h/台のスプレィノズルを3台使用し、計126m³/hでスプレィする。 ・泊は、60m³/h/台の可搬型スプレィノズルを2台使用し、計120m³/hでスプレィする。流量に大差はなく、また、3.項で示したとおり、使用済燃料ピット内の燃料体の崩壊熱の除去に必要な流量及びNEI 06-12で要求されるスプレィ流量を上回る流量を確保していることに相違はない。</p> <p>【女川】記載箇所の相違 ・泊は、使用済燃料ピットへの必要スプレィ流量については、(1)項にて示している。</p> <p>【大阪】 【女川】記載表現の相違</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|------------------------------|
|  <p>第4図 スプレインズル放水範囲(水平飛距離15m)</p> |  <p>第5図 スプレインズル放水範囲(水平飛距離10m)</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> |  <p>第10図 可搬型スプレインズル放水範囲</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|---|
| <p>(c) 使用済燃料ピットへの放水範囲</p> <p>放水試験結果から、2箇所から放水することにより使用済燃料ピット全域に放水することが可能である。</p>  <p>単位:m</p> <p>(Bエリア) (Aエリア)</p> <p>第6図 燃料プールスプレイ系（常設配管）によるスプレイ範囲</p> <p>第7図 燃料プールスプレイ系（可搬型）によるスプレイ範囲</p> <p>注：欄とスプレイノズルを約3.2m離れた場合</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> | <p>5. 必要スプレイ量の評価</p> <p>スプレイノズルによる使用済燃料プールへの放水試験の測定結果から、3台のスプレイノズルを使用して、使用済燃料プールへスプレイする場合の放水範囲を第6図、第7図に示す。</p> <p>第6図、第7図に示すとおり、3個のスプレイノズルにより3箇所から放水することで、すべての使用済燃料プール内燃料体にスプレイすることが可能である。また、126m³/h（42m³/h/個）以上で使用済燃料プールへスプレイするため、使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱を除去するために必要なスプレイ流量（約9.7m³/h）を満足することが可能である。</p> <p>第6図 燃料プールスプレイ系（常設配管）によるスプレイ範囲</p> <p>第7図 燃料プールスプレイ系（可搬型）によるスプレイ範囲</p> <p>注：欄とスプレイノズルを約3.2m離れた場合</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> | <p>(c) 使用済燃料ピットへの放水範囲</p> <p>可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへの放水試験の結果から、2台の可搬型スプレイノズルを使用して、使用済燃料ピットへスプレイする場合の放水範囲を第11図に示す。</p> <p>第11図に示すとおり、2箇所から放水することにより使用済燃料ピット全域に放水することが可能である。</p> <p>第11図 使用済燃料ピットへのスプレイ範囲</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p> <p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、使用済燃料ピットへの必要スプレイ流量については、(1)項にて示している。 <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|-------------|--|---|
| <p>c. SFP へのスプレイヘッドの配置について</p> <p>下図のとおり、スプレイヘッドを SFP 近傍へ2台設置することで、SFP (Aエリア及びBエリア) の全体にスプレイすることが可能となる。</p> <p>なお、2台のスプレイヘッドには、分岐具により分流し送水されるが、分岐具以降に設置している弁 (Aエリア及びBエリア) の開度を予めルート毎に設定したマーキング位置とすることで、それぞれの必要流量 (60m³/h/台) は確保できる。</p>  <p>大阪3号炉建屋内におけるスプレイヘッドの設置図</p> <p><small>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</small></p> | | <p>c. 使用済燃料ピットへの可搬型スプレイノズルの配置について</p> <p>第12図に示すとおり、可搬型スプレイノズルを使用済燃料ピット近傍へ2台設置することで、使用済燃料ピットの全体にスプレイすることが可能となる。</p>  <p>第12図 建屋内における可搬型スプレイノズルの設置場所 (ルート1及び2) (建屋内部でのスプレイ)</p> <p><small>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</small></p> | <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊も、大阪と同様に、分水器を使用して分流し、2台の可搬型スプレイノズルに送水するが、分水器の下流には弁の設置はせず、大阪のような特徴的な流量調整の操作はないことから、記載内容が異なる。(流量調整に関する記載がないのは、高浜1/2/3/4号、伊方3号及び玄海3/4号等と同様。なお、泊は、可搬型大型送水ポンプ車からの送水流量を調整することでスプレイ流量を確保する。) <p>【大阪】記載表現の相違</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

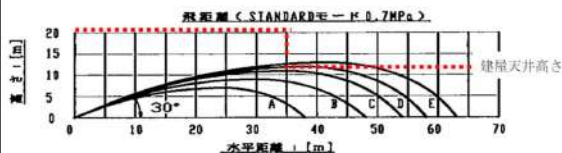
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

また、SFPへ近づけない場合を想定した、外部からのSFPスプレイを例示する。

例では、原子炉周辺建屋東の扉を開放してSFPへスプレイする想定としている。スプレイヘッダの性能曲線、原子炉周辺建屋高さ及びSFPまでの距離を勘案すると、放水角30度でスプレイすれば、Aエリア及びBエリアのSFPへスプレイすることが可能である。



| STANDARD PRESSUREモード | | |
|----------------------|-----------|--------|
| 曲線 | 流量(L/min) | 飛距離(m) |
| A | 380 | 38 |
| B | 760 | 48 |
| C | 1100 | 54 |
| D | 1500 | 58 |
| E | 1900 | 63 |

← 約40m/s

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。

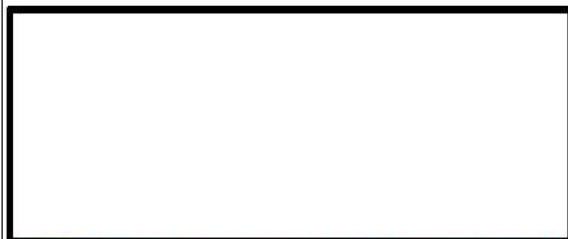
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

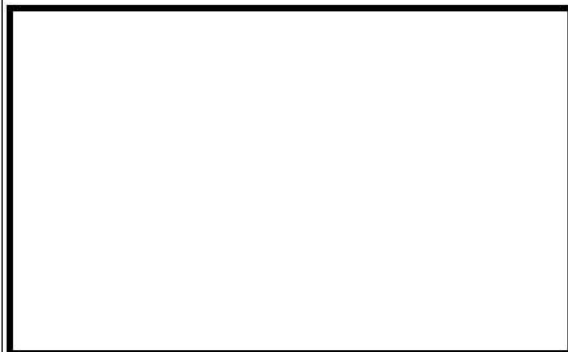
相違理由

また、第13図に使用済燃料ピットへ近づけない場合を想定した、外部からの使用済燃料ピットスプレイを実施する場合の可搬型スプレイノズルの設置位置等について例示する。

例では、燃料取扱棟の東側シャッターを開放して、使用済燃料ピットへスプレイする想定としている。可搬型スプレイノズルの性能曲線、燃料取扱棟の建屋高さ及び使用済燃料ピットまでの距離を勘案すると（第14図）、放射角30度でスプレイすれば、A-使用済燃料ピット及びB-使用済燃料ピットへスプレイすることが可能である。



第13図 可搬型スプレイノズルの設置場所の例（建屋外（入口）からのスプレイ）



第14図 可搬型スプレイノズルの性能曲線

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

【大飯】記載表現の相違
【女川】記載内容の相違
・泊は、大飯と同様に、使用済燃料ピットへ近づけない場合の外部からの使用済燃料ピットへのスプレイについて記載する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|---|--|
| <p>【(4) 使用済燃料ピットから漏えい発生時の遮蔽設計基準到達時間について 故意による大型航空機の衝突等により、SFPが大規模に損壊し多量の漏えいが発生した場合を想定して、米国 NEI-06-12 (B.5.b ガイド) では、SFP へのスプレイ能力として 200gpm (≒45.4m³/h) 以上を要求している。</p> <p>仮に、使用済燃料ピットから NEI-06-12 におけるスプレイ能力 200gpm の漏えいが発生している想定とした場合、原子炉周辺建屋内の遮蔽設計基準 (0.15mSv/h) を満足させるための水位として大飯3、4号炉では燃料頂部より 4.38m を確保できれば良いことから、3m 分の漏えい (875m³) 分の時間的余裕がある。(より厳しい条件として、通常運転時を想定して評価する。)</p> <p>崩壊熱による蒸発水量 (約 19.5m³/h) を加味すれば、875m³ / (45.4m³/h + 19.5m³/h) より約 13.4 時間で、原子炉周辺建屋遮蔽設計基準に到達する。(さらに燃料頂部が露出するまでには、更に 4.38m の水位がある。)</p> <p>この間の現実的な対応として、まずは短時間で準備可能な消火設備を活用した注水により水位低下の緩和を図り、その後、送水車等による外部からの注水を並行して実施することにより水位の維持を試みる。</p> <p>200gpm 程度の漏えいを想定した場合でも、これらの手段によって SFP 水位は維持できるものと考えられるが、注水が一切行われない想定とした場合であっても遮蔽設計基準 (0.15mSv/h) に到達するまでには約 13.4 時間程度要する計算である。</p> <p>なお、可搬型スプレイ設備の設置作業については、約 2 時間で設置することが可能であり、線量率を考慮しても、作業可能である。</p> | <p>【比較のため、女川原子力発電所2号炉第54条まとめ資料補足説明資料54-6より引用】</p> <p>3. 使用済燃料プールからの漏えい時における遮蔽水位を確保可能な時間について</p> <p>使用済燃料プールからの漏えい時において、燃料プールスプレイ系(可搬型)によるスプレイを実施する場合、使用済燃料プール周辺線量率が 10mSv/h を満足するために必要な遮蔽水位(通常水位-1.3m)までの水位低下時間と原子炉建屋原子炉棟内におけるスプレイノズルの設置及びホースの敷設作業の所要時間の関係を整理した。通常水位から遮蔽水位までの使用済燃料プールからの水位低下量は約 200m³ である。</p> <p>ここで、使用済燃料プールからの漏えい量を 200gpm (約 46m³/h) とした場合、遮蔽水位到達までの時間は約 4.3 時間となる。</p> <p>原子炉建屋地上3階(原子炉建屋原子炉棟内)での作業は約2時間で実施可能であることから、十分な時間的余裕のある対応が可能である。</p> | <p>(5) 使用済燃料ピットから漏えい発生時の遮蔽設計基準到達時間について 故意による大型航空機の衝突等により、使用済燃料ピットが大規模に損壊し大量の漏えいが発生した場合を想定して、米国における NEI 06-12 (B.5.b 対応ガイド) では、使用済燃料ピットへのスプレイ能力として 200gpm (≒45.4m³/h) 以上を要求している。</p> <p>▶仮に、使用済燃料ピットから NEI 06-12 におけるスプレイ能力 200gpm の漏えいが発生している想定とした場合、燃料取扱棟内の遮蔽設計基準 (0.15mSv/h) を満足させるための水位(以下「遮蔽水位」という。)として、泊3号炉では燃料頂部より 4.25m を確保できれば良いことから、通常運転水位から遮蔽水位までには 3.3m 分の漏えい (525m³) 分の時間的余裕がある。(より厳しい条件として、隣接する燃料検査ピット及び燃料取替チャンネルが切り離された状況を想定して評価する。)</p> <p>崩壊熱による蒸発水量 (約 19.16m³/h) を加味した場合においても、遮蔽水位到達までの時間は約 8.1 時間となる。(燃料頂部が露出するまでには、さらに 4.25m の水位がある。)</p> <p>この間の現実的な対応として、まずは短時間で準備可能な常設設備を活用した注水により水位低下の緩和を図り、その後、可搬型大型送水ポンプ車等による外部からの注水を並行して実施することにより水位の維持を試みる。</p> <p>なお、可搬型スプレイ設備の設置作業については、約 2 時間で実施可能であることから、線量率を考慮しても、十分な時間的余裕のある対応が可能である。</p> | <p>相違理由</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊は、大飯と同様に、使用済燃料ピットから漏えい発生時における遮蔽水位までの到達時間と可搬型スプレイ設備の設置作業の所要時間について整理し、作業の成立性について記載している。なお、女川も、第54条補足説明資料54-6にて同様の内容を整理している。</p> <p>【女川】評価方法の相違 ・PWR では、燃料取替時の遮蔽設計基準として 0.15mSv/h とし、これが維持される最低水位を確保する評価を、重大事故等対策の有効性評価にて確認している。</p> <p>【大飯】【女川】設計の相違による遮蔽水位到達までの水量の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・大飯は、「通常運転時を想定」して「3m 分の漏えい (875m³) 」としているが、これは、泊と同様に、使用済燃料ピットに隣接する原子炉補助建屋チャンネル及び燃料検査ピットが切り離された状況を想定した評価である。(大飯の「想定事故1 添付資料4.1.2 参考1」)</p> <p>【女川】遮蔽水位到達までの評価の相違 ・泊と大飯は、200gpm の漏えいに、崩壊熱による蒸発水量を加味して遮蔽水位到達までの時間余裕を算出している。</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊と大飯は、遮蔽水位到達までの間の対応として、まずは短時間で準備可能な設備を用いた注水により水位低下の緩和を行うことを記載している。女川も、同様に対応することを1.項にて記載しており、実質的に相違はない。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は、漏えい発生時に注水が行われない想定とした場合の遮蔽水位に到達するまでの時間については前述していることから、ここでは記載しない。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|--|
| <p>添付資料 2.1.6 放水砲の設置場所及び使用方法等について</p> <p>以下に、放水砲を使った具体的なプラント事故対応を例示する。</p> <p>(1) 放水砲による放射性物質の拡散抑制の具体的な対応例</p> <p>① 放水砲の使用の判断： 大規模損壊の発生により、炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損又は使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷に至るような場合には、「大規模損壊所達」に基づく初動対応フローにしたがい、プラント状態を把握するとともに、放射性物質の拡散抑制に対して迅速な対応ができるよう放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）の準備を行う。</p> <p>原子炉格納容器圧力の低下、エリアモニタ等の指示値の上昇、目視による原子炉格納容器の損傷等を確認した場合には、初動対応フローの優先順位にしたがい「放射性物質拡散抑制のための戦略フロー」を選択する。</p> <p>当該フローにおいては、格納容器スプレイラインが使用可能な場合は、準備時間が比較的短い格納容器スプレイを実施する。なお、本操作が実施不能な場合、又は放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による放水が必要と判断された場合には、放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による放射性物質の放出抑制のための操作を選択する。</p> <p>② 放水砲の設置位置の判断： 放水砲の設置位置として、原子炉格納容器へ放水する想定の場合には複数箇所を予め設定しているが、現場からの情報（風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位））等を勘案し、原子力防災管理者又は副原子力防災管理者が総合的に判断して、適切な位置からの放水を重大事故等対策要員へ指示する。</p> | <p>添付資料 2.1.13 放水砲の設置位置及び使用方法等について</p> <p>1. 放水砲による具体的なプラント事故対応</p> <p>(1) 放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制、大規模な火災の消火活動の具体的な対応例</p> <p>a. 放水砲の使用の判断 次のいずれかに該当する場合又はそのおそれがある場合は、放水砲を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器へのあらゆる注水手段を講じても注水できず、原子炉格納容器の破損のおそれがあると判断した場合 原子炉格納容器からの異常な漏えいにより、原子炉格納容器フィルタベント系で原子炉格納容器の減圧及び除熱をしているものの、原子炉建屋内の水素濃度が低下しないことにより原子炉建屋ベント設備を開放する場合 燃料プールスプレイ系（常設配管）又は燃料プールスプレイ系（可搬型）による燃料プールスプレイができない場合 プラントの異常により、モニタリングポストの指示がオーダーレベルで上昇した場合 航空機燃料火災が発生した場合 <p>b. 放水砲の設置位置の判断 放水砲の設置位置として、大気への放射性物質の拡散抑制の場合にはあらかじめ設置位置候補を複数想定しているが、現場からの情報（風向き、損傷位置（高さ、方位）等）を勘案し、発電所対策本部が総合的に判断して、適切な位置からの放水を指示する。</p> | <p>添付資料 2.1.7 放水砲の設置位置及び使用方法等について</p> <p>1. 放水砲による具体的なプラント事故対応</p> <p>(1) 放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制、大規模な火災の消火活動の具体的な対応例</p> <p>a. 放水砲の使用の判断 大規模損壊の発生により、炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損又は使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷に至るような場合には、大規模損壊発生時の対応手順書に基づく初動対応フローに従い、プラント状態を把握するとともに、放射性物質の拡散抑制に対して迅速な対応ができるよう可搬型大型送水ポンプ車の準備を行う。ただし、外観から原子炉格納容器に明らかな破損が確認された場合は、可搬型大容量海水送水ポンプ車を優先して準備する。</p> <p>原子炉格納容器圧力の低下、エリアモニタ等の指示値の上昇、目視による原子炉格納容器の破損等を確認した場合には、初動対応フローの優先順位に従い、「放射性物質放出低減のための戦略フロー」を選択する。</p> <p>当該フローにおいては、格納容器スプレイラインが使用可能な場合は、準備時間が比較的短い格納容器スプレイを実施する。なお、本操作が実施不能な場合、又は放水砲及び可搬型大容量海水送水ポンプ車による放水が必要と判断された場合には、放水砲及び可搬型大容量海水送水ポンプ車による放射性物質の放出抑制のための操作を選択する。</p> <p>b. 放水砲の設置位置の判断 放水砲の設置位置として、大気への放射性物質の拡散抑制のために原子炉格納容器又は燃料取扱棟へ放水する場合はあらかじめ設置位置候補を複数設定しているが、現場からの情報（風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位））等を勘案し、発電所対策本部が総合的に判断して、適切な位置からの放水を指示する。</p> | <p>【大阪】【女川】資料番号の相違 【大阪】記載表現の相違 【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) 【大阪】記載内容の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、放水砲を活用した消火活動についても記載する。 【女川】手順着手の判断基準の相違 ・泊は、大阪と同様に、大規模損壊発生時には、プラント状態を把握し、緩和操作を選択するための判断フローに基づいて、対応操作を選定する。 【大阪】記載表現の相違 【大阪】運用の相違 ・泊は、大規模損壊が発生した場合（又は発生が疑われる場合）には、応用範囲が広い（炉心注水、格納容器スプレイ、格納容器内自然対流冷却、使用済燃料ピットへの注水・スプレイ、燃料取替用水ピット・補助給水ピット補給、消火等）可搬型大型送水ポンプ車の準備を速やかに開始する。ただし、原子炉格納容器の外観に明らかな破損が確認された場合には、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲等を優先して準備する。（伊方3号と同様の考え方） 【大阪】記載表現の相違 【大阪】戦略名称の相違 【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) 【女川】記載表現の相違 ・泊は、現場からの情報以外の情報も勘案することを意図した表現とするため、「等」の記載位置が異なる。</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>③ 放水砲の設置位置と原子炉格納容器又は使用済燃料ピットへの放水可能性 [原子炉格納容器へ放水する場合]</p> <p>前述のとおり、放水砲は状況に応じて適切な場所に設置する。原子炉格納容器から約64mの範囲内に放水砲を設置すれば、原子炉格納容器頂部までの放水が可能である。</p> <p>また、海水取水箇所については複数箇所を想定するとともに、可搬型ホースの敷設ルートについても、その時の被害状況や火災の状況を勘案して柔軟な対応ができるよう複数のアクセスルートを想定した手順及び設備構成とする。</p> <p>[原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へ放水する場合]</p> <p>使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における対応は、「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」及び「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」に示すとおりであり、使用済燃料ピットにアクセスが困難な場合には、送水車による建屋外部からのスプレイ操作を実施する。</p> <p>さらに、本操作を実施することが困難な状況（大規模な火災等により接近できずに、十分な射程が確保できない場合）においては、放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）により原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へスプレイする手段もある。この場合、原子炉格納容器へ放水する場合と同様、風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位）等に応じて放水砲を設置する。</p> | <p>また、消火活動の場合は、火災の状況（アクセスルート含む。）等を勘案し、設置位置を確保した上で、適切な位置から放水する。</p> <p>c. 放水砲の設置位置と原子炉建屋（原子炉格納容器又は使用済燃料プール）への放水可能性</p> <p>前述のとおり、放水砲は状況に応じて適切な位置に設置する。原子炉建屋から約60mの範囲内に放水砲を仰角60°以上（泡消火放水の場合は、原子炉建屋から約58mの範囲内に放水砲を仰角60°以上。）で設置すれば、原子炉建屋屋上まで放水することができることから、原子炉格納容器又は使用済燃料プールへの放水は十分に可能である。</p> <p>また、海水取水箇所については複数箇所を想定するとともに、ホースの敷設ルートについても、その時の被害状況や火災の状況を勘案して柔軟な対応ができるよう複数のアクセスルートを確保し、複数のアクセスルートを想定した手順及び設備構成とする。</p> | <p>また、消火活動の場合は、火災の状況（アクセスルート含む。）等を勘案し、設置位置を確保した上で、適切な位置から放水する。</p> <p>c. 放水砲の設置位置と原子炉格納容器又は使用済燃料ピットへの放水可能性 [原子炉格納容器へ放水する場合]</p> <p>前述のとおり、放水砲は状況に応じて適切な場所に設置する。原子炉格納容器から約71mの範囲内（泡消火放水の場合には、T.P.32mにおいて原子炉格納容器から約48mの範囲内）に放水砲を設置すれば、原子炉格納容器頂部まで放水することができることから、原子炉格納容器への放水は十分に可能である。</p> <p>また、海水取水箇所については複数箇所を想定するとともに、可搬型ホースの敷設ルートについても、その時の被害状況や火災の状況を勘案して柔軟な対応ができるよう複数のアクセスルートを確保し、複数のアクセスルートを想定した手順及び設備構成とする。</p> <p>[燃料取扱棟（使用済燃料ピット内の燃料体等）へ放水する場合]</p> <p>使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における対応は、「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」及び「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」に示すとおりであり、使用済燃料ピットにアクセスが困難な場合には、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる建屋外部からのスプレイ操作を実施する。</p> <p>さらに、本操作を実施することが困難な状況（大規模な火災等により接近できずに、十分な射程が確保できない場合）においては、放水砲及び可搬型大容量海水送水ポンプ車により燃料取扱棟（使用済燃料ピット内の燃料体等）へ放水する手段もある。この場合、原子炉格納容器へ放水する場合と同様、風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位）等に応じて放水砲を設置する。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】記載内容の相違 ・泊は、女川審査実績を反映し、放水砲を活用した消火活動についても記載する。</p> <p>【女川】記載表現、記載方針の相違 ・女川は、原子炉格納容器及びその上部に位置する使用済燃料プールの原子炉建屋内に包摂する設計であるため、「原子炉建屋への放水」として両者への放水を表現している。 ・泊は、大阪と同様に、原子炉格納容器と使用済燃料ピットとで放水先が異なるから、それぞれへの放水を場合分けして記載する。（以降、同様の相違については、相違理由の記載を割愛する。）</p> <p>【大阪】【女川】設計方針の相違 ・建屋設計及び放水に係る設備の性能の相違により、放水可能な範囲が異なる。</p> <p>【女川】記載箇所の相違 ・泊は、設置位置によって異なる角度で放水することから、第1図～第8図において放水砲の配置ごとに記載する。</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|--|------------------------------|
| <p>放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による原子炉格納容器等への放水により、放射性物質を含む汚染水が発生し、海洋へ拡散することを想定して、放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による放水前にシルトフェンスにより汚染水の海洋への拡散抑制を行う。</p> <p>放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による原子炉格納容器等への放水により、放射性物質を含む汚染水が雨水排水の流路を通して海へ流れることを想定して、排水路に放射性物質吸着剤を設置し、放射性物質を吸着する。</p> <p>放射性物質吸着剤は、汚染水が集水する排水路等シルトフェンスの内側に設置する。</p> | <p>なお、大気への放射性物質の拡散抑制の場合は、放射性物質を含む汚染水が敷地内の排水経路等を通して海へ流れることを想定し、シルトフェンスを設置することにより海洋への放射性物質の拡散抑制を行う。</p> | <p>なお、大気への放射性物質の拡散抑制の場合は、放射性物質を含む汚染水が集水樹を通して海へ流れることを想定し、集水樹シルトフェンスを設置することにより海洋への放射性物質の拡散抑制を行う。</p> | <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|--|
| <p>大飯発電所3/4号炉</p>  <p>水放射による放水砲性能曲線 泡放射による放水砲性能曲線</p> <p>◆格納容器仕様（高さ：E.L.+83m、直径：45.6m） ◆放水砲性能曲線より ・原子炉格納容器トップに放水するための射高は、原子炉格納容器トップ高さ（83m）－グランドレベル（E.L.33.6m）＝49.4m ・原子炉格納容器トップに放水するための射程は約64m ・原子炉格納容器トップに放水するための放水砲の角度は、65°～75°</p> <p>放水砲型式：PM-8P ノズル圧力：0.8 MPa 放射量：20,000 L/min ※ 本放射曲線は理論値であり飛距離は無風時を設定しています。</p> | <p>2. 放水砲の設置位置について</p> <p>(1) 海水放水（放射性物質拡散抑制）の場合</p> | <p>2. 放水砲の設置位置について</p> <p>(1) 原子炉格納容器へ放水する場合 a. 海水放水（放射性物質拡散抑制）の場合</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違 ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に実質的な相違はない。</p> |
|  | <p>第1図 放水砲設置位置（海水放水の場合）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> | <p>第1図 原子炉格納容器への放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（海水放水時）</p> | |
| | <p>第2図 射程と射高の関係（海水放水、原子炉建屋西側からの放水の場合）</p> <p>原子炉建屋の仕様 ・高さ（原子炉建屋屋上）：地上高35.7m ・幅（原子炉建屋上部最大）：51m 放水砲の射高、射程及び仰角の関係（放水曲線）より、 ●原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ●原子炉建屋中心に放水するための射程は、約60m ●原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上</p> <p>なお、本曲線は、実放射計測のデータから取り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> | <p>第2図 原子炉格納容器への各放水位置における射高と射程の関係（海水放水時）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---------|---|
| | <div data-bbox="728 518 1153 571" data-label="Section-Header"> <p>第3図 射程と射高の関係 (海水放水、原子炉建屋北側からの放水の場合)</p> </div> <div data-bbox="716 582 1164 766" data-label="Text"> <p>原子炉建屋の仕様 ・高さ（原子炉建屋屋上）：地上高35.7m ・幅（原子炉建屋上部最大）：38m 放水砲の射高、射程及び仰角の関係（放水曲線）より、 ●原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ●原子炉建屋中心に放水するための射程は、約60m ●原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上</p> <p>なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> </div> <div data-bbox="851 778 1187 801" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div> <div data-bbox="728 1189 1153 1241" data-label="Section-Header"> <p>第4図 射程と射高の関係 (海水放水、原子炉建屋東側からの放水の場合)</p> </div> <div data-bbox="716 1252 1164 1436" data-label="Text"> <p>原子炉建屋の仕様 ・高さ（原子炉建屋屋上）：地上高35.7m ・幅（原子炉建屋上部最大）：51m 放水砲の射高、射程及び仰角の関係（放水曲線）より、 ●原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ●原子炉建屋中心に放水するための射程は、約60m ●原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上</p> <p>なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> </div> <div data-bbox="851 1449 1187 1471" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div> | | <p>【大阪】【女川】記載表現の相違 ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に実質的な相違はない。</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---|--|
| | <p>(2) 泡消火放水（航空機燃料火災）の場合</p> <p>第5図 放水砲設置位置（泡消火放水の場合） 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> <p>第6図 射程と射高の関係 （泡消火放水、原子炉建屋西側からの放水の場合）</p> <p>原子炉建屋の仕様 ・高さ（原子炉建屋屋上）：地上高35.7m ・幅（原子炉建屋上部最大）：51m 放水砲の射高、射程及び仰角の関係（放水曲線）より、 ●原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ●原子炉建屋中心に放水するための射程は、約58m ●原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上</p> <p>なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射高は無風時を想定している。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> | <p>b. 泡消火放水（航空機燃料火災）の場合</p> <p>第3図 原子炉格納容器への放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（泡消火放水時）</p> <p>第4図 原子炉格納容器への各放水位置における射高と射程の関係（泡消火放水時） 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】【女川】記載表現の相違 ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に実質的な相違はない。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---------|--|
| | <div data-bbox="716 518 1164 566" data-label="Section-Header"> <p>第7図 射程と射高の関係 (泡消火放水, 原子炉建屋北側からの放水の場合)</p> </div> <div data-bbox="716 582 1164 774" data-label="Text"> <p>原子炉建屋の仕様 ・高さ(原子炉建屋屋上)：地上高35.7m ・幅(原子炉建屋上部最大)：38m 放水砲の射高、射程及び仰角の関係(放水曲線)より、 ●原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ●原子炉建屋中心に放水するための射程は、約58m ●原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上</p> <p>なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> </div> <div data-bbox="862 778 1198 801" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div> <div data-bbox="716 1189 1164 1236" data-label="Section-Header"> <p>第8図 射程と射高の関係 (泡消火放水, 原子炉建屋東側からの放水の場合)</p> </div> <div data-bbox="716 1252 1164 1444" data-label="Text"> <p>原子炉建屋の仕様 ・高さ(原子炉建屋屋上)：地上高35.7m ・幅(原子炉建屋上部最大)：51m 放水砲の射高、射程及び仰角の関係(放水曲線)より、 ●原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ●原子炉建屋中心に放水するための射程は、約58m ●原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上</p> <p>なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> </div> <div data-bbox="862 1449 1198 1471" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div> | | <div data-bbox="1814 143 2139 223" data-label="Text"> <p>【大阪】【女川】記載表現の相違 ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に実質的な相違はない。</p> </div> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|-------------|---|--|
| | | <p>(2) 燃料取扱棟（使用済燃料ピット内の燃料体等）へ放水する場合 a. 海水放水（放射性物質拡散抑制）の場合</p>  <p>第5図 燃料取扱棟への放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（海水放水時）</p>  <p>第6図 燃料取扱棟への各放水位置における射高と射程の関係（海水放水時）</p> <p> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に実質的な相違はない。 |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|-------------|---|---|
| | | <p>b. 泡消火放水（航空機燃料火災）の場合</p>  <p>第7図 燃料取扱棟への放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（泡消火放水時）</p>  <p>第8図 燃料取扱棟への各放水位置における射高と射程の関係（泡消火放水時）</p> <p> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> | <p>【大阪】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 図表の整理方法は異なるが、記載内容に実質的な相違はない。 |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|---|---|
| <p style="text-align: right;">添付 6-1</p> <p>放水砲の放射方法について</p> <p>放水砲の放射方法としては、直線状放射から噴霧状放射への切替えが可能であり、噴霧状放射は直線状放射に比べ射程距離が短くなるものの、より細かい水滴径が期待できる。</p> <p>放射性ブルーム放出時には、放水砲により放水した水により、放射性ブルームに含まれる微粒子状の放射性物質が除去されることが期待できるが、微粒子状の放射性物質の粒子径は、0.1~0.5μmと考えられ、この粒子径の微粒子の水滴による除去機構は、水滴と微粒子の慣性衝突作用（水滴径0.3mmϕ前後で最も衝突作用が大きくなる）によるものであり、噴霧状放射を活用することで、その衝突作用に期待できる。また、水滴と微粒子の相対速度を大きくし、水の流量を大きくすることで、除去効果の増大が期待できる。</p> <p>したがって、ブルーム放出時の放水砲の放射方法としては、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器の破損箇所が確認できる場合 <p>原子炉格納容器損壊部に向けて放水し、噴射ノズルを調整することにより噴霧状で損壊箇所を覆うことが可能であれば、噴霧状放射を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器の損壊部が不明な場合 <p>原子炉格納容器頂部に向けて放水し、原子炉格納容器全体を覆う。</p> <p>なお、原子炉格納容器頂部のように、直線状放射でしか届かない場合においても、到達点では霧状になっていることから（第1図参照）、放射性物質の除去に期待できる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>第1図 直状放射による放水※ 第2図 直線状放射による放水状況</p> <p>※ 参考文献：「第14回 消防防災研究講演会資料」から抜粋 主催 消防庁消防大学校 消防研究センターより</p> | <p>3. 放水砲の放射方法について</p> <p>放水砲の放射方法としては、直状放射から噴霧放射への切替えが可能であり、噴霧放射は直状放射に比べて射程距離が短くなるもののより細かい水滴径が期待できるため、高い放射性物質の除去効果が期待できる。</p> <p>放射性雲放出時には、放水砲により放水した水により、放射性雲に含まれる微粒子状の放射性物質が除去されることが期待できる。</p> <p>したがって、放射性雲放出時の放水砲の放射方法としては、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋（原子炉格納容器又は使用済燃料プール）の破損箇所が確認できる場合 <p>原子炉建屋の破損箇所に向けて放水し、噴射ノズルを調整することにより噴霧放射で損壊箇所を最大限覆うことができるよう放射する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋（原子炉格納容器又は使用済燃料プール）の破損箇所が確認できない場合 <p>原子炉建屋の中央に向けて放水する。</p> <p>なお、直状放射でしか届かない場合においても、到達点では霧状になっていることから、放射性物質の除去に期待できる（第9図）。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>第9図 直状放射による放水</p> | <p>3. 放水砲の放射方法について</p> <p>放水砲の放射方法としては、直状放射から噴霧放射への切替えが可能であり、噴霧放射は直状放射に比べて射程距離が短くなるものの、より細かい水滴径が期待できるため、高い放射性物質の除去効果が期待できる。</p> <p>放射性ブルーム放出時には、放水砲により放水した水により、放射性ブルームに含まれる微粒子状の放射性物質が除去されることが期待できるが、微粒子状の放射性物質の粒子径は、0.1~0.5μmと考えられ、この粒子径の微粒子の水滴による除去機構は、微粒子と水滴の慣性衝突作用（水滴径0.3mmϕ前後で最も衝突作用が大きくなる）によるものであり、噴霧放射を活用することで、その衝突作用に期待できる。また、水滴と微粒子の相対速度を大きくし、水の流量を大きくすることで、除去効果の増大が期待できる。</p> <p>したがって、ブルーム放出時の放水砲の放射方法としては、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器又は燃料取扱棟（使用済燃料ピット）の破損箇所が確認できる場合 <p>原子炉格納容器又は燃料取扱棟の破損箇所に向けて放水し、噴射ノズルを調整することにより噴霧放射で破損箇所を最大限覆うことができるよう放射する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器又は燃料取扱棟（使用済燃料ピット）の破損箇所が確認できない場合 <p>原子炉格納容器頂部又は燃料取扱棟の中央に向けて放水する。</p> <p>なお、直状放射でしか届かない場合においても、到達点では霧状になっていることから、放射性物質の除去に期待できる（第9図及び第10図）。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>第9図 直状放射による放水※ 第10図 直状放射による放水状況</p> <p>※ 参考文献：「第14回 消防防災研究講演会資料」から抜粋 主催 消防庁消防大学校 消防研究センターより</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・泊は、大阪と同様に、放水による放射性物質の除去のメカニズムについて記載している。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大阪】 記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・泊は、大阪と同様に、直状放射による放水について、文献を参考している。</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

| 対応項目 | 対応内容 | 設備名 | 仕様 | 設置場所 | 設置時期 | 対応状況 | 備考 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 可搬型設備等による対応 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |

女川原子力発電所2号炉

【比較のため、記載順序の入替を行っている。】

| 対応項目 | 対応内容 | 設備名 | 仕様 | 設置場所 | 設置時期 | 対応状況 | 備考 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 可搬型設備等による対応 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |

泊発電所3号炉

| 対応項目 | 対応内容 | 設備名 | 仕様 | 設置場所 | 設置時期 | 対応状況 | 備考 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 可搬型設備等による対応 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |
| | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 | 放射性物質除去装置 |

相違理由

大飯：放射性物質放出低減のための戦略
 女川：⑥-1 格納容器除熱戦略
 泊：放射性物質放出低減のための戦略
 格納容器破損緩和（損傷炉心冠水）のための戦略
 格納容器過圧破損緩和のための戦略

【大飯】表の整理方法の相違
 (C/V スプレイ①～⑤)
 ・泊は、C/V スプレイ①～⑤は、以下の戦略で共通する手順であり、重複した記載にならないように表を整理している。
 ・放射性物質放出低減のための戦略
 ・格納容器破損緩和（損傷炉心冠水）のための戦略
 ・格納容器過圧破損緩和のための戦略
 (大飯も、添付資料 2.1.4 の手順書一覧表では同様に整理している。)

【女川】個別の対応手順の相違
 ・炉型の相違等により整備する手順等は異なるが、表中の記載内容に相違はない。
 (以下、相違理由の記載を省略する。)

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

| 対応手順 | 手順書 | 対応要項の適用 の当該項目 | 可搬型設備 | 水質 | 備考 | 所要時間 | 必要 要員 | 必要 機材 | 必要 器具 | 必要 設備 | 手続成立のために 必要の事項 |
|-------------------------------------|--|-------------------------|-------|---------------|-----------------------|------|----------|----------|----------|----------|--------------------|
| ・CVSスプレィ① ・CVSスプレィ② ・CVSスプレィ③ | 【中心の新しい相見及び格納容器設備を停止する運転手順書】 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 1.4.1.6 1.7.1.1 | - | 硬水 | - | 30分 | 3名 | △ | ○ | ○ | ・電源の確保 |
| | 【中心の新しい相見及び格納容器設備を停止する運転手順書】 運転員が格納容器スプレィの手順 | 1.4.1.6 1.7.1.8 | - | No.2 硬水タンク | - | 40分 | 3名 | △ | × | △ | ・燃料供給 |
| | 【中心の新しい相見及び格納容器設備を停止する運転手順書】 運転員が格納容器スプレィの手順 | 1.4.1.6 1.7.1.8 | - | 硬水 | ※3.4号炉 適用の手 順あり | 40分 | 12名 | ○ | ○ | ○ | ・アナライズカート ・燃料供給 |
| ・CVSスプレィ④ | 【大飯格納容器設備】 ・大飯格納容器設備を停止する運転手順書 ・大飯格納容器スプレィの手順 | 1.4.1.6,1.7 1.8,1.12 | - | 硬水 | - | 30分 | 3名 | ○ | × | ○ | ・アナライズカート ・燃料供給 |

※格納容器設備は1.4（運転員が操作）から1.8（運転員が操作）まで

【同じような記載の箇所は省略】

女川原子力発電所2号炉

【比較のため、記載順序の入替を行っている。】

| 項目 | 大飯 | 女川 | 泊 | 備考 |
|---------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1.4.1.6 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 |
| 1.7.1.1 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 |
| 1.7.1.8 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 |
| 1.8 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 | 運転員が格納容器ボンプを用いた大飯格納容器スプレィの手順 |

比較対象は

添付 2.1.8-2 ページ

相違理由

- 大飯：格納容器破損防止（破損炉心冠水）のための戦略
- 女川：⑥-2 格納容器除熱戦略
- 泊：（添付 2.1.8-2 ページに記載）
放射性物質放出低減のための戦略
格納容器破損緩和（損傷炉心冠水）のための戦略
格納容器過圧破損緩和のための戦略

【大飯】表の整理方法の相違
（C/V スプレィ①～⑤）
・泊は、C/V スプレィ①～⑤は、以下の戦略で共通する手順であり、重複した記載にならないように表を整理している。
・放射性物質放出低減のための戦略
・格納容器破損緩和（損傷炉心冠水）のための戦略
・格納容器過圧破損緩和のための戦略（大飯も、添付資料 2.1.4 の手順書一覧表では同様に整理している。）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|
| 対応手順 | 手動操作 | 手動操作 | 手動操作 | 手動操作 | 手動操作 | |
| 目的的能力に 対応する項目 | 手動操作 | 手動操作 | 手動操作 | 手動操作 | 手動操作 | |
| 可搬型設備 | 可搬型設備 | 可搬型設備 | 可搬型設備 | 可搬型設備 | 可搬型設備 | |
| 備考 | 備考 | 備考 | 備考 | 備考 | 備考 | |
| 必要稼働時間 | 必要稼働時間 | 必要稼働時間 | 必要稼働時間 | 必要稼働時間 | 必要稼働時間 | |
| 必要稼働人員 | 必要稼働人員 | 必要稼働人員 | 必要稼働人員 | 必要稼働人員 | 必要稼働人員 | |
| 手動操作に必要な 必要事項 | 手動操作に必要な 必要事項 | 手動操作に必要な 必要事項 | 手動操作に必要な 必要事項 | 手動操作に必要な 必要事項 | 手動操作に必要な 必要事項 | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

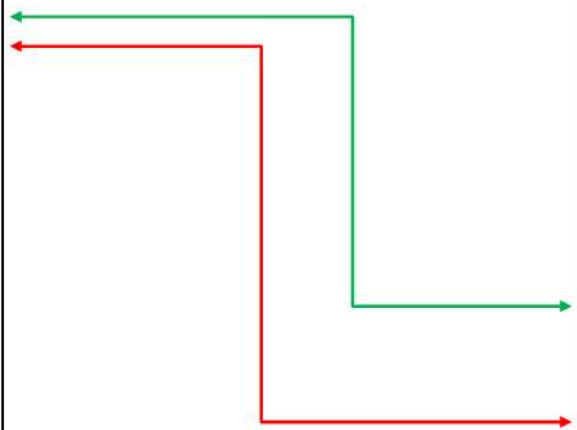
2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|--|--|
| <p>添付 7-1 大規模な津波の襲来を想定した燃料油貯蔵タンクベント管からの海水流入の影響について</p> <p>地下に埋設している燃料油貯蔵タンクのベント管は、地中（トレンチ内）を通り頑健性を有する原子炉周辺建屋の外壁面に沿って設置するとともに、耐震Sクラス設計であり、さらに緩衝材を設置していることから、津波又は津波の漂流物によって破損する可能性は低い。</p> <p>また、ベント管の頂部高さはE.L.約+15mに設置しており、想定を超える津波によりベント管からの海水が流入する可能性は低い。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">比較対象なし</div> | <p>添付 1 大規模な津波の襲来を想定したディーゼル発電機燃料油貯油槽ベント管からの海水流入の影響について</p> <p>地下に埋設しているディーゼル発電機燃料油貯油槽のベント管は、地中（埋設又はトレンチ内）を通り、頑健性を有するディーゼル発電機建屋の外壁面に沿って設置している。ベント管は基準地震動に対する耐震性を確保する方針であり、さらに各ベント管に対してデブリガードを設置していることから、津波又は津波の漂流物によって損傷する可能性は低い。</p> <p>また、ベント管の頂部（開口部）は、すべてT.P.15m以上（A1,A2:T.P.15.5m, B1,B2:T.P.20.1m）に位置しており、基準津波に対して一定程度の裕度を有する。（第1図）</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】資料番号の相違 【大阪】設備名称の相違 (以降、相違理由の記載を省略する)</p> <p>【大阪】設計の相違 ・泊は、A系とB系のベント管の水平部について、A1及びA2のベント管は埋設しており、B1及びB2のベント管はトレンチ内に敷設している。（B1,B2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽の追加設置時における設計の相違による。）</p> <p>【大阪】建屋名称の相違 【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設計の相違 ・ベント管の頂部（開口部）の高さは異なるが、敷地高さよりも高い位置に開口部を設けることで基準津波に対する裕度を確保する方針に相違はない。 ・なお、泊は、B系のベント管については、A系よりもさらに裕度を確保する設計としている。</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|--|
| <p>万一、燃料油貯蔵タンク内に海水が混入することを想定した場合においても、重油と海水は密度差によって自然に分離され海水は下部に溜まることから、検尺棒に塗布した試薬の色覚変化で重油と海水が分離されていること及び海水の水位を確認した上で、タンクローリーへは貯蔵タンクの上部から汲み上げることで分離された重油を使用することができ、機器等への燃料補給は可能である。</p> <p>【比較のため、玄海原子力発電所3/4号技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.10 添付10-1より引用】</p> <p><燃料油貯蔵タンクの重油と海水の分離手順></p> <p>1. 検尺棒にウォーターフーリングペースト（水に触れた部分のみ赤く変色する）を塗布した後、タンクに検尺棒を挿入し、検尺棒が赤く変色した部分を確認することにより、タンクに混入したおおよその海水量を把握する。</p> <p>2. タンクローリーにより、検尺棒により把握したおおよその海水を油分離槽に汲み上げる。タンクローリー側も検尺棒にて海水量を把握し、油分離槽へ海水を排出する。</p> |  | <p>万一、ディーゼル発電機燃料油貯油槽内に海水が混入することを想定した場合においても、一定時間経過後には、軽油と海水は密度差によって自然に分離され海水は下部に溜まることから、分離された軽油を使用することで機器等への燃料補給は可能である。なお、分離して貯油槽下部に溜まった海水については、以下の設備及び手順により排出することができる。</p> <p><ディーゼル発電機燃料油貯油槽内の軽油と海水の分離手順（第2図）></p> <p>1. 検尺棒にウォーターフーリングペースト（水に触れた部分のみ赤く変色する性質）を塗布した後、ディーゼル発電機燃料油貯油槽の測深管に検尺棒を挿入し、検尺棒が赤く変色した部分を確認することにより、軽油と海水が分離されていること及び混入したおおよその海水量を把握する。</p> <p>2. 可搬型タンクローリーにより、検尺棒により把握したおおよその海水量を仮設の油水分離槽に汲み上げる。油水分離槽内の軽油と海水が分離した後、油水分離槽下部のドレン弁から海水を排出する。</p> | <p>【大阪】記載表現の相違（玄海 3/4 号と同様。）</p> <p>【大阪】設計の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、ディーゼル発電機の燃料として軽油を用いるため油種に相違はあるが、海水が混入した場合には密度差によって自然に分離することに相違はない。 <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、貯油槽に混入した海水を排水した後に軽油を汲み上げることから、その手順を記載している。（玄海 3/4 号と同様。） <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】海水混入時における燃料油の汲み上げ方法の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は、燃料油貯蔵タンクから汲み上げ時には、給油用ホース端がタンクの油面レベル以下まで挿入して汲み上げる。海水が混入した場合には、タンク内の海水の水位を確認し、ホースの挿入深さを調整することで、密度差によって上層に分離した重油のみをタンクローリーに汲み上げる。 泊は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽の給油口に汲み上げ用ホースを挿入して汲み上げることから、貯油槽の下部からの汲み上げとなる。このため、海水が混入した場合には、混入した海水の量を把握し、仮設の油水分離槽に汲み上げることで貯油槽から排出した後に、軽油を可搬型タンクローリーに汲み上げる。（混入した海水の排出してから燃料油を汲み上げるのは、玄海 3/4 号と同様。なお、玄海 3/4 号は一般取扱所近傍に設置している油分離槽を使用する点で異なる。） |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

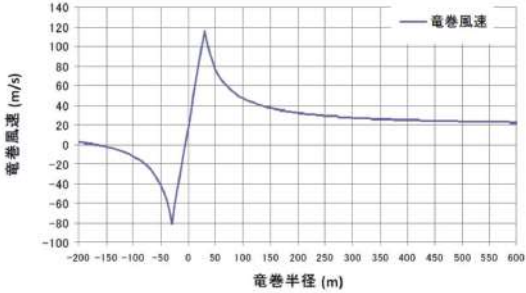
2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|-------------|---|---------------------------------------|
| <p>燃料油貯蔵タンクのベント管と燃料汲み上げのイメージ</p> <p>【比較のため、玄海原子力発電所3/4号技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.10 添付10-1より引用】</p> | | <p>第1図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽のベント管 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>第2図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽の軽油と海水の分離方法のイメージ図</p> | <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> |
| <p>対応のイメージ</p> | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | |
|---|------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----|------|------|----|---|---|---|
| <p style="text-align: right;">添付7-2</p> <p>竜巻に対する可搬型重大事故等対処設備の離隔の考え方について</p> <p>(1) 竜巻被害幅の想定</p> <p>竜巻に対する設備の防護対策については、竜巻被害幅を考慮し設計基準対処設備、常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備が同時に機能喪失しないよう、可搬型重大事故等対処設備を原子炉建屋等から十分に離隔した保管場所に配置するとともに、当該設備同士も十分に距離をとって配置することとしている。</p> <p>ここで、可搬型重大事故等対処設備の分散配置検討においては、日本国内で観測された最大の竜巻であるF3竜巻を超えるF4竜巻による評価を行った。</p> <p>評価に用いたパラメータは以下の通り。</p> <p style="text-align: center;">表1. 評価竜巻のパラメータ</p> <table border="1" data-bbox="85 603 638 679"> <thead> <tr> <th>最大風速 V_D (m/s) ※1</th> <th>移動速度 V_T (m/s) ※2</th> <th>最大接線風速 V_{Rm} (m/s) ※2</th> <th>最大接線風速半径 R_m (m) ※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>116</td> <td>17.4</td> <td>98.6</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：F4竜巻風速93～116m/sの最大値を採用 ※2：原子力発電所の竜巻影響評価ガイドに従い算出</p> <p style="text-align: center;">ランキン渦モデルによる竜巻風速</p>  <p>図1. ランキン渦モデルによる評価竜巻の風速と半径</p> <p>可搬型重大事故対処設備について、竜巻による浮き上がりに伴う損傷と、飛来物の衝突による損傷を対象とし、浮き上がりについては、最も浮き上がりやすい形状である、可搬型重大事故等対処設備を保管しているコンテナの浮き上がりを、飛来物による損傷については、設計飛来物である鋼製材、鋼製パイプ、砂利について、各々評価を行った。</p> <p>浮き上がりの評価方法は、参考1に示すランキン渦モデルにより、可搬型重大事故対処設備の空力パラメータより、浮き上がりの生じる風速を求め、評価竜巻の中心からの距離を算出した。</p> | 最大風速 V_D (m/s) ※1 | 移動速度 V_T (m/s) ※2 | 最大接線風速 V_{Rm} (m/s) ※2 | 最大接線風速半径 R_m (m) ※2 | 116 | 17.4 | 98.6 | 30 | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">比較対象なし</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">比較対象なし</div> | <p>【大阪】資料構成の相違(女川審査実績反映)</p> <p>・泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。</p> |
| 最大風速 V_D (m/s) ※1 | 移動速度 V_T (m/s) ※2 | 最大接線風速 V_{Rm} (m/s) ※2 | 最大接線風速半径 R_m (m) ※2 | | | | | | | | |
| 116 | 17.4 | 98.6 | 30 | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

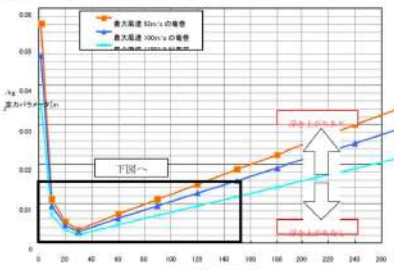
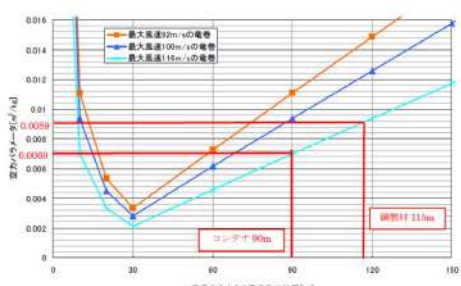
2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------|------------------|--|--|-------|----------------|-----|--------|-----|----------------|-----|--------|----|----------------|------|--------|------------------|----------------|-------|--------|----------|----------------|--------|--------|--------|-----------------|--------|--------|--------------|------------------|-------|--------|-----|-----------------|--------|--------|---------|---------------|-------|--------|----------|---------------|--------|--------|----------|----------------|--------|--------|----------|----------------|------|--------|-----|--------------|-------|--------|--|--|--|
| <p>飛来物による損傷については、設計飛来物である鋼製材、鋼製パイプ、砂利のうち、鋼製パイプより飛びやすく、砂利よりも重い鋼製材の浮き上がりの生じる範囲を考える。</p> <p>鋼製材の浮き上がりの生じる距離は115mであり、保守的に被害幅を230mとする。</p>  <p>図2. 竜巻被害幅の範囲と可搬型重大事故等対処設備の位置関係について</p> <p>図2に、竜巻移動方向の考察に基づいた竜巻の進路を例示する。可搬型重大事故対処設備の設置位置を最も包含する3号原子炉建屋中心を通過する竜巻を想定した場合、原子炉建屋内に設置している非常用ディーゼル発電機が機能喪失に至った場合においても、分散配置する電源車、大容量ポンプ車等の複数の可搬型重大事故等対処設備が防護されると期待できることから、喪失した当該機能の回復措置を講じることが可能である。</p> <p>表2に大阪原子力発電所3、4号機の竜巻影響評価において用いた設計飛来物と、可搬型重大事故等対処設備の代表的な空力パラメータを示す。</p> <p>表2. 想定飛来物の空力パラメータ等</p> <table border="1" data-bbox="91 1133 633 1420"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>サイズ(長さ×幅×高さ) [m]</th> <th>質量 [kg]</th> <th>空力パラメータ (C_DV/m)[m²/kg]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製パイプ</td> <td>2.00×0.05×0.05</td> <td>8.4</td> <td>0.0057</td> </tr> <tr> <td>鋼製材</td> <td>4.20×0.30×0.20</td> <td>135</td> <td>0.0089</td> </tr> <tr> <td>砂利</td> <td>0.04×0.04×0.04</td> <td>0.18</td> <td>0.0176</td> </tr> <tr> <td>コンテナ(消防ポンプ12台収納)</td> <td>6.00×2.60×2.40</td> <td>3,476</td> <td>0.0069</td> </tr> <tr> <td>空冷式非常用電源</td> <td>15.45×2.99×4.1</td> <td>38,025</td> <td>0.0021</td> </tr> <tr> <td>大容量ポンプ</td> <td>12.69×2.495×3.5</td> <td>24,230</td> <td>0.0023</td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>8.455×2.23×2.465</td> <td>5,744</td> <td>0.0052</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>11.5×2.49×3.555</td> <td>17,195</td> <td>0.0030</td> </tr> <tr> <td>タンクローリー</td> <td>6.755×2.2×2.4</td> <td>4,300</td> <td>0.0056</td> </tr> <tr> <td>ドーザーショベル</td> <td>6.2×2.5×3.285</td> <td>21,220</td> <td>0.0015</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダー</td> <td>7.29×2.68×3.29</td> <td>12,355</td> <td>0.0028</td> </tr> <tr> <td>モニタリングカー</td> <td>5.02×1.69×2.53</td> <td>2065</td> <td>0.0063</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> <td>3.8×2.2×1.75</td> <td>2,100</td> <td>0.0059</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記については、各々の設備のうち、最も保守的(空力パラメータの大きくなるもの)を記載</p> | 名称 | サイズ(長さ×幅×高さ) [m] | 質量 [kg] | 空力パラメータ (C _D V/m)[m ² /kg] | 鋼製パイプ | 2.00×0.05×0.05 | 8.4 | 0.0057 | 鋼製材 | 4.20×0.30×0.20 | 135 | 0.0089 | 砂利 | 0.04×0.04×0.04 | 0.18 | 0.0176 | コンテナ(消防ポンプ12台収納) | 6.00×2.60×2.40 | 3,476 | 0.0069 | 空冷式非常用電源 | 15.45×2.99×4.1 | 38,025 | 0.0021 | 大容量ポンプ | 12.69×2.495×3.5 | 24,230 | 0.0023 | 可搬式代替低圧注水ポンプ | 8.455×2.23×2.465 | 5,744 | 0.0052 | 電源車 | 11.5×2.49×3.555 | 17,195 | 0.0030 | タンクローリー | 6.755×2.2×2.4 | 4,300 | 0.0056 | ドーザーショベル | 6.2×2.5×3.285 | 21,220 | 0.0015 | ホイールローダー | 7.29×2.68×3.29 | 12,355 | 0.0028 | モニタリングカー | 5.02×1.69×2.53 | 2065 | 0.0063 | 放水砲 | 3.8×2.2×1.75 | 2,100 | 0.0059 | | | <p>相違理由</p> <p>【大阪】資料構成の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。</p> |
| 名称 | サイズ(長さ×幅×高さ) [m] | 質量 [kg] | 空力パラメータ (C _D V/m)[m ² /kg] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鋼製パイプ | 2.00×0.05×0.05 | 8.4 | 0.0057 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鋼製材 | 4.20×0.30×0.20 | 135 | 0.0089 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 砂利 | 0.04×0.04×0.04 | 0.18 | 0.0176 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コンテナ(消防ポンプ12台収納) | 6.00×2.60×2.40 | 3,476 | 0.0069 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 空冷式非常用電源 | 15.45×2.99×4.1 | 38,025 | 0.0021 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大容量ポンプ | 12.69×2.495×3.5 | 24,230 | 0.0023 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬式代替低圧注水ポンプ | 8.455×2.23×2.465 | 5,744 | 0.0052 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源車 | 11.5×2.49×3.555 | 17,195 | 0.0030 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タンクローリー | 6.755×2.2×2.4 | 4,300 | 0.0056 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドーザーショベル | 6.2×2.5×3.285 | 21,220 | 0.0015 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホイールローダー | 7.29×2.68×3.29 | 12,355 | 0.0028 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| モニタリングカー | 5.02×1.69×2.53 | 2065 | 0.0063 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放水砲 | 3.8×2.2×1.75 | 2,100 | 0.0059 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

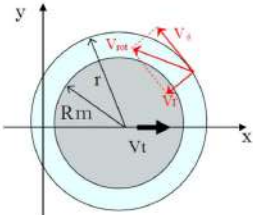
2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|-------------|---------|---|
| <p>次頁に示す図3及び図4は、それぞれの竜巻の規模（最大風速92m、100m、116m）に対し、空力パラメータと飛来物の位置関係（初期位置）を表したものであり、上記に示す各飛来物の空力パラメータがグラフ線から下部領域となるような位置に存在すれば、当該物品が浮き上がることはない。</p> <p>例えば風速100m/sを超えるような116m/sの竜巻が発生した場合においても、タンクローリーであれば、竜巻中心から51m程度隔離されていれば浮き上がることはない評価となっている。</p> <p>なお、設計飛来物を超える運動エネルギー、貫通力を持つ物品については、空力パラメータが0.0026以上となる場合、固縛等の適切な管理をすることとしており、また、他の物品についても飛散防止に努める運用とする予定である。</p> <p>以上より、設計竜巻を超える風速116m/sの竜巻において3号機または4号機原子炉建屋を通過する場合を想定しても、当該範囲外に可搬型重大事故等対処設備を分散配置することによって、可搬型重大事故等対処設備、並びに原子炉建屋に設置している常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備が同時に機能喪失することはないものと期待できる。</p>  <p>図3. 空力パラメータと竜巻中心からの飛来物の位置</p>  <p>図4. 空力パラメータと竜巻中心からの飛来物の位置（拡大図）</p> | | | <p>相違理由</p> <p>【大阪】資料構成の相違(女川審査実績反映)</p> <p>・泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|-------------|---------|---|
| <p>参考1. ランキン渦モデルによる浮き上がり速度の算出</p>  <p>図5. ランキン渦モデル説明図</p> $\frac{C_D A}{m} (\text{空力パラメータ}) > \frac{2g}{\rho V_f \sqrt{V_D^2 + V_V^2}}$ <p>が成立すれば、物体は浮き上がることとなる。 したがって、前項の図2及び図3において、折れ線から下部の領域に空力パラメータがあれば当該の物体は浮き上がらないことを意味する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $V_f = \frac{4}{3\sqrt{5}} V_{tm}$ $V_{tm} = \begin{cases} \frac{r}{R_m} V_{tm} & \text{if } 0 \leq r \leq R_m \\ \frac{R_m}{r} V_{tm} & \text{if } R_m \leq r \end{cases}$ <p>ここで、V_{tm}は $r=R_m$ の時の V_{tm} であり、V_{tm} の最大値になる。その時、最大風速 V_D は、 $V_D = V_{tm} + V_f = V_{tm} + 0.15V_D$</p> <p> V_A : 竜巻の接線方向風速 V_r : 竜巻の周方向風速 V_V : 竜巻の鉛直方向風速 V_v : 竜巻の移動速度 V_{tm} : 竜巻の旋回風速 V_m : 竜巻の最大接線風速 V_D : 竜巻の最大風速 r : 竜巻中心からの飛来物の位置 R_m : 竜巻の接線風速が最大となる半径 (=30m) </p> </div> | | | <p>相違理由</p> <p>【大阪】資料構成の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|---|------|---|---|------------|--|--|----|--|--------------------|-------|--|--|-----|---|---|---|----------|---------------|--|---|------|---|--|------------|--|---|----|--|--------------------|-------|--|--|-----|---|---|---|----------|---------------|--|---|------|---|--|------------|--|---|----|--|--------------------|-------|--|--|-----|---|---|---|
| <p>添付資料 2.1.8</p> <p>米国ガイド（NEI-06-12及びNEI-12-06）で参考とした事項について</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊についての前提条件を設定するに当たり、米国における大規模自然災害への対応ガイド（NEI-12-06）及び航空機テロへの対応ガイド（NEI-06-12）も参考にしている。</p> <p>これらガイドラインは以下のような内容である。</p> <div data-bbox="174 459 640 598"> <p>【大規模損壊を発生させる可能性のある事象】</p> <table border="1"> <tr> <th>大規模な自然災害</th> <th>故意による大型航空機の衝突</th> </tr> <tr> <td>2011年の福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。</td> <td>2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。</td> </tr> </table> </div> <table border="1"> <tr> <th>事象想定</th> <td>・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。</td> <td>・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災又は爆発により広範囲なエリアが損傷する。</td> </tr> <tr> <th>喪失する機能及び状況</th> <td>・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。</td> <td>・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視機能及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。</td> </tr> <tr> <th>予兆</th> <td>・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。</td> <td>・事前の予兆がなく突発的に発生する。</td> </tr> <tr> <th>設備の防護</th> <td>・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。</td> <td>・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。</td> </tr> <tr> <th>その他</th> <td>・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。</td> <td>—</td> </tr> </table> | 大規模な自然災害 | 故意による大型航空機の衝突 | 2011年の福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。 | 2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。 | 事象想定 | ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 | ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災又は爆発により広範囲なエリアが損傷する。 | 喪失する機能及び状況 | ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。 | ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視機能及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 | 予兆 | ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。 | ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 | 設備の防護 | ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。 | ・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 | その他 | ・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。 | — | <p>添付資料 2.1.15</p> <p>米国ガイド（NEI-06-12及びNEI-12-06）で参考とした事項について</p> <p>大規模な自然災害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊についての前提条件を設定するに当たり、米国における大規模自然災害への対応ガイド（NEI-12-06）及び航空機テロへの対応ガイド（NEI-06-12）も参考にしている。</p> <p>これらガイドラインは以下のような内容である。（第1図）</p> <div data-bbox="719 459 1207 635"> <p>【大規模損壊を発生させる可能性のある事象】</p> <table border="1"> <tr> <th>大規模な自然災害</th> <th>故意による大型航空機の衝突</th> </tr> <tr> <td>2011年の東京電力株式会社福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。</td> <td>2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。</td> </tr> </table> </div> <table border="1"> <tr> <th>事象想定</th> <td>・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。</td> <td>・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。</td> </tr> <tr> <th>喪失する機能及び状況</th> <td>・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。</td> <td>・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が維持できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。</td> </tr> <tr> <th>予兆</th> <td>・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。</td> <td>・事前の予兆がなく突発的に発生する。</td> </tr> <tr> <th>設備の防護</th> <td>・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。</td> <td>・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。</td> </tr> <tr> <th>その他</th> <td>・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。</td> <td>—</td> </tr> </table> | 大規模な自然災害 | 故意による大型航空機の衝突 | 2011年の東京電力株式会社福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。 | 2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。 | 事象想定 | ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 | ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 | 喪失する機能及び状況 | ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。 | ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が維持できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 | 予兆 | ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。 | ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 | 設備の防護 | ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。 | ・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 | その他 | ・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。 | — | <p>添付資料 2.1.9</p> <p>米国ガイド（NEI-06-12及びNEI-12-06）で参考とした事項について</p> <p>大規模な自然災害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊についての前提条件を設定するに当たり、米国における大規模自然災害への対応ガイド（NEI-12-06）及び航空機テロへの対応ガイド（NEI-06-12）も参考にしている。</p> <p>これらガイドラインは以下のような内容である。（第1図）</p> <div data-bbox="1305 459 1771 598"> <p>【大規模損壊を発生させる可能性のある事象】</p> <table border="1"> <tr> <th>大規模な自然災害</th> <th>故意による大型航空機の衝突</th> </tr> <tr> <td>2011年の福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。</td> <td>2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。</td> </tr> </table> </div> <table border="1"> <tr> <th>事象想定</th> <td>・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。</td> <td>・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。</td> </tr> <tr> <th>喪失する機能及び状況</th> <td>・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。</td> <td>・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が維持できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。</td> </tr> <tr> <th>予兆</th> <td>・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。</td> <td>・事前の予兆がなく突発的に発生する。</td> </tr> <tr> <th>設備の防護</th> <td>・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。</td> <td>・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。</td> </tr> <tr> <th>その他</th> <td>・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。</td> <td>—</td> </tr> </table> | 大規模な自然災害 | 故意による大型航空機の衝突 | 2011年の福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。 | 2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。 | 事象想定 | ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 | ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 | 喪失する機能及び状況 | ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。 | ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が維持できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 | 予兆 | ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。 | ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 | 設備の防護 | ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。 | ・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 | その他 | ・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。 | — | <p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】資料番号の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>・泊は、女川と同様に、図番を明記する。</p> |
| 大規模な自然災害 | 故意による大型航空機の衝突 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2011年の福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。 | 2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象想定 | ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 | ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災又は爆発により広範囲なエリアが損傷する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 喪失する機能及び状況 | ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。 | ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視機能及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予兆 | ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。 | ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備の防護 | ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。 | ・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | ・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大規模な自然災害 | 故意による大型航空機の衝突 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2011年の東京電力株式会社福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。 | 2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象想定 | ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 | ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 喪失する機能及び状況 | ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。 | ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が維持できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予兆 | ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。 | ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備の防護 | ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。 | ・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | ・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大規模な自然災害 | 故意による大型航空機の衝突 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2011年の福島第一原子力発電所での事故を受けて米国において検討が進められているNEI-12-06の考え方を参考とする。 | 2001年の同時多発テロを受けた航空機テロへの対応ガイドのNEI-06-12の考え方を参考とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事象想定 | ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 | ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 喪失する機能及び状況 | ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失（ELAP）及び最終ヒートシンク喪失（LUBS）の同時発生により、格納容器破損（炉心損傷）が発生する可能性がある。 | ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が維持できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 予兆 | ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的裕度がある。 | ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備の防護 | ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故対処設備を適切に設置及び防護する。 | ・損傷箇所から100m以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | ・大規模自然災害は、複数号炉に同時に発生する。 ・発電所周辺にも大きな被害をもたらす大規模自然災害が発生した場合には、外部からの支援が一定期間受けられない。 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第1図 米国ガイド（NEI-06-12及びNEI-12-06）の概要

第1図 米国ガイド（NEI-06-12及びNEI-12-06）の概要

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|--|
| <p style="text-align: right;">添付資料 2.1.9</p> <p>大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の 配備及び防護の状況について</p> <p>大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害（地震、津波、竜巻）及び故意による大型航空機の衝突が発生した場合に備えた重大事故等対処設備等の配備及び防護について、大阪発電所における対応状況を以下に示す。</p> <p>なお、これらの対応については、2.1.4(1)に示す「大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応に必要な設備の配備及び当該設備の防護の基本的な考え方」に基づく。</p> | <p style="text-align: right;">添付資料 2.1.16</p> <p>大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の 配備及び防護の状況について</p> <p>大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害(地震、津波)及び故意による大型航空機の衝突が発生した場合に備えた重大事故等対処設備等の配備及び防護について、対応状況を第1表に示す。</p> <p>なお、これらの対応については、2.1.2.3(1)に示す「大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応に必要な設備の配備及び当該設備の防護の基本的な考え方」に基づく。</p> | <p style="text-align: right;">添付資料 2.1.10</p> <p>大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の 配備及び防護の状況について</p> <p>大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害（地震、津波）及び故意による大型航空機の衝突が発生した場合に備えた重大事故等対処設備等の配備及び防護について、対応状況を第1表に示す。</p> <p>なお、これらの対応については、2.1.2.3(1)に示す「大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムへの対応に必要な設備の配備及び当該設備の防護の基本的な考え方」に基づく。</p> | <p>【大阪】【女川】資料番号の相違</p> <p>【大阪】想定する自然災害の相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模損壊に至る可能性のある自然災害として竜巻を特定したが、その影響は、地震及び津波の影響の包含されるものと評価しており、竜巻に対する考慮事項は整理していない。 <p>【大阪】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大阪】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、本文 2.1.2.3(1)項の項目名称を記載する。 |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---------|---|--|-------|---|------------|------|-------------------------------------|---|-------------------|---|---|------------|------|------------|---|-------|---|--|------------|------|------------|--|-------|--|------------|------|------------|---|-------|---|---|
| <p>表1 大規模損壊発生時の可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況</p> <p>○大規模地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、耐震性のある地盤又は基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置し、常設重大事故等対処設備とは異なる保管場所に保管している。 基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置している常設重大事故等対処設備については、当該設備自体についても、基準地震動Ssに対して裕度を持った設計としており、容易に機能を喪失することはないものと判断する。 地震による溢水及び火災に対して、可搬型重大事故等対処設備については、屋外の高台に分散配置していることから影響を受けないものと判断する。 </td> </tr> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) 機器の輸送手段の確保(輸送経路の障害の考慮) 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の配備 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. +約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ピット等への補給についてもE.L. +約31m以上において実施できることからガレキ等は発生しないものと考えられる。 E.L. +約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確保する。 </td> </tr> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. +約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 E.L. +3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. +15.53mに設置してある燃料油貯蔵タンクの本ントラインは、基準津波に対して十分裕度を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 </td> </tr> </tbody> </table> | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、耐震性のある地盤又は基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置し、常設重大事故等対処設備とは異なる保管場所に保管している。 基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置している常設重大事故等対処設備については、当該設備自体についても、基準地震動Ssに対して裕度を持った設計としており、容易に機能を喪失することはないものと判断する。 地震による溢水及び火災に対して、可搬型重大事故等対処設備については、屋外の高台に分散配置していることから影響を受けないものと判断する。 | 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) 機器の輸送手段の確保(輸送経路の障害の考慮) 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | 機器の配備 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮) | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. +約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ピット等への補給についてもE.L. +約31m以上において実施できることからガレキ等は発生しないものと考えられる。 E.L. +約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確保する。 | 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. +約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 E.L. +3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. +15.53mに設置してある燃料油貯蔵タンクの本ントラインは、基準津波に対して十分裕度を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 | <p>第1表 大規模損壊発生時の可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況</p> <p>○大規模な地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 基準地震動を超える地震動に対して、地震により生じる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺り込みによる不平等下、地盤支持力の不足及び地下構造物の損壊等の影響を受けない場所に保管する。 保管場所周辺に損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、煙突、タンク等の構造物がないことを確認する。 </td> </tr> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、煙突、タンク等の構造物がないことを確認している。また、不平等下による段差を考慮し、ブルドーザを配備する。 恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別ルートで確保する。 </td> </tr> </tbody> </table> | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | 機器の防護・機能確保 | <ul style="list-style-type: none"> 基準地震動を超える地震動に対して、地震により生じる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺り込みによる不平等下、地盤支持力の不足及び地下構造物の損壊等の影響を受けない場所に保管する。 保管場所周辺に損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、煙突、タンク等の構造物がないことを確認する。 | 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、煙突、タンク等の構造物がないことを確認している。また、不平等下による段差を考慮し、ブルドーザを配備する。 恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別ルートで確保する。 | <p>第1表 大規模損壊発生時の可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況</p> <p>○大規模な地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) </td> </tr> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮) 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を備えることができる設備の2セットについて、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備以外のものは、必要な容量等を備えることができる設備の1セットについて、基準地震動を超える地震動に対して、地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺り込みによる不平等下、地盤支持力の不足及び地下構造物の損壊等の影響を受けない場所に保管する。 保管場所周辺に損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、タンク等の構造物がないことを確認している。 </td> </tr> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、タンク等の構造物がないことを確認している。また、アクセスルートが地震による影響を受けた場合に備えて、アクセスルートを復旧するためのホイールローダ等の重機を配備する。 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </tbody> </table> | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | 機器の防護・機能確保 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) | 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮) 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | 機器の防護・機能確保 | <ul style="list-style-type: none"> 屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を備えることができる設備の2セットについて、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備以外のものは、必要な容量等を備えることができる設備の1セットについて、基準地震動を超える地震動に対して、地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺り込みによる不平等下、地盤支持力の不足及び地下構造物の損壊等の影響を受けない場所に保管する。 保管場所周辺に損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、タンク等の構造物がないことを確認している。 | 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、タンク等の構造物がないことを確認している。また、アクセスルートが地震による影響を受けた場合に備えて、アクセスルートを復旧するためのホイールローダ等の重機を配備する。 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 | <p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川審査実績を反映した記載内容、表現とする。 <p>【大飯】【女川】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、事故対応に必要なセット数について、地震による影響を受けない場所に保管する方針である。(技術的能力1.0における考え方と同様。) <p>【大飯】【女川】使用する重機の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、アクセスルートを確保するための重機として、ホイールローダ、バックホウ、ブルドーザを配備する。大飯(ブルドーザを配備)、女川(ブルドーザ、バックホウを配備)とは、使用する重機が異なるが、泊はこれらによって事故対応に必要なアクセスルートを確保する。(「ホイールローダ等の重機」の記載表現は、技術的能力1.0での表現と整合を図ったもの。) |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、耐震性のある地盤又は基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置し、常設重大事故等対処設備とは異なる保管場所に保管している。 基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置している常設重大事故等対処設備については、当該設備自体についても、基準地震動Ssに対して裕度を持った設計としており、容易に機能を喪失することはないものと判断する。 地震による溢水及び火災に対して、可搬型重大事故等対処設備については、屋外の高台に分散配置していることから影響を受けないものと判断する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) 機器の輸送手段の確保(輸送経路の障害の考慮) 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の配備 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮) | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. +約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ピット等への補給についてもE.L. +約31m以上において実施できることからガレキ等は発生しないものと考えられる。 E.L. +約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確保する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. +約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 E.L. +3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. +15.53mに設置してある燃料油貯蔵タンクの本ントラインは、基準津波に対して十分裕度を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の防護・機能確保 | <ul style="list-style-type: none"> 基準地震動を超える地震動に対して、地震により生じる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺り込みによる不平等下、地盤支持力の不足及び地下構造物の損壊等の影響を受けない場所に保管する。 保管場所周辺に損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、煙突、タンク等の構造物がないことを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、煙突、タンク等の構造物がないことを確認している。また、不平等下による段差を考慮し、ブルドーザを配備する。 恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別ルートで確保する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の防護・機能確保 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮) 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の防護・機能確保 | <ul style="list-style-type: none"> 屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を備えることができる設備の2セットについて、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備以外のものは、必要な容量等を備えることができる設備の1セットについて、基準地震動を超える地震動に対して、地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺り込みによる不平等下、地盤支持力の不足及び地下構造物の損壊等の影響を受けない場所に保管する。 保管場所周辺に損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、タンク等の構造物がないことを確認している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、損壊により影響を及ぼすおそれのある建屋、鉄塔、タンク等の構造物がないことを確認している。また、アクセスルートが地震による影響を受けた場合に備えて、アクセスルートを復旧するためのホイールローダ等の重機を配備する。 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | |
|---|---|---------|---|---|-------------------------------------|--|------------|------|-------------------|---|--|--|--|
| <p>○大規模竜巻</p> <table border="1" data-bbox="89 287 640 1045"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (強風に対応できる構造物内での保管、保管場所の分散)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋及び原子炉周辺建屋については、竜巻(台風)に対して頑健性を有すると考えられることから、建屋内に保管している機器については健全であると判断される。 F3を超える風速100m/sの竜巻を想定しても、可搬型重大事故等対処設備については100m以上の離隔距離を確保した保管場所に分散させて保管しており、竜巻被害幅、移動方向の傾向分析から判断して同時に機能喪失しないことが期待できる。 風速100m/sを超える竜巻の発生確率は極めて低いが、仮に発生した場合でも、分散配置、固縛により相応の耐性を有していることから、同時にすべての可搬型重大事故等対処設備が機能喪失する可能性は低いものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、設計基準を超える竜巻により破損する可能性のある海水ポンプ室及びユリアと、竜巻被害幅及び進路方向を考慮した相応の離隔距離を置いて配備していることから、これらが同時に機能喪失に至ることはないものと期待できる。 </td> </tr> <tr> <td>機器の配備 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合には、ブルドーザが分散配置されており、進路方向の傾向分析から判断して同時に機能を喪失する可能性は低いことから、ガレキを撤去しアクセスルートを確認できるものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備については分散配置して保管しており、また、当該設備による原子炉建屋へのアクセスルートについては複数ルート確保されていることから、竜巻により同時に、複数の可搬型設備に係るアクセスルートが喪失しないものと判断する。 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="89 1077 640 1316"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 台風については強風の状態で当面継続する可能性があるが、検知までに時間的な余裕があることから、機器の接続等を予め実施する等の事前準備を実施することが可能である。ただし、台風によって屋外の海水ポンプが破損する可能性は考えにくいことから、台風に特化した可搬型重大事故等対処設備への配慮は必要ないものと判断する。 竜巻については、継続時間は短いことから強風状態でのアクセス性の確保の考慮は不要と判断する。 </td> </tr> </tbody> </table> | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (強風に対応できる構造物内での保管、保管場所の分散) | <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋及び原子炉周辺建屋については、竜巻(台風)に対して頑健性を有すると考えられることから、建屋内に保管している機器については健全であると判断される。 F3を超える風速100m/sの竜巻を想定しても、可搬型重大事故等対処設備については100m以上の離隔距離を確保した保管場所に分散させて保管しており、竜巻被害幅、移動方向の傾向分析から判断して同時に機能喪失しないことが期待できる。 風速100m/sを超える竜巻の発生確率は極めて低いが、仮に発生した場合でも、分散配置、固縛により相応の耐性を有していることから、同時にすべての可搬型重大事故等対処設備が機能喪失する可能性は低いものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、設計基準を超える竜巻により破損する可能性のある海水ポンプ室及びユリアと、竜巻被害幅及び進路方向を考慮した相応の離隔距離を置いて配備していることから、これらが同時に機能喪失に至ることはないものと期待できる。 | 機器の配備 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮) | <ul style="list-style-type: none"> ガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合には、ブルドーザが分散配置されており、進路方向の傾向分析から判断して同時に機能を喪失する可能性は低いことから、ガレキを撤去しアクセスルートを確認できるものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備については分散配置して保管しており、また、当該設備による原子炉建屋へのアクセスルートについては複数ルート確保されていることから、竜巻により同時に、複数の可搬型設備に係るアクセスルートが喪失しないものと判断する。 | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 台風については強風の状態で当面継続する可能性があるが、検知までに時間的な余裕があることから、機器の接続等を予め実施する等の事前準備を実施することが可能である。ただし、台風によって屋外の海水ポンプが破損する可能性は考えにくいことから、台風に特化した可搬型重大事故等対処設備への配慮は必要ないものと判断する。 竜巻については、継続時間は短いことから強風状態でのアクセス性の確保の考慮は不要と判断する。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div> | <p>【大阪】想定する自然災害の相違に伴う記載内容の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模損壊に至る可能性のある自然災害として竜巻を特定したが、その影響は、地震及び津波の影響に含まれるものと評価しており、竜巻に対する考慮事項は整理していない。 |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | |
| 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (強風に対応できる構造物内での保管、保管場所の分散) | <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋及び原子炉周辺建屋については、竜巻(台風)に対して頑健性を有すると考えられることから、建屋内に保管している機器については健全であると判断される。 F3を超える風速100m/sの竜巻を想定しても、可搬型重大事故等対処設備については100m以上の離隔距離を確保した保管場所に分散させて保管しており、竜巻被害幅、移動方向の傾向分析から判断して同時に機能喪失しないことが期待できる。 風速100m/sを超える竜巻の発生確率は極めて低いが、仮に発生した場合でも、分散配置、固縛により相応の耐性を有していることから、同時にすべての可搬型重大事故等対処設備が機能喪失する可能性は低いものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、設計基準を超える竜巻により破損する可能性のある海水ポンプ室及びユリアと、竜巻被害幅及び進路方向を考慮した相応の離隔距離を置いて配備していることから、これらが同時に機能喪失に至ることはないものと期待できる。 | | | | | | | | | | | | |
| 機器の配備 機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮) | <ul style="list-style-type: none"> ガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合には、ブルドーザが分散配置されており、進路方向の傾向分析から判断して同時に機能を喪失する可能性は低いことから、ガレキを撤去しアクセスルートを確認できるものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備については分散配置して保管しており、また、当該設備による原子炉建屋へのアクセスルートについては複数ルート確保されていることから、竜巻により同時に、複数の可搬型設備に係るアクセスルートが喪失しないものと判断する。 | | | | | | | | | | | | |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | |
| 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> 台風については強風の状態で当面継続する可能性があるが、検知までに時間的な余裕があることから、機器の接続等を予め実施する等の事前準備を実施することが可能である。ただし、台風によって屋外の海水ポンプが破損する可能性は考えにくいことから、台風に特化した可搬型重大事故等対処設備への配慮は必要ないものと判断する。 竜巻については、継続時間は短いことから強風状態でのアクセス性の確保の考慮は不要と判断する。 | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------|---|--|---|---|--------------------------|---|--|------------|------|---|--|---|---|--------------------------|--|---|------------|------|---|--|---|--|--------------------------|--|---|
| <p>○故意による大型航空機の衝突</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> </td> <td> <p>可搬型重大事故等対処設備については、分散配置して保管しており、同時に機能喪失しないものと判断する。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋から100m以上離隔して配置していることから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> </td> <td> <p>可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保されており、大型航空機が原子炉建屋に衝突しても1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m離隔された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。</p> <p>故意による大型航空機の衝突により大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車及び泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> </td> <td> <p>恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> | <p>可搬型重大事故等対処設備については、分散配置して保管しており、同時に機能喪失しないものと判断する。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋から100m以上離隔して配置していることから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。</p> | <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> | <p>可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保されており、大型航空機が原子炉建屋に衝突しても1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m離隔された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。</p> <p>故意による大型航空機の衝突により大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車及び泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> | <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> | <p>恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。</p> | <p>○故意による大型航空機の衝突</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> </td> <td> <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋及び制御建屋から、100m以上の離隔距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の設計基準対処設備及び常設重大事故等対処設備から100m以上の離隔距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して保管する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> </td> <td> <p>想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確認する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確保する。</p> <p>大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> </td> <td> <p>恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。</p> <p>各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> | <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋及び制御建屋から、100m以上の離隔距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の設計基準対処設備及び常設重大事故等対処設備から100m以上の離隔距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して保管する。</p> | <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> | <p>想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確認する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確保する。</p> <p>大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> | <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> | <p>恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。</p> <p>各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。</p> | <p>○故意による大型航空機の衝突</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> </td> <td> <p>屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を備えることができる設備の2セットについて、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備以外のものは、必要な容量等を備えることができる設備の1セットについて、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋、原子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋から100m以上の離隔距離を確保して保管するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する循環水ポンプ建屋内の設計基準事故対処設備及び屋外の常設重大事故等対処設備からも100m以上の離隔距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して配置する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> </td> <td> <p>想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確認する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上離隔された場所に配備しているホイールローダ等の重機により、ガレキを撤去することでアクセスルートを確保する。</p> <p>大規模な航空機燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> </td> <td> <p>恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。</p> <p>各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> | 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> | <p>屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を備えることができる設備の2セットについて、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備以外のものは、必要な容量等を備えることができる設備の1セットについて、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋、原子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋から100m以上の離隔距離を確保して保管するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する循環水ポンプ建屋内の設計基準事故対処設備及び屋外の常設重大事故等対処設備からも100m以上の離隔距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して配置する。</p> | <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> | <p>想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確認する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上離隔された場所に配備しているホイールローダ等の重機により、ガレキを撤去することでアクセスルートを確保する。</p> <p>大規模な航空機燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> | <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> | <p>恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。</p> <p>各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川審査実績を反映した記載内容、表現とする。 【大飯】【女川】設計方針の相違 <ul style="list-style-type: none"> 泊は、事故対応に必要なセット数について、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮して、主要建屋から離隔距離を確保して保管する方針である。(技術的能力1.0における考え方と同様。) 【女川】設備の相違 <ul style="list-style-type: none"> 泊は、設計基準事故対処設備である原子炉補機冷却海水ポンプは循環水ポンプ建屋内に設置していることから、その機能を代替する可搬型重大事故等対処設備は循環水ポンプ建屋から離隔を確保して保管する設計方針とする。 【大飯】【女川】使用する重機の相違 <ul style="list-style-type: none"> 泊は、アクセスルートを確保するための重機として、ホイールローダ、バックホウ、ブルドーザを配備する。大飯(ブルドーザを配備)、女川(ブルドーザ、バックホウを配備)とは、使用する重機が異なるが、泊はこれらによって事故対応に必要なアクセスルートを確保する。(「ホイールローダ等の重機」の記載表現は、技術的能力1.0での表現と整合を図ったもの。) |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> | <p>可搬型重大事故等対処設備については、分散配置して保管しており、同時に機能喪失しないものと判断する。</p> <p>可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋から100m以上離隔して配置していることから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> | <p>可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保されており、大型航空機が原子炉建屋に衝突しても1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m離隔された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。</p> <p>故意による大型航空機の衝突により大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車及び泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> | <p>恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> | <p>屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋及び制御建屋から、100m以上の離隔距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の設計基準対処設備及び常設重大事故等対処設備から100m以上の離隔距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して保管する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> | <p>想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確認する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確保する。</p> <p>大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> | <p>恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。</p> <p>各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害に対する考慮事項 | 対応状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の防護・機能確保</p> <p>機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m 離隔)</p> | <p>屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を備えることができる設備の2セットについて、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備以外のものは、必要な容量等を備えることができる設備の1セットについて、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋、原子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋から100m以上の離隔距離を確保して保管するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する循環水ポンプ建屋内の設計基準事故対処設備及び屋外の常設重大事故等対処設備からも100m以上の離隔距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して配置する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の配備</p> <p>機器の輸送手段の確保 (輸送経路の障害の考慮)</p> | <p>想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確認する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上離隔された場所に配備しているホイールローダ等の重機により、ガレキを撤去することでアクセスルートを確保する。</p> <p>大規模な航空機燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確保する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</p> | <p>恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。</p> <p>各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|---|---|
| <p>添付資料 2.1.13 緊急時における対応要員の確保の考え方について</p> <p>1. 要員の確保の考え方</p> <p>発電所に緊急事態が発生した場合、原子力防災体制を発令して、通常体制から緊急時対応体制に移行させ、要員を非常召集する。この際、初期に出来るだけ多くの要員を確保し、状況に応じて即応できる要員配置を行うものであり、大規模損壊発生時においても同様である。</p> <p>召集にあたっては、最初に予め定められた人数の発電所対策本部の要員を発電所に派遣するものとし、それ以外の要員は無用な被ばくを避ける観点から、発電所近傍の集合場所で待機し、発電所派遣要員の交代又は追加派遣に備える。</p> <p>発電所に派遣された要員は、プラント状態に応じた各対策に必要な要員を配置し、初期対応として、集中的に、可能な限り速やかに、炉心損傷や格納容器破損の発生防止措置、拡大防止・緩和措置を行う。</p> <p>これらは緊急時組織に求められる対応に必要な要員数とその交代（不測の事態への追加派遣を含む）を考慮したものである。</p> <p>初動対応を終え、あるいは必要な措置を継続的に実施する段階においては、シフト体制等へ移行させ、事態の拡大防止、影響緩和の長期的な体制に移行する。</p> <p>なお、大規模損壊等により炉心が損傷した場合において、原子炉格納容器破損のおそれ又は破損の有無を判断基準として、最低限必要な要員及びその他の要員を振り分け、要員の動静を判断する。</p> <p>具体的には、最低限必要な要員は、ブルーム放出時緊急時対策所等に留まり、ブルーム通過後、活動を再開する。その他の要員は発電所外へ一時退避し、その後、交替要員として発電所へ再度参集する。</p> <p>2. 発電所構内での要員の確保</p> <p>大規模損壊発生時においては、中央制御室（運転員(当直員)を含む）が機能しないこと及び原子力防災体制の確立に時間を要する場合を想定し、重大事故等対策要員を発電所内に少なくとも64名（消火活動要員7名を含む。）待機させている。</p> <p>なお、大規模な自然災害により、召集要員が発電所への移動に時間を要する場合及び発電所への外部からのアクセスが制限される場合であっても、発電所構内に待機させている要員にて当面の間は事故対応が行えるよう体制を整える。</p> | <p>添付資料 2.1.17 重大事故等と大規模損壊対応に係る体制整備等の考え方</p> <p>重大事故等と大規模損壊との対応内容を整理し、その相違部分を踏まえた体制の整備等の考え方を以下に取りまとめた。</p> <p>1. 重大事故等への対応</p> <p>重大事故等の発生に対して、炉心の著しい損傷防止あるいは原子炉格納容器の破損防止、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷防止及び原子炉運転停止中における燃料体の著しい損傷防止を目的に発電所の体制及び発電所を支援するための体制を整備している。重大事故等時に組織として適切な対応を行うためには、事故対応に必要な重大事故等対処設備の取扱いと手順の策定が重要である。そこで重大事故等対処設備に係る事項について、切替えの容易性及びアクセスルートの確保を図り、復旧作業に係る事項について、予備品等の確保及び保管場所等の整備を行っている。また、支援に係る事項、教育及び訓練の実施並びに手順の整備に係る事項を、通常業務の組織体制における実務経験を活かした体制で対応できるよう整備している。</p> <p>2. 大規模損壊への対応</p> <p>大規模損壊に至る可能性のある事象は、基準地震動 Ss 及び基準津波等の設計基準又は観測記録を超えるような規模の自然災害並びに故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを想定しており、計装・制御系の喪失、大規模な LOCA、原子炉格納容器の損傷等のプラントが受ける影響並びに中央制御室の機能喪失（運転員を含む。）、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）における参集要員の遅延、大規模な火災の発生等の被害の程度が、重大事故等と比べて広範囲で不確定なものとなる。</p> <p>このことから、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、「炉心の著しい損傷の緩和」、「原子炉格納容器の破損緩和」、「使用済燃料プールの水位確保及び燃料体の著しい損傷の緩和」又は「発電所外への放射性物質の放出低減」を目的とした効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行することで事象進展の抑制及び緩和措置を図る。</p> <p>3. 重大事故等と大規模損壊への対応の違い</p> <p>2項に示すとおり、大規模損壊時は重大事故等と比べてその被害範囲が広範囲で不確定なものであり、重大事故等のように損傷箇所がある程度限定された想定に基づく事故対応とは異なる。そのため、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行する。</p> | <p>添付資料 2.1.11 重大事故等と大規模損壊対応に係る体制整備等の考え方</p> <p>重大事故等と大規模損壊との対応内容を整理し、その相違部分を踏まえた体制の整備等の考え方を以下に取りまとめた。</p> <p>1. 重大事故等への対応</p> <p>重大事故等の発生に対して、炉心の著しい損傷防止又は原子炉格納容器の破損防止、使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷防止及び原子炉運転停止中における燃料体の著しい損傷防止を目的に発電所の体制及び発電所を支援するための体制を整備している。重大事故等時に組織として適切な対応を行うためには、事故対応に必要な重大事故等対処設備の取扱いと手順の策定が重要である。そこで重大事故等対処設備に係る事項について、切替えの容易性及びアクセスルートの確保を図り、復旧作業に係る事項について、予備品等の確保及び保管場所等の整備を行っている。また、支援に係る事項、教育及び訓練の実施並びに手順の整備に係る事項を、通常業務の組織体制における実務経験を活かした体制で対応できるよう整備している。</p> <p>2. 大規模損壊への対応</p> <p>大規模損壊に至る可能性のある事象として、基準地震動及び基準津波等の設計基準又は観測記録を超えるような規模の自然災害並びに故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを想定しており、監視機能及び制御機能の喪失、大規模な LOCA、原子炉格納容器の破損等のプラントが受ける影響並びに中央制御室の機能喪失（運転員を含む。）、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）における参集要員の遅延、大規模な火災の発生等の被害の程度が、重大事故等と比べて広範囲で不確定なものとなる。</p> <p>このことから、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、「炉心の著しい損傷の緩和」、「原子炉格納容器の破損緩和」、「使用済燃料ピットの水位確保及び燃料体の著しい損傷の緩和」又は「発電所外への放射性物質の放出低減」を目的とした効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行することで事象進展の抑制及び緩和措置を図る。</p> <p>3. 重大事故等と大規模損壊への対応の違い</p> <p>2項に示すとおり、大規模損壊時は重大事故等と比べてその被害範囲が広範囲で不確定なものであり、重大事故等のように損傷箇所がある程度限定された想定に基づく事故対応とは異なる。そのため、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行する。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】【女川】資料番号の相違</p> <p>【大阪】記載内容の相違</p> <p>・泊は女川と同様に、要員の確保を含む体制の整備の考え方について整理する。 (上記を踏まえ、本添付資料の泊欄の記載は、女川との相違について識別する。)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所 3 / 4号炉 | 女川原子力発電所 2号炉 | 泊発電所 3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|------|
|  <p>3. 3, 4号炉同時発災時における対応要員欠員時の対応</p> <p>3号炉及び4号炉同時被災時は、号炉ごとに情報収集や事故対策の検討等を行い、情報の混乱や指揮命令が遅れることのないよう原子力防災体制を整備する。</p> <p>大規模損壊等により、発電所に待機している重大事故等対策要員が被災するような状況においても、構内で他の業務を行っている者を重大事故等対策要員の役割に割り当てる等の措置ができるように教育を行い、必要要員を確保する。</p> <p>また、発電所内に待機している重大事故等対策要員を最大限に活用するため、担当する役割以外の役割についても対応できるよう教育を実施し、お互いに補完できる体制とする。</p> <p>以上のように、様々な事態を想定して重大事故等対策要員を確保する方針としていることから、必要要員は確保できるものと考えているが、大規模損壊においては、不測の事態が発生することも考えられ、限られた人的資源により対応が必要となる場合も想定される。</p> <p>この場合、全体指揮者（原子力防災管理者）は、ユニット指揮者から入手したプラント情報を基に放射性物質の放出低減の観点でもっとも優先すべき対応を決定し、その対応に必要な要員を重点的に割り当てる。その際、事故進展は時々刻々と変化することを認識し、各プラントの状況を常に確認しつつ、必要な対応が遅滞なく適切に行えるよう努める。</p> <p>具体的には、3号炉と4号炉の両ユニットにおいて原子炉格納容器損傷のおそれがある場合、1次冷却系及び格納容器内の温度・圧力等の上昇状況を把握して3号炉の方が原子炉格納容器破損に至る余裕時間が短ければ、3号炉の対応を優先的に実施する。そのうえで炉心損傷防止、格納容器破損防止、使用済燃料ピットでの燃料損傷防止の観点でより厳しい状況への対応を優先して実施する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> | <p>大規模損壊発生時は、共通要因で機能喪失することのない可搬型重大事故等対処設備を活用した手順等で対応することにより、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等の措置を図る。</p> <p>4. 対応の違いを踏まえた大規模損壊対応に係る体制の整備の考え方</p> <p>3項で示した対応の違いはあるものの、被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用に対応するには、通常業務の組織体制における実務経験を活かすことができる重大事故等に対応するための体制が最も有効に機能すると評価できる。運用面においても重大事故等に対応するための体制で引き続き対応することは、迅速な対応を求められる大規模損壊対応に適している。</p> <p>このように、大規模損壊対応に係る体制の整備として重大事故等に対応するための体制で臨むことは有効である。</p> <p>ただし、中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失及び重大事故等の対応で期待する重大事故等対処設備の一部が使用できない等の大規模損壊時の特徴的な状況においても、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）も含めて流動性を持って柔軟に対応できるよう体制を整備する。</p> <p>このため、大規模損壊発生時の体制は第1図から第5図並びに第1表に示す重大事故等対応のための体制を基本としつつ、大規模損壊対応のために必要な体制、要員、教育及び訓練、外部からの支援等に関して、以下のとおり差異内容を考慮すべき事項として評価し、付加分を整備、充実内容として整備する。</p> <p>なお、下記事項における技術的能力 1.0 と 2.1 に関する考え方の相違点について項目ごとに別紙に整理する。</p> | <p>大規模損壊発生時は、共通要因で機能喪失することのない可搬型重大事故等対処設備を活用した手順等で対応することにより、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等の措置を図る。</p> <p>4. 対処の相違を踏まえた大規模損壊対応に係る体制の整備の考え方</p> <p>3項で示した対応の違いはあるものの、被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用に対応するには、通常業務の組織体制における実務経験を活かすことができる重大事故等に対応するための体制が最も有効に機能すると評価できる。運用面においても重大事故等に対応するための体制で引き続き対応することは、迅速な対応を求められる大規模損壊対応に適している。</p> <p>このように、大規模損壊対応に係る体制の整備として重大事故等に対応するための体制で臨むことは有効である。</p> <p>ただし、中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失及び重大事故等の対応で期待する重大事故等対処設備の一部が使用できない等の大規模損壊時の特徴的な状況においても、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）も含めて流動性を持って柔軟に対応できる体制を整備する。</p> <p>このため、大規模損壊発生時の体制は第1図から第5図及び第1表に示す重大事故等対応のための体制を基本としつつ、大規模損壊対応のために必要な体制、要員、教育及び訓練、外部からの支援等に関して、以下のとおり差異内容を考慮すべき事項として評価し、付加分を整備、充実内容として整備する。</p> <p>なお、下記事項における技術的能力 1.0 と 2.1 に関する考え方の相違点について項目ごとに別紙に整理する。</p> | |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|---|
| <p>【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.13より引用】</p> <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間・休日においては、連絡責任者が初動の指揮を執る。連絡責任者がその職務を遂行できない場合は、当直長が代行する。 | <p>(1) 体制の整備</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）における参集要員の参集遅延 ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）においては、総括責任者（副原子力防災管理者）が指揮を執る。総括責任者（副原子力防災管理者）がその職務を遂行できない場合には、連絡責任者が代行する。 ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備する。 ・中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備する。 ・複数号炉の同時被災の場合において、情報の混乱や指揮命令が遅れることのないよう、運転号炉及び停止号炉に統括を配置し、発電所対策本部長の活動方針の下、対象号炉の事故影響緩和・拡大防止に係るプラント運転操作への助言や可搬型重大事故等対処設備を用いた対応、不具合設備の復旧等の統括を行わせる。 <p>(2) 要員の配置</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）における総括責任者（副原子力防災管理者）を含む重大事故等に対処する要員は、分散して待機する。 | <p>(1) 体制の整備</p> <p>a. 大規模損壊対応として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）における参集要員の参集遅延 ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）においては、全体指揮者（副原子力防災管理者）が指揮を執る。全体指揮者（副原子力防災管理者）がその職務を遂行できない場合は、発電課長（当直）が代行する。 ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所災害対策要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備する。 ・中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備する。 ・複数号炉の同時被災の場合において、情報の混乱や指揮命令が遅れることのないよう、運転号炉及び停止号炉に号機責任者を配置し、発電所対策本部長の活動方針の下、対象号炉の事故影響緩和・拡大防止に係るプラント運転操作への助言や可搬型重大事故等対処設備を用いた対応、不具合設備の復旧等の統括を行わせる。 <p>(2) 要員の配置</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）における全体指揮者（副原子力防災管理者）を含む重大事故等に対処する要員は、分散して待機する。 | <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、まとめ資料本文での記載表現と統一を図っている。（以降、相違理由の記載を省略する。） <p>【女川】体制（代行者）の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）においては、発電課長（当直）が代行する運用としている。（当直の責任者が代行する運用は、伊方3号、玄海3/4号と同様。） <p>【女川】要員名称の相違</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>(3) 教育及び訓練</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の指揮命令系統が機能しない場合への対応 ・初動で対応する要員を最大限に活用する観点から、臨機応変な配置変更に対応できる知識及び技能を習得するなど、流動性を持って柔軟に対応可能にすること <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練を実施する。 ・大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育を定期的実施する。 ・運転員（1号及び3号炉運転員を含む。）及び重大事故等対応要員については、役割に応じて付与される力量に加え、被災又は想定より多い要員が必要となった場合において、優先順位の高い緩和措置の実施に遅れが生じることがないように、本来の役割以外の教育及び訓練の充実を図る。 具体的には、大規模損壊発生時、まずアクセスルート確保作業を行った上で、原子炉注水又は放水砲の対応が想定されるため、それらの活動を担当する運転員（1号及び3号炉運転員を含む。）及び重大事故等対応要員については流動性を持って活動できるよう教育・訓練を実施する。 ・初期消火要員（消防車隊）に含まれる協力的社員及び原子炉への注水等に当たる協力的社員については、それぞれの活動に必要な力量を付与できるよう、業務委託契約に基づいた教育・訓練を実施する。 ・大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための総合的な訓練を定期的にかつ継続的に実施する。 <p>【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.13より引用】</p> <p>また、大規模損壊対応に係る訓練一覧について表-1に示す。</p> <p>(4) 手順</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な火災の発生 ・重大事故等に比べて広範囲で不確定な被害 ・重大事故等時では有効に機能しない設備等が大規模損壊のような状況下では有効に機能する場合も考えられるため、事象進展の抑制及び緩和に資するための設備等の活用 | <p>(3) 教育及び訓練</p> <p>a. 大規模損壊対応として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の指揮命令系統が機能しない場合への対応 ・初動で対応する要員を最大限に活用する観点から、臨機応変な配置変更に対応できる知識及び技能を習得する等、流動性を持って柔軟に対応可能にすること <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練を実施する。 ・大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育を定期的実施する。 ・発電所災害対策要員については、役割に応じて付与される力量に加え、被災又は想定より多い要員が必要となった場合において、優先順位の高い緩和措置の実施に遅れが生じることがないように、本来の役割以外の教育及び訓練の充実を図る。 具体的には、大規模損壊発生時、まずアクセスルート確保作業を行った上で、発電用原子炉の冷却、原子炉格納容器へのスプレイ又は放水砲の対応が想定されるため、それらの活動を担当する発電所災害対策要員（協力的社員含む。）については流動性を持って活動できるよう教育・訓練を実施する。 ・発電所災害対策要員に含まれる協力的社員については、業務委託契約に基づいた教育・訓練を実施する。 ・大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための総合的な訓練を定期的にかつ継続的に実施する。 <p>（第2表、第3表、第4表参照）</p> <p>(4) 手順</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な火災の発生 ・重大事故等に比べて広範囲で不確定な被害 ・重大事故等時では有効に機能しない設備等が大規模損壊のような状況下では有効に機能する場合も考えられるため、事象進展の抑制及び緩和に資するための設備等の活用 | <p>(3) 教育及び訓練</p> <p>a. 大規模損壊対応として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の指揮命令系統が機能しない場合への対応 ・初動で対応する要員を最大限に活用する観点から、臨機応変な配置変更に対応できる知識及び技能を習得する等、流動性を持って柔軟に対応可能にすること <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練を実施する。 ・大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育を定期的実施する。 ・発電所災害対策要員については、役割に応じて付与される力量に加え、被災又は想定より多い要員が必要となった場合において、優先順位の高い緩和措置の実施に遅れが生じることがないように、本来の役割以外の教育及び訓練の充実を図る。 具体的には、大規模損壊発生時、まずアクセスルート確保作業を行った上で、発電用原子炉の冷却、原子炉格納容器へのスプレイ又は放水砲の対応が想定されるため、それらの活動を担当する発電所災害対策要員（協力的社員含む。）については流動性を持って活動できるよう教育・訓練を実施する。 ・発電所災害対策要員に含まれる協力的社員については、業務委託契約に基づいた教育・訓練を実施する。 ・大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための総合的な訓練を定期的にかつ継続的に実施する。 <p>大規模損壊対応に係る訓練一覧について第2表に示す。</p> <p>(4) 手順</p> <p>a. 大規模損壊対応として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な火災の発生 ・重大事故等に比べて広範囲で不確定な被害 ・重大事故等時では有効に機能しない設備等が大規模損壊のような状況下では有効に機能する場合も考えられるため、事象進展の抑制及び緩和に資するための設備等の活用 | <p>相違理由</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の発電所災害対策要員には3号炉運転員も含まれているため、女川と実質的な相違はない。 <p>【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、主なプラント対応を記載していることから、記載表現の相違として分類した。 <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、協力的社員を含めて流動性をもって活動できるよう教育・訓練を実施する方針であるから、記載内容が異なる。 <p>【女川】記載表現の相違（伊方3号及び女川3/4号と同様。）</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

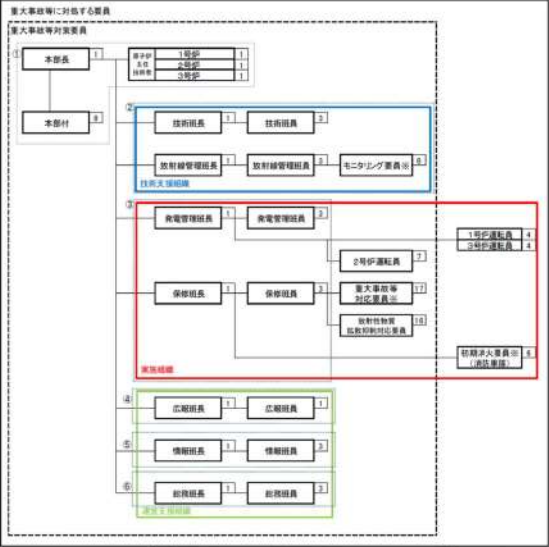
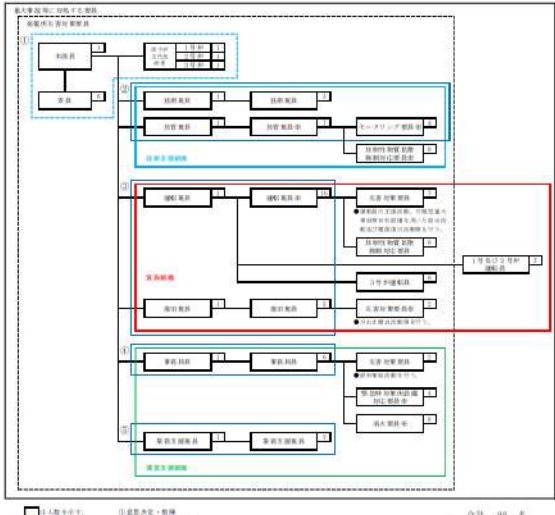
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|--|
| <p>【比較のため、島根原子力発電所2号炉技術的能力2.1まとめ資料 添付資料2.1.18より引用】</p> <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順として、故意による大型航空機の衝突による航空機燃料火災を想定し、技術的能力1.12で整備する化学消防自動車、小型動力ポンプ付水槽車等による初期消火の手順に加え、大型送水ポンプ車及び放水砲を活用した手順を整備する。 大規模損壊対応に特化した手順として、現場での可搬型計測器によるパラメータ監視手順等を整備する。 | <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順として、故意による大型航空機の衝突による航空機燃料火災を想定し、化学消防自動車によるアクセスルート消火の手順に加え、技術的能力1.12で整備する放水砲を活用した手順を整備する。 <p>(5) 本店対策本部体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における本店対策本部の設置による発電所への支援体制は、技術的能力1.0で整備する支援体制と同様である。 <p>(6) 外部支援体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における外部支援体制は、技術的能力1.0で整備する外部支援体制と同様である。 <p>(7) 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時において可搬型重大事故等対処設備は、同等の機能を有する設計基準事故対処設備及び常設重大事故等対処設備と同時に機能喪失することのないよう外部事象の影響を受けにくい場所に保管する。 <p>(8) 資機材の配備</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の対応に必要な資機材については、重大事故等対策で配備する資機材の基本的な考え方を基に高線量の環境、大規模な火災の発生及び外部支援が受けられない状況を想定し配備する。 | <p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順として、故意による大型航空機の衝突による航空機燃料火災を想定し、技術的能力1.12で整備する化学消防自動車及び水槽付消防ポンプ自動車、大規模火災用消防自動車、可搬型大型送水ポンプ車及び小型放水砲による初期消火の手順に加え、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲を活用した手順を整備する。 大規模損壊対応に特化した手順として、化学消防自動車により原子炉容器への注水、原子炉格納容器内へのスプレー、使用済燃料ビットへの注水又は使用済燃料ビットヘスプレーする手順、現場において直接ポンプ等を起動する手順等を整備する。 <p>(5) 本店対策本部体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における本店対策本部の設置による発電所への支援体制は、技術的能力1.0で整備する支援体制と同様である。 <p>(6) 外部支援体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における外部支援体制は、技術的能力1.0で整備する外部支援体制と同様である。 <p>(7) 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時において可搬型重大事故等対処設備は、同等の機能を有する設計基準事故対処設備及び常設重大事故等対処設備と同時に機能喪失することのないよう外部事象の影響を受けにくい場所に保管する。 <p>(8) 資機材の配備</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の対応に必要な資機材については、重大事故等対策で配備する資機材の基本的な考え方を基に高線量の環境、大規模な火災の発生及び外部支援が受けられない状況を想定し配備する。 | <p>相違理由</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、技術的能力1.12で整備する化学消防自動車等による初期消火の手順も含むものとして、大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順等を整備することを明確にするため、「技術的能力1.12で整備する」の記載箇所が異なる。（島根2号と同様。） <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、大規模損壊に特化した手順を整備することを記載している。（伊方3号、玄海3/4号、東海第二、島根2号等も同様。（なお、整備する手順そのものはプラントごとに異なる。）） |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|--|---|
| |  <p style="text-align: center;">第1図 発電所対策本部体制</p> |  <p style="text-align: center;">第1図 発電所対策本部体制</p> | <p>【女川】発電所対策本部体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 要員数、要員の名称、機能班の構成に相違はあるが、運転員、可搬型重大事故等対処設備を用いて電源復旧活動や給水活動等を行う要員、緊急時対策所にて対応を行う各機能班の要員、消火活動を行う要員等、重大事故等時の対応に必要な要員を確保する方針であることについては女川と同様。 |

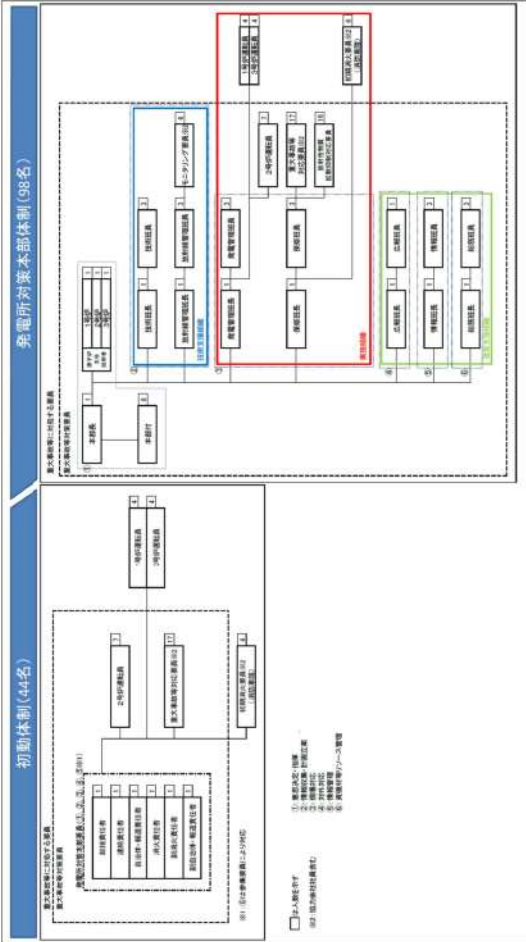
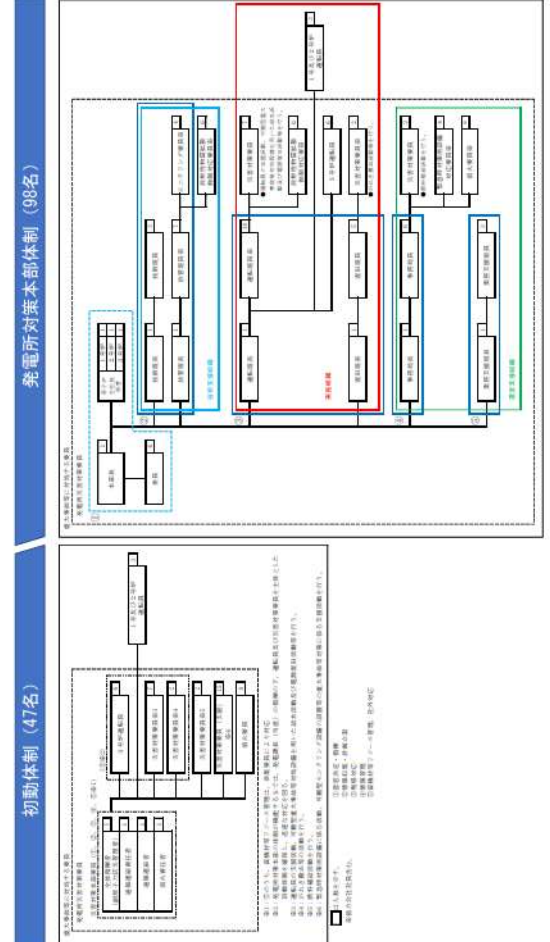
灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| | <p>第2図 発電所対策本部体制（複数号炉同時被災発生時）</p> | <p>第2図 発電所対策本部体制（複数号炉同時被災発生時）</p> | <p>【女川】発電所対策本部体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 要員数、要員の名称、機能班の構成に相違はあるが、運転員、可搬型重大事故等対処設備を用いて電源復旧活動や給水活動を行う要員、緊急時対策所にて対応を行う各機能班の要員、消火活動を行う要員等、重大事故等時の対応に必要な要員を確保する方針であることについては女川と同様。 |

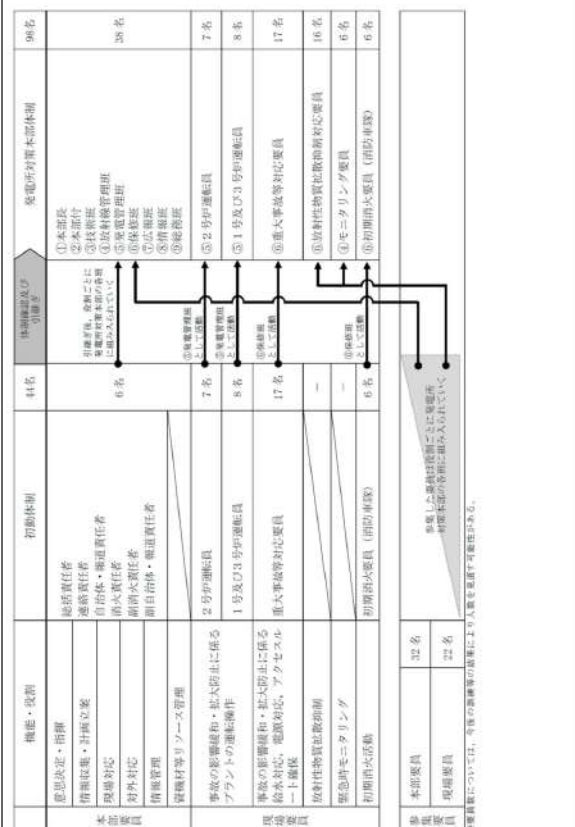
灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|--|
| |  <p>第3図 初動体制及び全体体制の構成</p> |  <p>第3図 初動体制及び全体体制の構成</p> | <p>【女川】初動体制及び発電所対策本部体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要員数、要員の名称、機能班の構成に相違はあるが、運転員、可搬型重大事故等対処設備を用いて電源復旧活動や給水活動等を行う要員、緊急時対策所にて対応を行う各機能班の要員、消火活動を行う要員等、重大事故等時の対応に必要な要員を確保する方針であることについては女川と同様。 ・泊は、発電所対策本部が構築されるまでの間、発電課長（当直）が運転員及び災害対策要員に直接指示し、対応操作を行う。（伊方3号と同様） ・災害対策要員は、運転員が行う対応操作の支援も行う。 ・緊急時対策所の立ち上げ、中央制御室のチェンジングエリア設置、可搬型モニタリングの準備等を行う災害対策要員（支援）を確保している。 |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------------------------|--|---|--|
| <p>大阪発電所3/4号炉</p> | <p>女川原子力発電所2号炉</p>  | <p>泊発電所3号炉</p>  | <p>相違理由</p> <p>【女川】初動体制及び発電所対策本部体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要員数、要員の名称、機能班の構成に相違はあるが、運転員、可搬型重大事故等対処設備を用いて電源復旧活動や給水活動等を行う要員、緊急時対策所にて対応を行う要員、消火活動を行う要員等、重大事故等時の対応に必要な要員を確保する方針であることについては女川と同様。 |
| <p>第4図 初動体制から発電所対策本部への移行</p> | <p>第4図 初動体制から発電所対策本部への移行</p> | <p>第4図 初動体制から発電所対策本部への移行</p> | |

2.1 可搬型設備等による対応

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

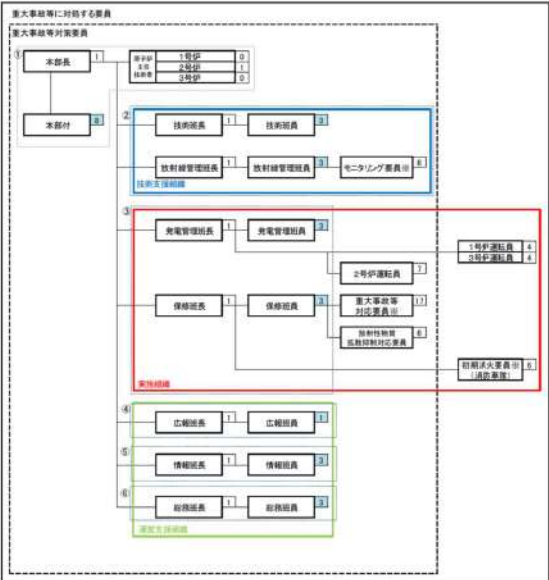
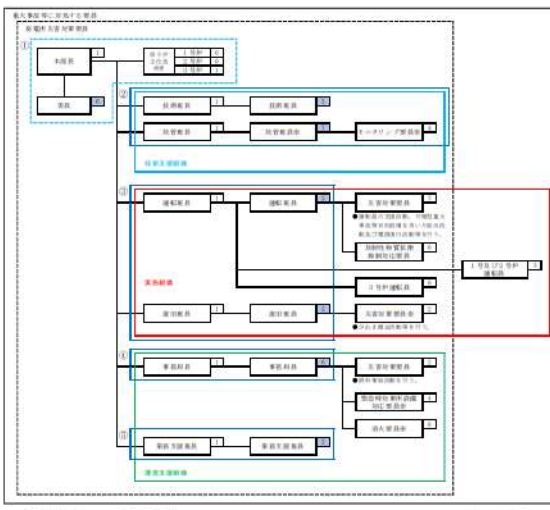
灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|---------|-------|-----|---|----------|--|-----|---|-----|---|-----|--|-----|--|-----|---|--------|--|-----|---|-------|---|---|-----|-------|-----|---|-------------|--|----|---|-----|---|-------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|--|
| | <p style="text-align: center;">第1表 各職位のミッション</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>職 位</th> <th>ミッション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 </td> </tr> <tr> <td>原子炉主任技術者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 </td> </tr> <tr> <td>本部付</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 </td> </tr> <tr> <td>情報班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 </td> </tr> <tr> <td>総務班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 要員の呼集、参集状況の把握 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 ほかの班に属さない事項 </td> </tr> <tr> <td>広報班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者への支援 </td> </tr> <tr> <td>技術班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 </td> </tr> <tr> <td>放射線管理班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する重大事故等対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 </td> </tr> <tr> <td>保修班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 不具合設備の応急復旧の実施 火災発生時における消火活動 </td> </tr> <tr> <td>発電管理班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況入手 運転員からの支援要請に対する対応 運転員における重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係る運転操作 </td> </tr> </tbody> </table> | 職 位 | ミッション | 本部長 | <ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 | 原子炉主任技術者 | <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 | 本部付 | <ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 | 情報班 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 | 総務班 | <ul style="list-style-type: none"> 要員の呼集、参集状況の把握 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 ほかの班に属さない事項 | 広報班 | <ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者への支援 | 技術班 | <ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 | 放射線管理班 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する重大事故等対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 | 保修班 | <ul style="list-style-type: none"> 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 不具合設備の応急復旧の実施 火災発生時における消火活動 | 発電管理班 | <ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況入手 運転員からの支援要請に対する対応 運転員における重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係る運転操作 | <p style="text-align: center;">第1表 各職位のミッション</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>職 位</th> <th>ミッション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 </td> </tr> <tr> <td>発電用原子炉主任技術者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 </td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 </td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 要員の呼集、参集状況の把握 火災発生時における消火活動 燃料補給活動 他の班に属さない事項 </td> </tr> <tr> <td>業務支援班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者の支援 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 </td> </tr> <tr> <td>技術班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 </td> </tr> <tr> <td>放管理</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する発電所対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 海洋への放射性物質拡散抑制対応 </td> </tr> <tr> <td>復旧班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 不具合設備の応急復旧の実施 屋外アクセスのたれき撤去 </td> </tr> <tr> <td>運転班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手 運転員からの支援要請に関する対応 運転員における重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係るプラントの運転操作 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 火災発生時における消火活動 </td> </tr> </tbody> </table> | 職 位 | ミッション | 本部長 | <ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 | 発電用原子炉主任技術者 | <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 | 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 要員の呼集、参集状況の把握 火災発生時における消火活動 燃料補給活動 他の班に属さない事項 | 業務支援班 | <ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者の支援 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 | 技術班 | <ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 | 放管理 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する発電所対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 海洋への放射性物質拡散抑制対応 | 復旧班 | <ul style="list-style-type: none"> 不具合設備の応急復旧の実施 屋外アクセスのたれき撤去 | 運転班 | <ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手 運転員からの支援要請に関する対応 運転員における重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係るプラントの運転操作 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 火災発生時における消火活動 | <p>【女川】発電所対策本部体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 要員数、要員の名称、機能班の構成に相違はあるが、運転員、可搬型重大事故等対処設備を用いて電源復旧活動や給水活動等を行う要員、緊急時対策所にて対応を行う各機能班の要員、消火活動を行う要員等、重大事故等時の対応に必要な要員を確保する方針であることについては女川と同様。 |
| 職 位 | ミッション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本部長 | <ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉主任技術者 | <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本部付 | <ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報班 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総務班 | <ul style="list-style-type: none"> 要員の呼集、参集状況の把握 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 ほかの班に属さない事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 広報班 | <ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者への支援 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 技術班 | <ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線管理班 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する重大事故等対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保修班 | <ul style="list-style-type: none"> 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 不具合設備の応急復旧の実施 火災発生時における消火活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電管理班 | <ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況入手 運転員からの支援要請に対する対応 運転員における重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係る運転操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職 位 | ミッション | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本部長 | <ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電用原子炉主任技術者 | <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 要員の呼集、参集状況の把握 火災発生時における消火活動 燃料補給活動 他の班に属さない事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務支援班 | <ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者の支援 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 技術班 | <ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放管理 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する発電所対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 海洋への放射性物質拡散抑制対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 復旧班 | <ul style="list-style-type: none"> 不具合設備の応急復旧の実施 屋外アクセスのたれき撤去 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転班 | <ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手 運転員からの支援要請に関する対応 運転員における重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係るプラントの運転操作 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 火災発生時における消火活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|---|
| |  <p style="text-align: center;">第5図 発電所対策本部体制（放射性雲通過時）</p> |  <p style="text-align: center;">第5図 発電所対策本部体制（ブルーム通過時）</p> | <p>【女川】 発電所対策本部体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要員数、要員の名称、機能班の構成に相違はあるが、運転員、可搬型重大事故等対処設備を用いて電源復旧活動や給水活動等を行う要員、緊急時対策所にて対応を行う各機能班の要員、消火活動を行う要員等、重大事故等時の対応に必要な要員を確保する方針であることについては女川と同様。 <p>【女川】 記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放射性雲⇔ブルーム |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、伊方発電所3号炉技術的能力2.1まとめ資料添付資料2.1.13より引用】

表-1 大規模損壊対応に係る教育及び訓練一覧

| 教育訓練名 | 目的 | 内容 | 対象者 | 頻度 |
|--------------------|--|---|-------------------------|--------------|
| 大規模損壊対応教育(指揮、状況判断) | 大規模損壊時に通常の御命令系統が機能しない場合及び操作する管理等を最大限に活用し適切な対応の意思決定を想定した対応の習得 | ・残存する資源・設備が限定される場合の対応の優先順位 ・中央制御室の機能が喪失した場合の起動対応の指揮、状況判断 | 原子力部員管理者等 /副原子力部員管理者 | 1回以上/年 程度 |
| 大規模損壊対応訓練(個別訓練) | 大規模損壊時に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得 | ・注水用ヘッドを活用した放水 ・大容量並立ポンプ(タイプ1)の稼働への直接接続 ・取水タンクを水源とした放水による消火 | 重大事故等対応要員 | 1回以上/年 程度 |
| 大規模損壊対応訓練 | 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の緊密な連携の確保 | ・各種設備の点検 ・各種要員の連携 ・制度の意思決定 ・事故内報連絡も含み連携が機能しない場合の対応(要員の職務の考慮) | 重大事故等に対する要員 | 1回以上/年 程度 |

第2表 大規模損壊対応に関する教育及び訓練

| 教育訓練名 | 目的 | 内容 | 対象者 | 頻度 |
|--------------------|--|---|-------------------------|--------------|
| 大規模損壊対応教育(指揮、状況判断) | 大規模損壊時に通常の御命令系統が機能しない場合及び操作する管理等を最大限に活用し適切な対応の意思決定を想定した対応の習得 | ・残存する資源・設備が限定される場合の対応の優先順位 ・中央制御室の機能が喪失した場合の起動対応の指揮、状況判断 | 原子力部員管理者等 /副原子力部員管理者 | 1回以上/年 程度 |
| 大規模損壊対応訓練(個別訓練) | 大規模損壊時に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得 | ・注水用ヘッドを活用した放水 ・大容量並立ポンプ(タイプ1)の稼働への直接接続 ・取水タンクを水源とした放水による消火 | 重大事故等対応要員 | 1回以上/年 程度 |
| 大規模損壊対応訓練 | 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の緊密な連携の確保 | ・各種設備の点検 ・各種要員の連携 ・制度の意思決定 ・事故内報連絡も含み連携が機能しない場合の対応(要員の職務の考慮) | 重大事故等に対する要員 | 1回以上/年 程度 |

※教育訓練に使用する教育及び訓練の名称、頻度等は、今後の検討等により変更となる可能性がある。

第3表 保守班に対する知識及び技能の流動性

| 常時確保する要員数 (重大事故等対応要員) | 対応可能とする現場作業 | | |
|-------------------------------|-------------|------------|--------------------|
| | 注水 除熱 | 電源確保 給油 | がれき撤去 放射性物質取扱抑制 |
| ・注水に係る要員：9名 ・除熱に係る要員：[6名]※ | ◎ | - | ○ |
| ・電源確保に係る要員：4名 | - | ◎ | ○[確認] |
| ・がれき撤去に係る要員：2名 | - | - | ◎ |
| ・給油に係る要員：2名 | - | ◎ | - |

【凡例】◎：主たる業務、○：その他付与する業務

○[確認]：アクセスカード復旧要員の確認、一：対象外

※ 要員数は、注水に係る要員の再編、注水作業の力量を有している者は、除熱に係る要員の力量を付与したうえで常時確保している。

第4表 協会社社員の活動範囲(初動)

| | 消火活動 | 注水・除熱 | がれき撤去 | 燃料補給 |
|------------------|------|-------|-------|------|
| 重大事故等 対応要員 | - | ○ | ○ | ○ |
| 初期消火要員 (消防車隊) | ○ | - | - | - |

※今後の訓練等の結果により活動範囲を見直す可能性がある。

第2表 大規模損壊対応に関する教育及び訓練一覧

| 教育訓練名 | 目的 | 内容 | 対象者 | 頻度 |
|--------------------|--|---|-------------------------|--------------|
| 大規模損壊対応教育(指揮、状況判断) | 大規模損壊時に通常の御命令系統が機能しない場合及び操作する管理等を最大限に活用し適切な対応の意思決定を想定した対応の習得 | ・残存する資源・設備が限定される場合の対応の優先順位 ・中央制御室の機能が喪失した場合の起動対応の指揮、状況判断 | 原子力部員管理者等 /副原子力部員管理者 | 1回以上/年 程度 |
| 大規模損壊対応訓練(個別訓練) | 大規模損壊時に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得 | ・注水用ヘッドを活用した放水 ・大容量並立ポンプ(タイプ1)の稼働への直接接続 ・取水タンクを水源とした放水による消火 | 重大事故等対応要員 | 1回以上/年 程度 |
| 大規模損壊対応訓練 | 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の緊密な連携の確保 | ・各種設備の点検 ・各種要員の連携 ・制度の意思決定 ・事故内報連絡も含み連携が機能しない場合の対応(要員の職務の考慮) | 重大事故等に対する要員 | 1回以上/年 程度 |

【女川】記載内容の相違

・泊は、大規模損壊対応に関する教育及び訓練の一覧を記載している。(伊方3号及び玄海3/4号と同様。)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所 3 / 4号炉 | 女川原子力発電所 2号炉 | 泊発電所 3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|-----------|---------------|--|--|---------------------------|---|---|---------|--|---|--|--|---|---|----------|--|---|---------------|--|--|---------------------------|--|--|---------|--|---|--|----|-----------|-----------|----------|--|---|------|---|---|---------------------------|--|---|---------|--|---|-------------|
| <p>別紙</p> <p>技術的能力 1.0 と技術的能力 2.1 の体制整備に関する考え方の相違点について (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力 1.0</th> <th>技術的能力 2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制の整備 (要員の配置)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然現象が発生した場合には、要員参加までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参加要員が参加するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対応する要員にて対応が可能な体制を整備 </td> </tr> <tr> <td>教育及び訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織（運転員を除く）、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じて、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雹、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した要素訓練の実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 </td> </tr> <tr> <td>手順</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.1~1.19 で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.2~1.14 で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 </td> </tr> <tr> <td>本店対策本部体制</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 </td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | 体制の整備 (要員の配置) | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然現象が発生した場合には、要員参加までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参加要員が参加するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対応する要員にて対応が可能な体制を整備 | 教育及び訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織（運転員を除く）、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じて、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雹、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した要素訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 | 手順 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.1~1.19 で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.2~1.14 で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 | 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | <p>別紙</p> <p>技術的能力 1.0 と技術的能力 2.1 の体制整備に関する考え方の相違点について (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力 1.0</th> <th>技術的能力 2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制の整備 (要員の配置)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施できる体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、さらに以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然現象が発生した場合には、要員参加までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所対策要員により、参加要員が参加するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対応する要員にて対応が可能な体制を整備 </td> </tr> <tr> <td>教育及び訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応する要員に対し必要な教育及び訓練を年1回以上実施 複数の教育訓練項目で手順の習得がない項目については、教育訓練を年2回以上実施 重大事故等に対応する要員の役割に応じて、重大事故等よりも厳しいプラント状態となった場合でも対応できるように、重大事故等の内容、基本的な対処方法等、知識ベースの理解向上に資する教育の計画的に実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雹、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した事故時対応訓練の実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する訓練及び教育を基本とし、さらに以下の事項を考慮することで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊発生時に対応する手順及び訓練の取扱い等を習得するための教育及び訓練の実施 原子力防災管理者及び原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 </td> </tr> <tr> <td>手順</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.1 から 1.19 で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.2 から 1.14 で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 </td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | 体制の整備 (要員の配置) | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施できる体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、さらに以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然現象が発生した場合には、要員参加までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所対策要員により、参加要員が参加するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対応する要員にて対応が可能な体制を整備 | 教育及び訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応する要員に対し必要な教育及び訓練を年1回以上実施 複数の教育訓練項目で手順の習得がない項目については、教育訓練を年2回以上実施 重大事故等に対応する要員の役割に応じて、重大事故等よりも厳しいプラント状態となった場合でも対応できるように、重大事故等の内容、基本的な対処方法等、知識ベースの理解向上に資する教育の計画的に実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雹、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した事故時対応訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する訓練及び教育を基本とし、さらに以下の事項を考慮することで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊発生時に対応する手順及び訓練の取扱い等を習得するための教育及び訓練の実施 原子力防災管理者及び原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 | 手順 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.1 から 1.19 で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.2 から 1.14 で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 | <p>別紙</p> <p>技術的能力 1.0 と技術的能力 2.1 の体制整備に関する考え方の相違点について (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力 1.0</th> <th>技術的能力 2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本店対策本部体制</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 </td> </tr> <tr> <td>外部支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 </td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 </td> </tr> <tr> <td>資機材の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後の7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応ができるよう必要数量を発電所内に確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 </td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | 資機材の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後の7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応ができるよう必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | <p>相違理由</p> |
| 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体制の整備 (要員の配置) | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然現象が発生した場合には、要員参加までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参加要員が参加するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対応する要員にて対応が可能な体制を整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育及び訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織（運転員を除く）、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じて、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雹、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した要素訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手順 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.1~1.19 で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.2~1.14 で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 体制の整備 (要員の配置) | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施できる体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、さらに以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然現象が発生した場合には、要員参加までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所対策要員により、参加要員が参加するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対応する要員にて対応が可能な体制を整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育及び訓練 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応する要員に対し必要な教育及び訓練を年1回以上実施 複数の教育訓練項目で手順の習得がない項目については、教育訓練を年2回以上実施 重大事故等に対応する要員の役割に応じて、重大事故等よりも厳しいプラント状態となった場合でも対応できるように、重大事故等の内容、基本的な対処方法等、知識ベースの理解向上に資する教育の計画的に実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雹、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した事故時対応訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する訓練及び教育を基本とし、さらに以下の事項を考慮することで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊発生時に対応する手順及び訓練の取扱い等を習得するための教育及び訓練の実施 原子力防災管理者及び原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手順 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.1 から 1.19 で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.2 から 1.14 で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資機材の配備 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後の7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応ができるよう必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>技術的能力 1.0 と技術的能力 2.1 の体制整備に関する考え方の相違点について (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力 1.0</th> <th>技術的能力 2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 </td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 </td> </tr> <tr> <td>配備する資機材</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 </td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | 配備する資機材 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | <p>技術的能力 1.0 と技術的能力 2.1 の体制整備に関する考え方の相違点について (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力 1.0</th> <th>技術的能力 2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本店対策本部体制</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 </td> </tr> <tr> <td>外部支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 </td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 </td> </tr> <tr> <td>配備する資機材</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 </td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | 配備する資機材 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | <p>技術的能力 1.0 と技術的能力 2.1 の体制整備に関する考え方の相違点について (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力 1.0</th> <th>技術的能力 2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本店対策本部体制</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 </td> </tr> <tr> <td>外部支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 </td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 </td> </tr> <tr> <td>配備する資機材</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 </td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | 配備する資機材 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | <p>相違理由</p> |
| 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 配備する資機材 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 配備する資機材 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 技術的能力 1.0 | 技術的能力 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本店対策本部体制 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力 1.0 と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部支援 | <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力 1.0 での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力 1.0 と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第 10 条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート | <ul style="list-style-type: none"> 想定される 14 事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 | <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 配備する資機材 | <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できる必要数量を発電所内に確保 | <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力 1.0 で整備する数値で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力 1.0 での整備事項と同様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|---|
| <p>添付資料 2.1.10 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について</p> <p>大規模損壊発生時に想定される以下の a. ～ d. の環境下等において、緊急安全対策要員等が事故対応を行うために必要な資機材を表1に示すとおり配備している。 なお、e. の資機材については、緊急時対策所及び中央制御室等において必要数を配備することとしており、詳細については表2に示す。（川内ヒアリング）</p> <p>a. 全交流電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材</p> <p>b. 地震及び津波の大規模な自然災害による火災、又は故意による大型航空機の衝突による航空機燃料火災の発生時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火剤等の資機材</p> <p>c. 炉心損傷及び原子炉格納容器破損による高線量の環境下において事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材</p> <p>d. 化学薬品等が流出した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材</p> <p>e. 大規模な自然災害により外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食料等の資機材</p> | <p>添付資料 2.1.18 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について</p> <p>大規模損壊発生時に想定される以下の a. ～ c. の環境下等において、重大事故等対策要員等が事故対応を行うために必要な資機材を第1表に示すとおり配備する。 d. の資機材については、中央制御室及び緊急時対策建屋において必要数を配備することとしており、詳細を第2表に示す。 e. の資機材については、詳細を第3表に、 f. の資機材については、詳細を第4表に示す。</p> <p>a. 全交流動力電源喪失が発生する環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材を配備する。</p> <p>b. 地震及び津波のような大規模な自然災害による油タンク火災、又は故意による大型航空機の衝突に伴う大規模な航空機燃料火災の発生に備え、必要な消火活動を実施するために着用する防護具、消火薬剤等の資機材及び消火設備を配備する。</p> <p>c. 炉心損傷及び原子炉格納容器破損による高線量の環境下において、事故対応のために着用する全面マスク、汚染防護服（タイベック）及び個人線量計等の必要な資機材を配備する。</p> <p>d. 大規模な自然災害により外部支援が受けられない場合も事故対応を行うための防護具、線量計、食糧等の資機材を確保する。 e. 大規模損壊発生時において、指揮者と現場間、発電所外等との連絡に必要な通信連絡設備を確保するため、多様な複数の通信連絡設備を整備する。 また、通常の通信連絡設備（自主対策設備）が使用不能な場合を想定した通信連絡設備（重大事故等対処設備）として、衛星電話設備、無線連絡設備、携行型通話装置及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備を配備する。 f. 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材を配備する。</p> | <p>添付資料 2.1.12 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について</p> <p>大規模損壊発生時に想定される以下の a. ～ d. の環境下等において、運転員、災害対策要員等が事故対応を行うために必要な資機材を第1表に示すとおり配備する。 e. の資機材については、緊急時対策所及び中央制御室等において必要数を配備することとしており、詳細を第2表に示す。 f. の資機材については、詳細を第3表に、 g. の資機材については、詳細を第4表に示す。</p> <p>a. 全交流動力電源喪失が発生する環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材を配備する。</p> <p>b. 地震及び津波のような大規模な自然災害による油タンク火災、又は故意による大型航空機の衝突に伴う大規模な航空機燃料火災の発生に備え、必要な消火活動を実施するために着用する防護具、消火薬剤等の資機材及び消火設備を配備する。</p> <p>c. 炉心損傷及び原子炉格納容器破損による高線量の環境下において、事故対応のために着用するマスク、高線量対応防護服及び個人線量計等の必要な資機材を配備する。 d. 化学薬品等が流出した場合に事故対応するために着用するマスク、長靴等の資機材を配備する。</p> <p>e. 大規模な自然災害により外部支援が受けられない場合も事故対応を行うための防護具、線量計、食料等の資機材を確保する。 f. 大規模損壊発生時において、指揮者と現場間、発電所外等との連絡に必要な通信連絡設備を確保するため、多様な複数の通信連絡設備を整備する。 また、通常の通信連絡設備（自主対策設備）が使用不能な場合を想定した通信連絡設備（重大事故等対処設備）として、衛星電話設備、無線連絡設備、携行型通話装置及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備を配備する。 g. 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材を配備する。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】名称の相違 ・緊急時対策建屋⇄緊急時対策所 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【大阪】記載内容の相違(女川審査実績反映) ・大阪は、添付資料 2.1.10 に対する添付(添付 10-1)として、通信手段の確保について整理しており、添付資料 2.1.10 本文には記載していない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は女川審査実績を反映し、大規模損壊に特化した手順において使用する資機材の配備について記載する。</p> <p>【大阪】【女川】記載表現の相違 ・泊は、a～g 項の記載について、本文 2.1.1.3(2)項及び 2.1.2.3(2)項を踏まえた記載表現としている。</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・泊は、大阪と同様に、薬品流出時着用するマスク、長靴等の資機材の配備方針について記載する。</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・食糧⇄食料 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【大阪】記載内容の相違(女川審査実績反映) ・大阪は、添付資料 2.1.10 に対する添付(添付 10-1)として、通信手段の確保について整理しており、添付資料 2.1.10 本文には記載していない。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、大規模損壊に特化した手順において使用する資機材の配備について記載する。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

表1 重大事故等及び大規模損壊の発生に備えた資機材リスト

| 保管場所 | 品目 | 規定額 ^{※1} |
|---|--|-------------------|
| a. 全交流電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材 | | |
| 緊急時対策所 | ポータブル照明（予備バッテリー含む） | — |
| 第二事務所 | — | — |
| B中央制御室 | ポータブル照明（予備バッテリー含む） 懐中電灯 ランタン ヘッドライト | — |
| 第一事務所 | 乾電池 | — |
| 第一事務所 | 懐中電灯 ヘッドライト | — |
| b. 大規模火災発生時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火剤等の資機材 | | |
| 第一事務所 | 耐熱服（手袋、ヘルメット） 空気呼吸器 ^{※2} | 防火管理所達 |
| 第一出入管理室 1、2号伊補助建屋 アスファルト固化建屋 | — | — |
| 第二事務所 3、4号伊制御建屋 | — | — |
| 消防車車庫 | — | — |
| A中央制御室 | 空気呼吸器 ^{※2} | 防火管理所達 |
| B中央制御室 | — | — |
| 委託消防詰所 | 防火服 個人線量計 全面マスク | — |
| 消防車車庫 | 化学消防自動車 小型動力ポンプ付水槽車 泡消火剤 | 防火管理所達 |
| 保管場所 | | |
| B中央制御室 | セルフエアセット ^{※1} （予備ボンベ含む） 全面マスク | — |
| 第二事務所 | — | — |
| 可搬型重大事故等対応設備保管場所（屋外） | 取水砲 大容量ポンプ（放水用） | 大規模損壊所達 |
| c. 高線量の環境下で事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材 | | |
| 緊急時対策所 | 個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ ガンマ線測定用サーベイメータ 緊急時対策所内可搬型エリアモニタ 緊急時対策所外可搬型エリアモニタ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 全面マスク 交換カートリッジ 靴カバー 長靴 タンダステンベスト ^{※2} | — |
| B中央制御室 | 個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ 電線箱サーベイメータ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 アノラック 全面マスク 交換フィルター 靴カバー 長靴 セルフエアセット | — |
| d. 化学薬品等が流失した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材 | | |
| 3、4号炉2次系化学室 前直室 研修館 委託消防詰所 | 全面マスク（ガス吸収缶含む） 化学防護服 化学防護手袋 化学防護長靴 保護メガネ | 化学管理業務所側 |

※1：大規模火災が発生する環境で必要な資機材のうちセルフエアセット（空気呼吸器）は、高線量下での環境で対応するための資機材及び化学薬品が流出するような環境で対応するための資機材を兼ねる。
 ※2：タンダステンベストについては、着用により作業効率が下がり、作業時間の増加に伴い被ばく線量が増加するため、移動を伴う作業においては原則着用しない。ただし、高線量下で移動を伴わない作業の場合は、作業場所の状況に応じ着用する。

女川原子力発電所2号炉

第1表 重大事故等及び大規模損壊の発生に備えた資機材リスト

| 品目 | 保管場所 | 規定額 ^{※1} |
|--|--|-------------------|
| a. 全交流電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材 | | |
| ヘッドライト | 中央制御室 中央制御室待避所 緊急時対策所 | 重大事故等対応要領書 |
| ランタン | 中央制御室 中央制御室待避所 緊急時対策所 | |
| 懐中電灯 | 中央制御室 | — |
| b. 大規模火災時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火剤等の資機材 | | |
| 耐熱服 | 第3保管エリア 第4保管エリア 事務本館 | 重大事故等対応要領書 |
| 防火服 | 事務本館 出入管理室 1号制御建屋更衣室 3号サービス建屋更衣室 1号中央制御室 2号中央制御室 3号中央制御室 事務建屋 | |
| 泡消火薬剤 | 第3保管エリア 第4保管エリア | — |
| c. 高線量の環境下において事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材 | | |
| 第2表に記載 | | |

※1：記載する社内規定額については今後の運用を踏まえた検討により変更となる可能性がある。

泊発電所3号炉

第1表 重大事故等及び大規模損壊の発生に備えた資機材リスト

| 品目 | 保管場所 | 規程額 ^{※2} |
|--|--|--------------------------------|
| a. 全交流動力電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材 | | |
| ヘッドライト | 中央制御室 緊急時対策所指揮所 | 原子力災害対策要領 重大事故等および大規模損壊対応要領 |
| 懐中電灯 | 中央制御室 | |
| ワークライト | 中央制御室 緊急時対策所指揮所 | |
| b. 大規模火災発生時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火薬剤等の資機材 | | |
| 防火服 | 51a倉庫・車庫 3号か出入管理室 1号及び2号か出入管理室 3号か応急応答室前 | 原子力災害対策要領 重大事故等および大規模損壊対応要領 |
| 耐熱服 | 51a倉庫・車庫 | |
| 自給式呼吸器 ^{※1} | 51a倉庫・車庫 3号か出入管理室 1号及び2号か出入管理室 緊急時対策所待機所 3号か中央制御室 1号及び2号か中央制御室 総合管理事務所 | — |
| 泡消火薬剤 | 51a倉庫・車庫 T.P.31a以上の構内保管場所 | — |
| c. 高線量の環境下で事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材 | | |
| 第2表に記載 | — | 原子力災害対策要領 重大事故等および大規模損壊対応要領 |
| d. 化学薬品等が流失した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材 | | |
| 探付長靴 | 中央制御室 | 原子力災害対策要領 重大事故等および大規模損壊対応要領 |
| 化学保護具（ガス吸収缶含む） | 緊急時対策所待機所 3号か中央制御室 1号及び2号か中央制御室 総合管理事務所 3号か出入管理建屋 1号及び2号か管理事務所 | |
| 保護手袋 | — | |
| 保護長靴 防護マスク 保護メガネ | — | |

※1：大規模火災が発生する環境で必要な資機材のうち、自給式呼吸器は、高線量下での環境で対応するための資機材及び化学薬品が流出するような環境で対応するための資機材を兼ねる。
 ※2：記載する社内規程額については今後の運用を踏まえた検討により変更となる可能性がある。

相違理由

【大飯】【女川】記載内容の相違
 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、重大事故等及び大規模損壊発生時に想定される環境下においても事故対応できるように必要な資機材を配備する方針に相違はない。

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

表2 外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食料等の資機材
 (1) 放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等

a. 防護具

| 品名 | 保管数 | | |
|---------------------|------------------|-------------------|----------|
| | 緊急時対策所 指揮所*16 | 緊急時対策所 待機場所*16 | 構内保管*1 |
| 汚染防護服(タイベック) | 1,900着*2 | 1,200着*9 | 約6,000着 |
| 綿帽子 | 950個*3 | 600個*10 | 約6,000個 |
| 靴下 | 950足*3 | 600足*10 | 約6,000足 |
| 綿手袋 | 950双*3 | 600双*10 | 約29,000双 |
| ゴム手袋 | 1,900双*4 | 1,200双*11 | 約27,000双 |
| 全面マスク | 120個*5 | 90個*12 | 約1,600個 |
| 交換カートリッジ (2個で1組) | 950組*6 | 600組*13 | 約3,000組 |
| 靴カバー | 950足*3 | 600足*10 | 約6,000足 |
| 長靴 | 200足*7 | 100足*14 | 約300足 |
| タンダステンベスト | 10着*8 | 10着*8 | 20着 |
| 可搬型空気浄化装置 | 2台*15 | 2台*15 | 約14台 |

- *1：平成27年6月現在の保有数量（構内用）
- *2：指揮所要員65名×7日＋余裕（2重化含む）
- *3：指揮所要員65名×7日＋余裕
- *4：指揮所要員65名×7日×2重＋余裕
- *5：指揮所要員65名＋余裕
- *6：指揮所要員65名×7回（7A-4前後各1回＋その後1日に1回＝5回）＋余裕
- *7：指揮所要員65名＋余裕
- *8：指揮者1名＋放射線管理1名＋作業員3名×2班
- *9：待機場所要員41名×7日＋余裕（2重化含む）
- *10：待機場所要員41名×7日＋余裕
- *11：待機場所要員41名×7日×2重＋余裕
- *12：待機場所要員41名＋余裕
- *13：待機場所要員41名×7回（7A-4前後各1回＋その後1日に1回＝5回）＋余裕
- *14：待機場所要員44名＋余裕
- *15：予備1台含む
- *16：一部定修資機材倉庫に保管

b. 計測器（被ばく管理、汚染管理）

| 品名 | 保管数 | | |
|----------------------|---------------|----------------|---------|
| | 緊急時対策所 指揮所 | 緊急時対策所 待機場所 | 構内保管*1 |
| 個人線量計 (電子式線量計) | 120台*2 | 90台*7 | 約2,900台 |
| 表面汚染密度測定用 サーベイメータ | 5台*3 | 5台*3 | 約50台 |
| ガンマ線測定用 サーベイメータ | 5台*4 | 5台*4 | 約60台 |
| 緊急時対策所内 可搬型エリアモニタ | 3台*5*8 | | 約15台 |
| 緊急時対策所外 可搬型エリアモニタ | 2台*6*8 | | 約4台 |

- *1：平成27年6月現在の保有数量（構内用）
- *2：指揮所要員65名＋余裕
- *3：チェンジングエリアにて使用
- *4：現場作業時に使用
- *5：緊急時対策所にて使用
- *6：原子伊補助建屋にて使用
- *7：待機場所要員41名＋余裕
- *8：予備1台を含む

女川原子力発電所2号炉

第2表 外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食糧等の資機材
 (1) 緊急時対策建屋に保管する放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等

a. 防護具

| 品名 | 保管数* | 考え方 |
|----------------------------|--------|---|
| タイベック | 2,100着 | 60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日 |
| 下着（上下セット） | 2,100着 | 60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日 |
| 帽子 | 2,100個 | 60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日 |
| 靴下 | 2,100足 | 60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日 |
| 綿手袋 | 2,100双 | 60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日 |
| ゴム手袋 | 4,200双 | 2,100双×2 |
| 全面マスク | 900個 | 60名（本部要員38名＋余裕）×3日及び現場要員40名×6回/日×3日（除染による再使用を考慮） |
| マスク用チャコール フィルター（2個/セット） | 2,100 | 60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日 |
| EVAシューズ（上下セット） | 1,050 | 105名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日×50%（年間日本日数を考慮） |
| 汚染区域用靴 | 40足 | 現場要員20名（放射線管理通過後の現場要員）×2 |
| タンダステンベスト | 20着 | 現場要員20名（放射線管理通過後の現場要員） |

※：予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）

b. 計測器（被ばく管理、汚染管理）

| 品名 | 保管数* | 考え方 |
|---|------|------------------------------------|
| 個人線量計 (電子式線量計) | 200台 | 100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2 |
| 個人線量計 (ガラスバッチ) | 200台 | 100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2 |
| チェンジングエリア用4台（身体サーベイを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕） | 8台 | |
| チェンジングエリア用4台（チェンジングエリア内のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕） | 8台 | |
| 可搬型エリアモニタ | 4台 | 緊急時対策所内2台（1台＋余裕）＋緊急時対策建屋内2台（1台＋余裕） |

※：予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）

泊発電所3号炉

第2表 外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食料等の資機材
 (1) 緊急時対策所に保管する放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等

a. 防護具

| 品名 | 保管数 | 考え方 |
|----------------------------------|--------|--------------------------------|
| タイベック | 1,050着 | 100名 ^{※1} ×1.5倍×7日 |
| 帽子 | 1,050個 | 100名 ^{※1} ×1.5倍×7日 |
| 靴下 | 1,050足 | 100名 ^{※1} ×1.5倍×7日 |
| 綿手袋 | 1,050双 | 100名 ^{※1} ×1.5倍×7日 |
| ゴム手袋 | 2,100双 | 100名 ^{※1} ×2重×1.5倍×7日 |
| 全面マスク | 1,050個 | 100名 ^{※1} ×1.5倍×7日 |
| 電動ファン付きマスク | 8個 | 6名 ^{※2} ＋余裕 |
| 全面マスク用チャコールフィルタ (2個/セット) | 2,100個 | 100名 ^{※1} ×2重×1.5倍×7日 |
| 電動ファン付きマスク用チャコール フィルタ（1個/セット） | 8個 | 6名 ^{※2} ＋余裕 |
| アノラック | 830着 | 79名 ^{※3} ×1.5倍×7日 |
| 長靴 | 610足 | 79名 ^{※3} ×1.5倍×7日 |
| オーバースーツ（靴カバー） | 1,050足 | 100名 ^{※1} ×1.5倍×7日 |
| 自給式呼吸器 | 8台 | 8名 ^{※4} |
| 圧縮酸素供給式呼吸器 | 8台 | 79名 ^{※3} の10%分 |
| タンダステンベスト | 20着 | 8名 ^{※5} ×2セット＋余裕 |

- ※1：本部要員（50名）＋現場要員（39名）＋3号炉運転員（6名）＋余裕
- ※2：事務職員（2名）＋放射線管理員（4名）
- ※3：緊急時対策所の最大収容人数（120名）－本部要員（11名）
- ※4：災害対策員（支隊）（6名）＋作業員（2名）
- ※5：現場指揮者（1名）＋放射線管理員（1名）＋作業員（3名）×2棟

b. 計測器（被ばく管理、汚染管理）

| 品名 | 保管数 | 考え方 |
|------------------|------|---|
| 個人線量計 ポケット線量計 | 140台 | 60名×2箇所（指揮所、待機所）×1.1倍＋余裕 |
| ガラスバッチ | 140台 | 60名×2箇所（指揮所、待機所）×1.1倍＋余裕 |
| GN汚染サーベイメータ | 10台 | チェンジングエリア用6台（汚染検査を行う放射線管理員2名分×2箇所（指揮所、待機所）＋余裕）＋緊急時対策所内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名＋余裕） |
| 電線箱サーベイメータ | 10台 | チェンジングエリア用4台（汚染検査を行う放射線管理員2名分×2箇所（指揮所、待機所））＋緊急時対策所内及び屋外用6台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名＋余裕） |
| 可搬型エリアモニタ | 4台 | 緊急時対策所指揮所2台（1台＋予備1台）＋緊急時対策所待機所2台（1台＋予備1台） |

相違理由

【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)

【大飯】【女川】記載内容の相違
 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。

【大飯】【女川】記載内容の相違
 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|------|---------------|----------------|---------------------|----|----|-------|----|----|-----|----|----|-------|----|----|---------------|----|----|------------|-------|-------|----------|------|------|-----|----|----|-----------|-----|-----|----------|-----|-----|------|----|----|--------|----|----|-------|----|----|-----------------------|----|----|----|------|----|---|---|--|---|----|------------------|-----|-----------|------------------|---------------------------|-----------|-------------------|-----|------------------|------|-------------------|-------|----|---|----|---------|----|-----|----|-----|------|-----|----|-----|----|-----------|-----|-----|----|------|----|------|----|-----------|------------------|--------|------------------|-------|------------------|-----|----|-----|----|----------|----------|----|------------------|-----|----|--------|--------------------------------|-----------|--------|--|-------|--------|--|------|------|--|--|----|-----|-----|-------|------------------|---------------------------|-----|------------------|------|------------------|-------|-----|----|----|-----|-----|-----------|-----|-------|-----|--------|-----|-----|----|-----------|------|-----|----|------|----|------|----|-----------|------------------|--------|------------------|-------|------------------|-----|----|-----|----|-------|--------------|----|-----|-----|-----|----|----------------------|-----|-----------------------------|-------|----|--|-----|--------|-------------------|
| <p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="2">保管数^{*1}</th> </tr> <tr> <th>緊急時対策所 指押所</th> <th>緊急時対策所 待機場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>エアビーム製チェンジング エリア</td><td>1式</td><td>1式</td></tr> <tr><td>養生シート</td><td>6本</td><td>6本</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>5個</td><td>5個</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>5個</td><td>5個</td></tr> <tr><td>ゴミ箱（スタンション含む）</td><td>7個</td><td>7個</td></tr> <tr><td>ポリ袋（赤・黄・黒）</td><td>各200枚</td><td>各200枚</td></tr> <tr><td>テープ（白・黒）</td><td>各20巻</td><td>各20巻</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td><td>2箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>10個</td><td>10個</td></tr> <tr><td>はさみ・カッター</td><td>各2本</td><td>各2本</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>2本</td><td>2本</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1台</td><td>1台</td></tr> <tr><td>簡易タンク</td><td>1台</td><td>1台</td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化装置 （ダクトを含む）</td><td>1式</td><td>1式</td></tr> </tbody> </table> <p>*1：チェンジングエリア設置に必要な数量</p> <p>(2) 食料等（緊急時対策所）</p> <p>a. 飲料水、食料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食料</td> <td>2,940食^{*1} 指押所には1,680食^{*2}、待機場所には1,260食^{*3}を配備</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>1,470リットル^{*2} 指押所には840リットル^{*4}、待機場所には630リットル^{*5}を配備</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：指押所65名+待機場所41名×3食×7日+余裕 *2：指押所65名+待機場所41名×3食×500ミリリットル×7日+余裕 *3：指押所65名×3食×7日+余裕 *4：指押所65名×3食×500ミリリットル×7日+余裕 *5：待機場所41名×3食×7日+余裕 *6：待機場所41名×3食×500ミリリットル×7日+余裕</p> | 品名 | 保管数 ^{*1} | | 緊急時対策所 指押所 | 緊急時対策所 待機場所 | エアビーム製チェンジング エリア | 1式 | 1式 | 養生シート | 6本 | 6本 | バリア | 5個 | 5個 | 粘着マット | 5個 | 5個 | ゴミ箱（スタンション含む） | 7個 | 7個 | ポリ袋（赤・黄・黒） | 各200枚 | 各200枚 | テープ（白・黒） | 各20巻 | 各20巻 | ウエス | 2箱 | 2箱 | ウェットティッシュ | 10個 | 10個 | はさみ・カッター | 各2本 | 各2本 | マジック | 2本 | 2本 | 簡易シャワー | 1台 | 1台 | 簡易タンク | 1台 | 1台 | 可搬型空気浄化装置 （ダクトを含む） | 1式 | 1式 | 品名 | 保管数量 | 食料 | 2,940食 ^{*1} 指押所には1,680食 ^{*2} 、待機場所には1,260食 ^{*3} を配備 | 水 | 1,470リットル ^{*2} 指押所には840リットル ^{*4} 、待機場所には630リットル ^{*5} を配備 | <p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>養生シート（床用）</td><td>8巻^{※1}</td><td rowspan="20">チェンジングエリア設置 及び補修に必要な数量</td></tr> <tr><td>養生シート（壁用）</td><td>12巻^{※2}</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>9個^{※3}</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>24枚^{※4}</td></tr> <tr><td>積層シート</td><td>3枚</td></tr> <tr><td>棚</td><td>2台</td></tr> <tr><td>ヘルメット掛け</td><td>1台</td></tr> <tr><td>ゴミ箱</td><td>7個</td></tr> <tr><td>ポリ袋</td><td>100枚</td></tr> <tr><td>テープ</td><td>5巻</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>50個</td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>3個</td></tr> <tr><td>カッター</td><td>3個</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>3本</td></tr> <tr><td>除染エリア用ハウス</td><td>1式^{※5}</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1台^{※6}</td></tr> <tr><td>簡易タンク</td><td>1台^{※7}</td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>2個</td></tr> <tr><td>乾電池内蔵型照明</td><td>6台（予備1台）</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 仕様 1,800mm×50m/巻 ※2 仕様 2,100mm×25m/巻 ※3 仕様 900mm×240mm×235mm/個（アルミ製） ※4 仕様 1,200mm×900mm×23mm/枚（アルミ製） ※5 仕様 1,100mm×1,100mm×1,950mm/式（折りたたみ式、布製） ※6 仕様 タンク容量7.5リットル（手動ポンプ式） ※7 仕様 タンク容量20リットル（ポリタンク） ※8 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> <p>d. 食糧等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食糧</td> <td>2,100食</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×3食</td> </tr> <tr> <td>飲料水（1.5リ）</td> <td>1,400本</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×2本（1.5リ） （1本）</td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>4,900個</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（7日/1日×7日） =4,900個</td> </tr> <tr> <td>コウモリ</td> <td>800錠</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（7日/1日×7日） =800錠</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> | 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | 養生シート（床用） | 8巻 ^{※1} | チェンジングエリア設置 及び補修に必要な数量 | 養生シート（壁用） | 12巻 ^{※2} | バリア | 9個 ^{※3} | フェンス | 24枚 ^{※4} | 積層シート | 3枚 | 棚 | 2台 | ヘルメット掛け | 1台 | ゴミ箱 | 7個 | ポリ袋 | 100枚 | テープ | 5巻 | ウエス | 2箱 | ウェットティッシュ | 50個 | はさみ | 3個 | カッター | 3個 | マジック | 3本 | 除染エリア用ハウス | 1式 ^{※5} | 簡易シャワー | 1台 ^{※6} | 簡易タンク | 1台 ^{※7} | トレイ | 1個 | バケツ | 2個 | 乾電池内蔵型照明 | 6台（予備1台） | 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | 食糧 | 2,100食 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×3食 | 飲料水（1.5リ） | 1,400本 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×2本（1.5リ） （1本） | 簡易トイレ | 4,900個 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（7日/1日×7日） =4,900個 | コウモリ | 800錠 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（7日/1日×7日） =800錠 | <p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>養生シート</td><td>6巻^{※1}</td><td rowspan="18">チェンジングエリア設置及び 補修に必要な数量</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>6個^{※2}</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>2個^{※3}</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>20枚</td></tr> <tr><td>靴箱</td><td>2台</td></tr> <tr><td>回収箱</td><td>18個</td></tr> <tr><td>透明ロール袋（大）</td><td>20巻</td></tr> <tr><td>養生テープ</td><td>40巻</td></tr> <tr><td>作業用テープ</td><td>20巻</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>200個</td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>4本</td></tr> <tr><td>カッター</td><td>4本</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>6本</td></tr> <tr><td>除染エリア用ハウス</td><td>2個^{※4}</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>2個^{※5}</td></tr> <tr><td>ポリタンク</td><td>2個^{※6}</td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>2個</td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>2個</td></tr> <tr><td>可搬型照明</td><td>4台 （予備2台）</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：仕様 1,800mm×30m/巻（透明・ビニル・黄） ※2：仕様 600mm（750mm, 900mm）×100mm/個（アルミ製） ※3：仕様 600mm×900mm/個（アルミ製） ※4：仕様 1,120mm×1,120mm×2,000mm/個（布付型、不燃シート製） ※5：仕様 タンク容量7.5リットル（手動ポンプ式） ※6：仕様 タンク容量20リットル（ポリタンク）</p> <p>d. 食料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">食料等</td> <td>食料</td> <td>2,520食 120名×3食×7日</td> </tr> <tr> <td>飲料水</td> <td>1,680L 120名×0.5L/本×4本×7日</td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>2式</td> <td>ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要 がないように、簡易トイレを配備する。</td> </tr> <tr> <td>安定剤</td> <td>2,000錠</td> <td>120名×2錠/人/日×7日+余裕</td> </tr> </tbody> </table> <p>【大阪】【女川】記載内容の相違 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大阪】【女川】記載内容の相違 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。</p> | 品名 | 保管数 | 考え方 | 養生シート | 6巻 ^{※1} | チェンジングエリア設置及び 補修に必要な数量 | バリア | 6個 ^{※2} | フェンス | 2個 ^{※3} | 粘着マット | 20枚 | 靴箱 | 2台 | 回収箱 | 18個 | 透明ロール袋（大） | 20巻 | 養生テープ | 40巻 | 作業用テープ | 20巻 | ウエス | 2箱 | ウェットティッシュ | 200個 | はさみ | 4本 | カッター | 4本 | マジック | 6本 | 除染エリア用ハウス | 2個 ^{※4} | 簡易シャワー | 2個 ^{※5} | ポリタンク | 2個 ^{※6} | トレイ | 2個 | バケツ | 2個 | 可搬型照明 | 4台 （予備2台） | 品名 | 保管数 | 考え方 | 食料等 | 食料 | 2,520食 120名×3食×7日 | 飲料水 | 1,680L 120名×0.5L/本×4本×7日 | 簡易トイレ | 2式 | ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要 がないように、簡易トイレを配備する。 | 安定剤 | 2,000錠 | 120名×2錠/人/日×7日+余裕 |
| 品名 | | 保管数 ^{*1} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 緊急時対策所 指押所 | 緊急時対策所 待機場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エアビーム製チェンジング エリア | 1式 | 1式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート | 6本 | 6本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バリア | 5個 | 5個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 粘着マット | 5個 | 5個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴミ箱（スタンション含む） | 7個 | 7個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリ袋（赤・黄・黒） | 各200枚 | 各200枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テープ（白・黒） | 各20巻 | 各20巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウエス | 2箱 | 2箱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウェットティッシュ | 10個 | 10個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はさみ・カッター | 各2本 | 各2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マジック | 2本 | 2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易シャワー | 1台 | 1台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易タンク | 1台 | 1台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型空気浄化装置 （ダクトを含む） | 1式 | 1式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食料 | 2,940食 ^{*1} 指押所には1,680食 ^{*2} 、待機場所には1,260食 ^{*3} を配備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水 | 1,470リットル ^{*2} 指押所には840リットル ^{*4} 、待機場所には630リットル ^{*5} を配備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート（床用） | 8巻 ^{※1} | チェンジングエリア設置 及び補修に必要な数量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート（壁用） | 12巻 ^{※2} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バリア | 9個 ^{※3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フェンス | 24枚 ^{※4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 積層シート | 3枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 棚 | 2台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヘルメット掛け | 1台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴミ箱 | 7個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリ袋 | 100枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テープ | 5巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウエス | 2箱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウェットティッシュ | 50個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はさみ | 3個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カッター | 3個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マジック | 3本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 除染エリア用ハウス | 1式 ^{※5} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易シャワー | 1台 ^{※6} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易タンク | 1台 ^{※7} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレイ | 1個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バケツ | 2個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乾電池内蔵型照明 | 6台（予備1台） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食糧 | 2,100食 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×3食 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 飲料水（1.5リ） | 1,400本 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×2本（1.5リ） （1本） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ | 4,900個 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（7日/1日×7日） =4,900個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コウモリ | 800錠 | 100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（7日/1日×7日） =800錠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート | 6巻 ^{※1} | チェンジングエリア設置及び 補修に必要な数量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バリア | 6個 ^{※2} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フェンス | 2個 ^{※3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 粘着マット | 20枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 靴箱 | 2台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回収箱 | 18個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 透明ロール袋（大） | 20巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生テープ | 40巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 作業用テープ | 20巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウエス | 2箱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウェットティッシュ | 200個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はさみ | 4本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カッター | 4本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マジック | 6本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 除染エリア用ハウス | 2個 ^{※4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易シャワー | 2個 ^{※5} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリタンク | 2個 ^{※6} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレイ | 2個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バケツ | 2個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明 | 4台 （予備2台） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食料等 | 食料 | 2,520食 120名×3食×7日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 飲料水 | 1,680L 120名×0.5L/本×4本×7日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ | 2式 | ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要 がないように、簡易トイレを配備する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 安定剤 | 2,000錠 | 120名×2錠/人/日×7日+余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|------|------------|-----|---|------|-------|--|------|------|----------|---|------|------|---------|---|----|---|-------|--------------------------------------|----|----|-------|---|----|----|--|----|------|-----|-------|----|--|----------|----|--|--------------|----|-----------------|---------------|----|-------------------------|---|----|-----|-----|---------------|----|---|-------|----|-----------------------------|--------------|----|------------------------------------|---------------|----|
| b. その他の資機材 | | e. その他の資機材 | | e. その他の資機材 | | 【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映) 【大飯】【女川】記載内容の相違 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">仕様等</th> <th colspan="2">台数</th> </tr> <tr> <th>指揮所</th> <th>待機場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸素濃度計</td> <td> ・測定範囲：0～25% ・測定精度：±0.5%(0.0～25.0%) 【メーカー値】 ・電源：乾電池（単3形電池）2本【約1年（無警報時）】 ・検知原理：ガルバニ電池式 ・管理目標：1.9%以上 </td> <td>2台*1</td> <td>2台*1</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計</td> <td> ・測定範囲：0～1%*2 ・測定精度：±3% F. S（同一条件） ・電源：乾電池（単3形電池）4本 ・測定方式：非分散型赤外線吸収法（NDIR Non Dispersive InfraRed）センサ ・管理目標：1.0%以下 </td> <td>2台*1</td> <td>2台*1</td> </tr> <tr> <td>プロジェクター</td> <td>緊急時対策所内の要員が必要な情報の共有を行いやすいよう、資料等を表示するプロジェクターを配備する。</td> <td>1台</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型照明</td> <td> ・バッテリー式 ・光源：LED ・連続点灯時間：10時間以上 </td> <td>2台</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要がないように、連続使用可能な簡易トイレを配備する。</td> <td>1式</td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：予備各1台を含む *2：0～5%の範囲で測定可能（カタログ値）</p> | 名称 | 仕様等 | 台数 | | 指揮所 | | 待機場所 | 酸素濃度計 | ・測定範囲：0～25% ・測定精度：±0.5%(0.0～25.0%) 【メーカー値】 ・電源：乾電池（単3形電池）2本【約1年（無警報時）】 ・検知原理：ガルバニ電池式 ・管理目標：1.9%以上 | 2台*1 | 2台*1 | 二酸化炭素濃度計 | ・測定範囲：0～1%*2 ・測定精度：±3% F. S（同一条件） ・電源：乾電池（単3形電池）4本 ・測定方式：非分散型赤外線吸収法（NDIR Non Dispersive InfraRed）センサ ・管理目標：1.0%以下 | 2台*1 | 2台*1 | プロジェクター | 緊急時対策所内の要員が必要な情報の共有を行いやすいよう、資料等を表示するプロジェクターを配備する。 | 1台 | — | 可搬型照明 | ・バッテリー式 ・光源：LED ・連続点灯時間：10時間以上 | 2台 | 2台 | 簡易トイレ | ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要がないように、連続使用可能な簡易トイレを配備する。 | 1式 | 1式 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸素濃度計</td> <td>2台</td> <td>1台（故障時及び保守点検による待機時外時のバックアップ用として予備1台を保有する。）</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計</td> <td>2台</td> <td>1台（故障時及び保守点検による待機時外時のバックアップ用として予備1台を保有する。）</td> </tr> <tr> <td>一般テレビ（回線、機器）</td> <td>1式</td> <td>報道や気象情報等を入力するため</td> </tr> <tr> <td>社内パソコン（回線、機器）</td> <td>1式</td> <td>社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：予備を含む（予備、訓練等で見直しを行う。）</p> | 品名 | 保管数* | 考え方 | 酸素濃度計 | 2台 | 1台（故障時及び保守点検による待機時外時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | 二酸化炭素濃度計 | 2台 | 1台（故障時及び保守点検による待機時外時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | 一般テレビ（回線、機器） | 1式 | 報道や気象情報等を入力するため | 社内パソコン（回線、機器） | 1式 | 社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため | <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸素濃度・二酸化炭素濃度計</td> <td>4台</td> <td>緊急時対策所指揮所2台（予備1台を含む。） +緊急時対策所待機所2台（予備1台を含む。）</td> </tr> <tr> <td>可搬型照明</td> <td>8台</td> <td>緊急時対策所指揮所4台 +緊急時対策所待機所4台</td> </tr> <tr> <td>一般テレビ（回線、機器）</td> <td>1式</td> <td>報道や気象情報等を入力するため、一般テレビ（回線、機器）を配備する。</td> </tr> <tr> <td>社内パソコン（回線、機器）</td> <td>1式</td> <td>社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ（社内回線）を整備する。</td> </tr> </tbody> </table> | 品名 | 保管数 | 考え方 | 酸素濃度・二酸化炭素濃度計 | 4台 | 緊急時対策所指揮所2台（予備1台を含む。） +緊急時対策所待機所2台（予備1台を含む。） | 可搬型照明 | 8台 | 緊急時対策所指揮所4台 +緊急時対策所待機所4台 | 一般テレビ（回線、機器） | 1式 | 報道や気象情報等を入力するため、一般テレビ（回線、機器）を配備する。 | 社内パソコン（回線、機器） | 1式 |
| 名称 | | | 仕様等 | 台数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 指揮所 | 待機場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酸素濃度計 | ・測定範囲：0～25% ・測定精度：±0.5%(0.0～25.0%) 【メーカー値】 ・電源：乾電池（単3形電池）2本【約1年（無警報時）】 ・検知原理：ガルバニ電池式 ・管理目標：1.9%以上 | 2台*1 | 2台*1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二酸化炭素濃度計 | ・測定範囲：0～1%*2 ・測定精度：±3% F. S（同一条件） ・電源：乾電池（単3形電池）4本 ・測定方式：非分散型赤外線吸収法（NDIR Non Dispersive InfraRed）センサ ・管理目標：1.0%以下 | 2台*1 | 2台*1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プロジェクター | 緊急時対策所内の要員が必要な情報の共有を行いやすいよう、資料等を表示するプロジェクターを配備する。 | 1台 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明 | ・バッテリー式 ・光源：LED ・連続点灯時間：10時間以上 | 2台 | 2台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ | ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要がないように、連続使用可能な簡易トイレを配備する。 | 1式 | 1式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数* | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酸素濃度計 | 2台 | 1台（故障時及び保守点検による待機時外時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二酸化炭素濃度計 | 2台 | 1台（故障時及び保守点検による待機時外時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般テレビ（回線、機器） | 1式 | 報道や気象情報等を入力するため | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社内パソコン（回線、機器） | 1式 | 社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酸素濃度・二酸化炭素濃度計 | 4台 | 緊急時対策所指揮所2台（予備1台を含む。） +緊急時対策所待機所2台（予備1台を含む。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明 | 8台 | 緊急時対策所指揮所4台 +緊急時対策所待機所4台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般テレビ（回線、機器） | 1式 | 報道や気象情報等を入力するため、一般テレビ（回線、機器）を配備する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 社内パソコン（回線、機器） | 1式 | 社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため、社内用パソコンを配備するとともに、必要なインフラ（社内回線）を整備する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---------|-----------------|---|---------------|---|------------------|---|--|-----|--|-----------------|---|--|---|--------------------|--------------------|---------------------------------------|------------------------------|----------------|--------------------------|--|---------------|---|-----|--|-----------------|---|--|---|-----------------|--------------------|---------------------------------------|------------------------------|---------------------|----------------------|--|---------------|--------------------------------|---|
| <p>(3) 原子力災害対策活動で使用する主な資料</p> <table border="1" data-bbox="91 231 633 906"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>資料名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 組織及び体制に関する資料</td> <td>(1)緊急時対応組織資料 ① 大阪発電所原子力事業者防災業務計画 ② 大阪発電所原子炉施設保安規定 ③ 原子力防災規程 ④ 非常時の措置通達 ⑤ 原子力防災業務要綱 ⑥ 大阪発電所事故時操作手順 ⑦ 大阪発電所重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 ⑧ 大阪発電所大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 (2)緊急時通信連絡体制資料 ① 原子力防災組織要員名簿等</td> </tr> <tr> <td>2. 社会環境に関する資料</td> <td>(1)大阪発電所周辺人口関連資料 ① 方位別人口分布図 ② 集落別人口分布図 ③ 市町村人口表 (2)大阪発電所周辺環境資料 ① 発電所周辺航空写真 ② 発電所周辺地図（2万5千分の1） ③ 発電所周辺地図（5万分の1） ④ 市町村市街図</td> </tr> <tr> <td>3. 放射能影響測定に関する資料</td> <td>(1)大阪発電所象徴関係資料 ① 気象観測データ (2)緊急モニタリング資料 ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ (3)大阪発電所設備資料 ① 主要系統模式図 ② 原子炉設置（変更）許可申請書 ③ 系統図 ④ プラント配置図 ⑤ プラント関係プロセス及び放射線計測配置図 ⑥ プラント主要設備概要 ⑦ 原子炉安全保護系ロジック一覧表</td> </tr> </tbody> </table> | 種別 | 資料名 | 1. 組織及び体制に関する資料 | (1)緊急時対応組織資料 ① 大阪発電所原子力事業者防災業務計画 ② 大阪発電所原子炉施設保安規定 ③ 原子力防災規程 ④ 非常時の措置通達 ⑤ 原子力防災業務要綱 ⑥ 大阪発電所事故時操作手順 ⑦ 大阪発電所重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 ⑧ 大阪発電所大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 (2)緊急時通信連絡体制資料 ① 原子力防災組織要員名簿等 | 2. 社会環境に関する資料 | (1)大阪発電所周辺人口関連資料 ① 方位別人口分布図 ② 集落別人口分布図 ③ 市町村人口表 (2)大阪発電所周辺環境資料 ① 発電所周辺航空写真 ② 発電所周辺地図（2万5千分の1） ③ 発電所周辺地図（5万分の1） ④ 市町村市街図 | 3. 放射能影響測定に関する資料 | (1)大阪発電所象徴関係資料 ① 気象観測データ (2)緊急モニタリング資料 ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ (3)大阪発電所設備資料 ① 主要系統模式図 ② 原子炉設置（変更）許可申請書 ③ 系統図 ④ プラント配置図 ⑤ プラント関係プロセス及び放射線計測配置図 ⑥ プラント主要設備概要 ⑦ 原子炉安全保護系ロジック一覧表 | <p>(2) 緊急時対策所に配備する原子力災害対策活動で使用する主な資料</p> <table border="1" data-bbox="669 231 1211 762"> <thead> <tr> <th>資料名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地域地図（1/25,000） ② 発電所周辺地域地図（1/50,000）</td> </tr> <tr> <td>2. 発電所周辺航空写真パネル</td> </tr> <tr> <td>3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ</td> </tr> <tr> <td>4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ</td> </tr> <tr> <td>5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 ④ 市町村市街図</td> </tr> <tr> <td>6. 発電所主要系統模式図（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>7. 原子炉設置許可申請書（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図</td> </tr> <tr> <td>9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>10. プラント主要設備概要</td> </tr> <tr> <td>11. 原子炉安全保護系ロジック一覧表（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画</td> </tr> <tr> <td>13. 事故時操作手順書類</td> </tr> </tbody> </table> | 資料名 | 1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地域地図（1/25,000） ② 発電所周辺地域地図（1/50,000） | 2. 発電所周辺航空写真パネル | 3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ | 4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ | 5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 ④ 市町村市街図 | 6. 発電所主要系統模式図（各号炉） | 7. 原子炉設置許可申請書（各号炉） | 8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図 | 9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉） | 10. プラント主要設備概要 | 11. 原子炉安全保護系ロジック一覧表（各号炉） | 12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画 | 13. 事故時操作手順書類 | <p>(2) 緊急時対策所に配備する原子力災害対策活動で使用する主な資料</p> <table border="1" data-bbox="1247 231 1789 965"> <thead> <tr> <th>資料名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地図（1/25,000） ② 発電所周辺地図（1/50,000）</td> </tr> <tr> <td>2. 発電所周辺航空写真パネル</td> </tr> <tr> <td>3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ</td> </tr> <tr> <td>4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ</td> </tr> <tr> <td>5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表</td> </tr> <tr> <td>6. 主要系統模式図（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>7. 原子炉設置許可申請書（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図</td> </tr> <tr> <td>9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>10. プラント主要設備概要（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>11. 総合インターロック線図（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画</td> </tr> <tr> <td>13. 運転要領緊急処置編</td> </tr> <tr> <td>14. 重大事故等および大規模損壊対応要領（各対応手順含む）</td> </tr> </tbody> </table> | 資料名 | 1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地図（1/25,000） ② 発電所周辺地図（1/50,000） | 2. 発電所周辺航空写真パネル | 3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ | 4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ | 5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 | 6. 主要系統模式図（各号炉） | 7. 原子炉設置許可申請書（各号炉） | 8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図 | 9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉） | 10. プラント主要設備概要（各号炉） | 11. 総合インターロック線図（各号炉） | 12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画 | 13. 運転要領緊急処置編 | 14. 重大事故等および大規模損壊対応要領（各対応手順含む） | <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映）</p> <p>【大阪】【女川】記載内容の相違 ・発電所ごとに配備する資料に多少の相違はあるが、原子力災害対策活動で使用する資料を緊急時対策所に配備する方針に相違はない。</p> |
| 種別 | 資料名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 組織及び体制に関する資料 | (1)緊急時対応組織資料 ① 大阪発電所原子力事業者防災業務計画 ② 大阪発電所原子炉施設保安規定 ③ 原子力防災規程 ④ 非常時の措置通達 ⑤ 原子力防災業務要綱 ⑥ 大阪発電所事故時操作手順 ⑦ 大阪発電所重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 ⑧ 大阪発電所大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 (2)緊急時通信連絡体制資料 ① 原子力防災組織要員名簿等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 社会環境に関する資料 | (1)大阪発電所周辺人口関連資料 ① 方位別人口分布図 ② 集落別人口分布図 ③ 市町村人口表 (2)大阪発電所周辺環境資料 ① 発電所周辺航空写真 ② 発電所周辺地図（2万5千分の1） ③ 発電所周辺地図（5万分の1） ④ 市町村市街図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 放射能影響測定に関する資料 | (1)大阪発電所象徴関係資料 ① 気象観測データ (2)緊急モニタリング資料 ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ (3)大阪発電所設備資料 ① 主要系統模式図 ② 原子炉設置（変更）許可申請書 ③ 系統図 ④ プラント配置図 ⑤ プラント関係プロセス及び放射線計測配置図 ⑥ プラント主要設備概要 ⑦ 原子炉安全保護系ロジック一覧表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資料名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地域地図（1/25,000） ② 発電所周辺地域地図（1/50,000） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 発電所周辺航空写真パネル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 ④ 市町村市街図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 発電所主要系統模式図（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 原子炉設置許可申請書（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10. プラント主要設備概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11. 原子炉安全保護系ロジック一覧表（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13. 事故時操作手順書類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資料名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地図（1/25,000） ② 発電所周辺地図（1/50,000） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 発電所周辺航空写真パネル | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 主要系統模式図（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 原子炉設置許可申請書（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10. プラント主要設備概要（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11. 総合インターロック線図（各号炉） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13. 運転要領緊急処置編 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14. 重大事故等および大規模損壊対応要領（各対応手順含む） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------------------|--|------|---------------|-----------------|------------------------------------|------|-----------------|---------------------------|----|-----------------|---------------------------|-----|------------------|---------------------------|------|------------------|-------------------------------|-------|---------------|---------------------------|-------|-----------------|---------------------------|------|------------------|---------------------------|----|---------------|---|----------|-------------|---|------------------|-----------------|---------------------------|----|-----|----|-------|------------------|----------------|------------------|--------------|----------------------------------|----------------|--------------|-------------------|--|----|------|-----|-------|-------|-----------------------|------------|-------|-----------------------|----|-------|-----------------------|----|-------|-----------------------|-----|-------|-----------------------|------|-------|---------|-------|------|-----------------|--------------|-----|-----------------|------------------------------|------|-----------------------|--------------------------|---------|-----------------------|----------------|--------|---------------------------|--------|-----|---------------------------|--------|-------|---|-----|-------|---------------------------------|-----------|-----|-------------------------|----|------|-----|----------------|------|---------------|----------------|------|---------------|------------------|-----|--|----------------|-----|--|------------|-----|---|---|----|-----|-----|-------|------|--------------------------------|----|------|--------------------------------|----|------|--------------------------------|-----|------|--------------------------------|------|-------|------------------------------------|-------|-------|---|------------|------|------------------------|----------------------------|------|---|---------------------------------|------|------------------------|-------|------|--------------------------------|----|------|-------------------------|-----------------|------|--------------------------------|--------|------|--------------------|----|-----|-----|-------|-----------------------------|--------------------------|--------------|-----|---|------------|-----|---|---|
| <p>(4) 放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等 (B 中央制御室)</p> <p>a. 防護用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>保管数</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚染防護服 (タイベック)</td> <td>46 着(約 6,000 着)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 (2 重化含む)</td> </tr> <tr> <td>汚染帽子</td> <td>23 個(約 6,000 個)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>23 足(約 6,000 足)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>23 双(約 29,000 双)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>46 双(約 27,000 双)</td> <td>運転員等 12 名×2 回×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>23 着(約 700 着)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>23 個(約 1,600 個)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>靴カバー</td> <td>23 足 (約 6,000 足)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>長靴</td> <td>10 足(約 300 足)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット</td> <td>2 台(約 70 台)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>交換カートリッジ (2 個/組)</td> <td>23 組(約 3,000 個)</td> <td>運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：初動対応時に運転員は中央制御室保管の防護用資機材を使用。 () 内は構内保管数。1 週間分の防護用資機材は構内保管分を使用。</p> <p>b. 計測器 (被ばく管理・除染管理)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>保管数</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>23 台 (約 2,900 台)</td> <td>運転員等 12 名 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度測定用サーベイメータ</td> <td>2 台 (約 60 台)</td> <td>中央制御室内等のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用</td> </tr> <tr> <td>ガンマ線測定用サーベイメータ</td> <td>2 台 (約 60 台)</td> <td>中央制御室内等のモニタリングに使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：() 内は構内保管数。</p> | 名称 | 保管数 | 根拠 | 汚染防護服 (タイベック) | 46 着(約 6,000 着) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 (2 重化含む) | 汚染帽子 | 23 個(約 6,000 個) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | 靴下 | 23 足(約 6,000 足) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | 綿手袋 | 23 双(約 29,000 双) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | ゴム手袋 | 46 双(約 27,000 双) | 運転員等 12 名×2 回×1 回 (初動対応) + 余裕 | アノラック | 23 着(約 700 着) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | 全面マスク | 23 個(約 1,600 個) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | 靴カバー | 23 足 (約 6,000 足) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | 長靴 | 10 足(約 300 足) | - | セルフエアセット | 2 台(約 70 台) | - | 交換カートリッジ (2 個/組) | 23 組(約 3,000 個) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | 名称 | 保管数 | 根拠 | 個人線量計 | 23 台 (約 2,900 台) | 運転員等 12 名 + 余裕 | 表面汚染密度測定用サーベイメータ | 2 台 (約 60 台) | 中央制御室内等のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用 | ガンマ線測定用サーベイメータ | 2 台 (約 60 台) | 中央制御室内等のモニタリングに使用 | <p>(3) 中央制御室に保管する放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等</p> <p>a. 防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイベック</td> <td>147 着</td> <td>2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日</td> </tr> <tr> <td>手着 (上下セット)</td> <td>147 着</td> <td>2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>147 個</td> <td>2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>147 足</td> <td>2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>147 双</td> <td>2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>294 双</td> <td>147 双×2</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>42 個</td> <td>2 号炉運転員 7 名×6 日</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付き全面マスク</td> <td>7 個</td> <td>2 号炉運転員 7 名×1 日</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付き全面マスク用フィルター (2 個/セット)</td> <td>35 個</td> <td>2 号炉運転員 7 名×5 回/日×1 日</td> </tr> <tr> <td>マスク用チャコールフィルター (2 個/セット)</td> <td>147 セット</td> <td>2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日</td> </tr> <tr> <td>UV スーツ (上下セット)</td> <td>74 セット</td> <td>2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日×50%</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴</td> <td>8 足</td> <td>2 号炉運転員のうち現場作業員 2 名×2 脚×2</td> </tr> <tr> <td>自動式呼吸器</td> <td>4 セット</td> <td>初心損傷後における原子炉格納容器フィルターベント系による放射性汚染源熱 (現場作業) 対応者 2 名×半組 2</td> </tr> <tr> <td>耐熱用</td> <td>3 セット</td> <td>インターフェイスシステム (0.3 対応者 2 名×半組 1)</td> </tr> <tr> <td>タンクステンベスト</td> <td>4 着</td> <td>2 号炉運転員のうち現場作業員 2 名×2 脚</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む (今後、訓練等で見直しを行う。)</p> <p>b. 計測器 (被ばく管理, 汚染管理)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計 (電子式線量計)</td> <td>14 台</td> <td>2 号炉運転員 7 名×2</td> </tr> <tr> <td>個人線量計 (ガラスバッジ)</td> <td>14 台</td> <td>2 号炉運転員 7 名×2</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度測定用サーベイメータ</td> <td>4 台</td> <td>チェンジングエリア用 2 台 (緑化サーベイを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) + 中央制御室内用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕)</td> </tr> <tr> <td>ガンマ線測定用サーベイメータ</td> <td>4 台</td> <td>チェンジングエリア用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) + 中央制御室内用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕)</td> </tr> <tr> <td>可燃性サーベイメータ</td> <td>4 台</td> <td>中央制御室内 2 台 (1 台 + 余裕) + 待機室内 2 台 (1 台 + 余裕)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む (今後、訓練等で見直しを行う。)</p> | 品名 | 保管数* | 考え方 | タイベック | 147 着 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | 手着 (上下セット) | 147 着 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | 帽子 | 147 個 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | 靴下 | 147 足 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | 綿手袋 | 147 双 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | ゴム手袋 | 294 双 | 147 双×2 | 全面マスク | 42 個 | 2 号炉運転員 7 名×6 日 | 電動ファン付き全面マスク | 7 個 | 2 号炉運転員 7 名×1 日 | 電動ファン付き全面マスク用フィルター (2 個/セット) | 35 個 | 2 号炉運転員 7 名×5 回/日×1 日 | マスク用チャコールフィルター (2 個/セット) | 147 セット | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | UV スーツ (上下セット) | 74 セット | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日×50% | 汚染区域用靴 | 8 足 | 2 号炉運転員のうち現場作業員 2 名×2 脚×2 | 自動式呼吸器 | 4 セット | 初心損傷後における原子炉格納容器フィルターベント系による放射性汚染源熱 (現場作業) 対応者 2 名×半組 2 | 耐熱用 | 3 セット | インターフェイスシステム (0.3 対応者 2 名×半組 1) | タンクステンベスト | 4 着 | 2 号炉運転員のうち現場作業員 2 名×2 脚 | 品名 | 保管数* | 考え方 | 個人線量計 (電子式線量計) | 14 台 | 2 号炉運転員 7 名×2 | 個人線量計 (ガラスバッジ) | 14 台 | 2 号炉運転員 7 名×2 | 表面汚染密度測定用サーベイメータ | 4 台 | チェンジングエリア用 2 台 (緑化サーベイを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) + 中央制御室内用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) | ガンマ線測定用サーベイメータ | 4 台 | チェンジングエリア用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) + 中央制御室内用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) | 可燃性サーベイメータ | 4 台 | 中央制御室内 2 台 (1 台 + 余裕) + 待機室内 2 台 (1 台 + 余裕) | <p>(3) 中央制御室に保管する放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等</p> <p>a. 防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイベック</td> <td>50 着</td> <td>21 名^{※1}×1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>50 個</td> <td>21 名^{※1}×1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>50 足</td> <td>21 名^{※1}×1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>50 双</td> <td>21 名^{※1}×1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>100 双</td> <td>21 名^{※1}×1.5 倍×2 重 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>100 個</td> <td>21 名^{※1}×2 回分 (中央制御室内での着用分) × 1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク</td> <td>10 個</td> <td>8 名^{※2} + 余裕</td> </tr> <tr> <td>全面マスク用チャコールフィルター (2 個/セット)</td> <td>20 個</td> <td>21 名^{※1}×2 個×2 回分 (中央制御室内での着用分) × 1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク用チャコールフィルター (1 個/セット)</td> <td>10 個</td> <td>8 名^{※2} + 余裕</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>50 着</td> <td>21 名^{※1}×1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>長靴</td> <td>30 足</td> <td>21 名^{※1} + 余裕</td> </tr> <tr> <td>オーバーシューズ (靴カバー)</td> <td>50 足</td> <td>21 名^{※1}×1.5 倍 + 余裕</td> </tr> <tr> <td>自動式呼吸器</td> <td>15 台</td> <td>15 名^{※3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：運転員 (6 名) + 災害対策要員 (7 名) + 災害対策要員 (支援) (2 名) + 運転員 (交待要員) (6 名) ※2：運転員 (6 名) + 放射線員 (2 名) ※3：運転員 (6 名) + 災害対策要員 (7 名) + 災害対策要員 (支援) (2 名)</p> <p>b. 計測器 (被ばく管理, 汚染管理)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>ボケット線量計 50 台 ガラスバッジ 50 台</td> <td>31 名×1.5 倍 31 名×1.5 倍</td> </tr> <tr> <td>GN 汚染サーベイメータ</td> <td>3 台</td> <td>チェンジングエリア用 1 台 (汚染検査を行う放射線員 1 名分) + 中央制御室内用 1 台 (中央制御室内の汚染検査用 1 台) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>電線箱サーベイメータ</td> <td>3 台</td> <td>チェンジングエリア用 1 台 (チェンジングエリア内のモニタリング用 1 台) + 中央制御室内用 1 台 (中央制御室内のモニタリング用 1 台) + 余裕</td> </tr> </tbody> </table> | 品名 | 保管数 | 考え方 | タイベック | 50 着 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | 帽子 | 50 個 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | 靴下 | 50 足 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | 綿手袋 | 50 双 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | ゴム手袋 | 100 双 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍×2 重 + 余裕 | 全面マスク | 100 個 | 21 名 ^{※1} ×2 回分 (中央制御室内での着用分) × 1.5 倍 + 余裕 | 電動ファン付きマスク | 10 個 | 8 名 ^{※2} + 余裕 | 全面マスク用チャコールフィルター (2 個/セット) | 20 個 | 21 名 ^{※1} ×2 個×2 回分 (中央制御室内での着用分) × 1.5 倍 + 余裕 | 電動ファン付きマスク用チャコールフィルター (1 個/セット) | 10 個 | 8 名 ^{※2} + 余裕 | アノラック | 50 着 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | 長靴 | 30 足 | 21 名 ^{※1} + 余裕 | オーバーシューズ (靴カバー) | 50 足 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | 自動式呼吸器 | 15 台 | 15 名 ^{※3} | 品名 | 保管数 | 考え方 | 個人線量計 | ボケット線量計 50 台 ガラスバッジ 50 台 | 31 名×1.5 倍 31 名×1.5 倍 | GN 汚染サーベイメータ | 3 台 | チェンジングエリア用 1 台 (汚染検査を行う放射線員 1 名分) + 中央制御室内用 1 台 (中央制御室内の汚染検査用 1 台) + 余裕 | 電線箱サーベイメータ | 3 台 | チェンジングエリア用 1 台 (チェンジングエリア内のモニタリング用 1 台) + 中央制御室内用 1 台 (中央制御室内のモニタリング用 1 台) + 余裕 | <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。 <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。 |
| 名称 | 保管数 | 根拠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汚染防護服 (タイベック) | 46 着(約 6,000 着) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 (2 重化含む) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汚染帽子 | 23 個(約 6,000 個) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 靴下 | 23 足(約 6,000 足) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 綿手袋 | 23 双(約 29,000 双) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴム手袋 | 46 双(約 27,000 双) | 運転員等 12 名×2 回×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アノラック | 23 着(約 700 着) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク | 23 個(約 1,600 個) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 靴カバー | 23 足 (約 6,000 足) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長靴 | 10 足(約 300 足) | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セルフエアセット | 2 台(約 70 台) | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 交換カートリッジ (2 個/組) | 23 組(約 3,000 個) | 運転員等 12 名×1 回 (初動対応) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 保管数 | 根拠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計 | 23 台 (約 2,900 台) | 運転員等 12 名 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表面汚染密度測定用サーベイメータ | 2 台 (約 60 台) | 中央制御室内等のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガンマ線測定用サーベイメータ | 2 台 (約 60 台) | 中央制御室内等のモニタリングに使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数* | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タイベック | 147 着 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 手着 (上下セット) | 147 着 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 帽子 | 147 個 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 靴下 | 147 足 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 綿手袋 | 147 双 | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴム手袋 | 294 双 | 147 双×2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク | 42 個 | 2 号炉運転員 7 名×6 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電動ファン付き全面マスク | 7 個 | 2 号炉運転員 7 名×1 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電動ファン付き全面マスク用フィルター (2 個/セット) | 35 個 | 2 号炉運転員 7 名×5 回/日×1 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マスク用チャコールフィルター (2 個/セット) | 147 セット | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| UV スーツ (上下セット) | 74 セット | 2 号炉運転員 7 名×3 回/日×7 日×50% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汚染区域用靴 | 8 足 | 2 号炉運転員のうち現場作業員 2 名×2 脚×2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自動式呼吸器 | 4 セット | 初心損傷後における原子炉格納容器フィルターベント系による放射性汚染源熱 (現場作業) 対応者 2 名×半組 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐熱用 | 3 セット | インターフェイスシステム (0.3 対応者 2 名×半組 1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タンクステンベスト | 4 着 | 2 号炉運転員のうち現場作業員 2 名×2 脚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数* | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計 (電子式線量計) | 14 台 | 2 号炉運転員 7 名×2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計 (ガラスバッジ) | 14 台 | 2 号炉運転員 7 名×2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表面汚染密度測定用サーベイメータ | 4 台 | チェンジングエリア用 2 台 (緑化サーベイを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) + 中央制御室内用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガンマ線測定用サーベイメータ | 4 台 | チェンジングエリア用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) + 中央制御室内用 2 台 (モニタリングを行う放射線管理員 1 名分 + 余裕) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可燃性サーベイメータ | 4 台 | 中央制御室内 2 台 (1 台 + 余裕) + 待機室内 2 台 (1 台 + 余裕) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タイベック | 50 着 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 帽子 | 50 個 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 靴下 | 50 足 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 綿手袋 | 50 双 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴム手袋 | 100 双 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍×2 重 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク | 100 個 | 21 名 ^{※1} ×2 回分 (中央制御室内での着用分) × 1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電動ファン付きマスク | 10 個 | 8 名 ^{※2} + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク用チャコールフィルター (2 個/セット) | 20 個 | 21 名 ^{※1} ×2 個×2 回分 (中央制御室内での着用分) × 1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電動ファン付きマスク用チャコールフィルター (1 個/セット) | 10 個 | 8 名 ^{※2} + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アノラック | 50 着 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長靴 | 30 足 | 21 名 ^{※1} + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オーバーシューズ (靴カバー) | 50 足 | 21 名 ^{※1} ×1.5 倍 + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自動式呼吸器 | 15 台 | 15 名 ^{※3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計 | ボケット線量計 50 台 ガラスバッジ 50 台 | 31 名×1.5 倍 31 名×1.5 倍 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| GN 汚染サーベイメータ | 3 台 | チェンジングエリア用 1 台 (汚染検査を行う放射線員 1 名分) + 中央制御室内用 1 台 (中央制御室内の汚染検査用 1 台) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電線箱サーベイメータ | 3 台 | チェンジングエリア用 1 台 (チェンジングエリア内のモニタリング用 1 台) + 中央制御室内用 1 台 (中央制御室内のモニタリング用 1 台) + 余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|--|--------------------------------|-------|----|-------------------|-------|----|-----|----|-------|----|---------------|----|------------|-------|----------|------|-----|----|-----------|-----|----------|-----|------|----|--------|----|-------|----|---------------------------|----|--|----|------------------|-----|-----------|------------------|-----------------------|-----------|-------------------|-----|-----|-------|----|-----|----|-----|------|-----|----|-----------|-----|-----|----|------|----|------|----|-----|------------------|------|-------------------|---------|----|---|----|-----------|------------------|--------|------------------|-------|------------------|-----|----|-----|----|-----------|----------|---------------|----|----------|----------|----|------------------|-----|----|------|------------------|--------------|-----|------------------|-------|-----|-----------------------------------|------|-----|-------------------------------------|----|------------------|-----|-------|----|--|----------|----|--|-----------|-----|----------------|---------------|-----|----------------|-------------|----|-----------------------|-------------|-----|----------------|--|----|-----|-----|---------|----|-----------------------|---------------|----|-------|------------------|-----|------------------|-------|-----|--------|----|-----------|-----|-------|-----|-----|----|-----------|-----|-----|----|-----|----|------|----|------|----|------|-------------------|-----------|------------------|--------|------------------|-------|------------------|-----|----|-----|----|-----------|----------|----|------------------|-----|-----|----|------|-------------------------|-----|----|--------------------------------|-----|--------|--------------------------------|----|------------------|-----|---------------|----|-------------------------------------|-----------|----|-------------|-------------|-----|-------------|---------------|-----|-------------|---------------|-----|-------------|--|
| <p>c. 中央制御室チェンジングエリア設管用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>保管数</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>鋼製ボード</td><td>1式</td><td rowspan="15">チェンジングエリア設置に必要な数量</td></tr> <tr><td>養生シート</td><td>6本</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>5個</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>5個</td></tr> <tr><td>ゴミ箱（スターション含む）</td><td>7個</td></tr> <tr><td>ポリ袋（赤・黄・黒）</td><td>各200枚</td></tr> <tr><td>テープ（白・黒）</td><td>各20巻</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>10個</td></tr> <tr><td>はさみ・カッター</td><td>各2本</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>2本</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1台</td></tr> <tr><td>簡易タンク</td><td>1台</td></tr> <tr><td>チェンジングエリア可搬型空気浄化装置（ダクト含む）</td><td>1式</td></tr> </tbody> </table> | 名称 | 保管数 | 根拠 | 鋼製ボード | 1式 | チェンジングエリア設置に必要な数量 | 養生シート | 6本 | バリア | 5個 | 粘着マット | 5個 | ゴミ箱（スターション含む） | 7個 | ポリ袋（赤・黄・黒） | 各200枚 | テープ（白・黒） | 各20巻 | ウエス | 2箱 | ウェットティッシュ | 10個 | はさみ・カッター | 各2本 | マジック | 2本 | 簡易シャワー | 1台 | 簡易タンク | 1台 | チェンジングエリア可搬型空気浄化装置（ダクト含む） | 1式 | <p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>養生シート（床用）</td><td>2巻^{※1}</td><td rowspan="15">チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量</td></tr> <tr><td>養生シート（壁用）</td><td>12巻^{※2}</td></tr> <tr><td>テープ</td><td>20巻</td></tr> <tr><td>積層シート</td><td>6枚</td></tr> <tr><td>ゴミ箱</td><td>7個</td></tr> <tr><td>ポリ袋</td><td>100枚</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>50個</td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>3丁</td></tr> <tr><td>カッター</td><td>3本</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>3本</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>8個^{※3}</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>12枚^{※4}</td></tr> <tr><td>ヘルメット掛け</td><td>2台</td></tr> <tr><td>棚</td><td>2台</td></tr> <tr><td>除染エリア用ハウス</td><td>1式^{※5}</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1台^{※6}</td></tr> <tr><td>ポリタンク</td><td>1台^{※7}</td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>2個</td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化設備</td><td>1台（予備1台）</td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化設備用ダクト</td><td>1式</td></tr> <tr><td>乾電池内蔵型照明</td><td>4台（予備1台）</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 仕様 1,800mm×50m/巻 ※2 仕様 2,100mm×25m/巻 ※3 仕様 900mm×240mm×235mm/個（アルミ製） ※4 仕様 1,200mm×900mm×25mm/枚（アルミ製） ※5 仕様 1,100mm×1,100mm×1,950mm/式（折たたみ式、布製） ※6 仕様 タンク容量7.5リットル（手動ポンプ式） ※7 仕様 タンク容量20リットル（ポリタンク） ※8 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> <p>d. 食糧等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>食糧</td><td>147食</td><td>7名（2号炉運転員）×7日×3食</td></tr> <tr><td>飲料水（1.5リットル）</td><td>98本</td><td>7名（2号炉運転員）×7日×2本</td></tr> <tr><td>簡易トイレ</td><td>30個</td><td>7名（2号炉運転員）×3回/10時間（放射線防護中）1→予備30個</td></tr> <tr><td>リウ薬箱</td><td>56錠</td><td>7名（2号炉運転員）×1初日2錠+2日目以降1錠/1日×8日）×56錠</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> <p>e. その他資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>酸素濃度計</td><td>2台</td><td>1台（放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備1台を保有する。）</td></tr> <tr><td>二酸化炭素濃度計</td><td>2台</td><td>1台（放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備1台を保有する。）</td></tr> <tr><td>可搬型照明（SA）</td><td>10個</td><td>2号炉運転員7名分+予備3個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（ヘッドライト）</td><td>10個</td><td>2号炉運転員7名分+予備3個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（ランタン）</td><td>3個</td><td>発電員1個+発電員1個+運転員1個+予備1</td></tr> <tr><td>可搬型照明（懐中電灯）</td><td>10個</td><td>2号炉運転員7名分+予備3個</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> | 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | 養生シート（床用） | 2巻 ^{※1} | チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量 | 養生シート（壁用） | 12巻 ^{※2} | テープ | 20巻 | 積層シート | 6枚 | ゴミ箱 | 7個 | ポリ袋 | 100枚 | ウエス | 2箱 | ウェットティッシュ | 50個 | はさみ | 3丁 | カッター | 3本 | マジック | 3本 | バリア | 8個 ^{※3} | フェンス | 12枚 ^{※4} | ヘルメット掛け | 2台 | 棚 | 2台 | 除染エリア用ハウス | 1式 ^{※5} | 簡易シャワー | 1台 ^{※6} | ポリタンク | 1台 ^{※7} | トレイ | 1個 | バケツ | 2個 | 可搬型空気浄化設備 | 1台（予備1台） | 可搬型空気浄化設備用ダクト | 1式 | 乾電池内蔵型照明 | 4台（予備1台） | 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | 食糧 | 147食 | 7名（2号炉運転員）×7日×3食 | 飲料水（1.5リットル） | 98本 | 7名（2号炉運転員）×7日×2本 | 簡易トイレ | 30個 | 7名（2号炉運転員）×3回/10時間（放射線防護中）1→予備30個 | リウ薬箱 | 56錠 | 7名（2号炉運転員）×1初日2錠+2日目以降1錠/1日×8日）×56錠 | 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | 酸素濃度計 | 2台 | 1台（放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | 二酸化炭素濃度計 | 2台 | 1台（放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | 可搬型照明（SA） | 10個 | 2号炉運転員7名分+予備3個 | 可搬型照明（ヘッドライト） | 10個 | 2号炉運転員7名分+予備3個 | 可搬型照明（ランタン） | 3個 | 発電員1個+発電員1個+運転員1個+予備1 | 可搬型照明（懐中電灯） | 10個 | 2号炉運転員7名分+予備3個 | <p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>グリーンハウス</td><td>2個</td><td rowspan="15">チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量</td></tr> <tr><td>グリーンハウス専用フレーム</td><td>1式</td></tr> <tr><td>養生シート</td><td>9巻^{※1}</td></tr> <tr><td>バリア</td><td>9枚^{※2}</td></tr> <tr><td>養生テープ</td><td>20巻</td></tr> <tr><td>作業用テープ</td><td>5巻</td></tr> <tr><td>透明ロール袋（大）</td><td>10巻</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>10枚</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>1箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>62個</td></tr> <tr><td>回収箱</td><td>9個</td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>2本</td></tr> <tr><td>カッター</td><td>2本</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>2本</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>10個^{※3}</td></tr> <tr><td>除染エリア用ハウス</td><td>1式^{※4}</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1個^{※5}</td></tr> <tr><td>ポリタンク</td><td>1個^{※6}</td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>1個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（SA）</td><td>2台（予備1台）</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 仕様 1,800mm×30m/巻（透明・ビシク・黒） ※2 仕様 600mm（750mm、900mm）/個（アルミ製） ※3 仕様 600mm（1,200mm）×900mm/個（アルミ製） ※4 仕様 1,200mm×1,200mm×1,900mm/式（折たたみ式、ポリエステル製） ※5 仕様 タンク容量7.5リットル（手動ポンプ式） ※6 仕様 タンク容量20リットル（ポリタンク）</p> <p>d. 食料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">食料等</td><td>食料</td><td>126食</td><td>6名^{※1}×3食×7日</td></tr> <tr><td>飲料水</td><td>8箱</td><td>6名^{※2}×0.5箱/本×4本×7日</td></tr> <tr><td>安定剤</td><td>1,000錠</td><td>6名^{※3}×2錠/人/日×7日+余裕</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：今後、訓練等で見直しを行う ※2：運転員（6名）</p> <p>e. その他資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>酸素濃度・二酸化炭素濃度計</td><td>3台</td><td>1台+放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備2台</td></tr> <tr><td>可搬型照明（SA）</td><td>4個</td><td>3個+放線時の予備1個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（懐中電灯）</td><td>12個</td><td>運転員6名分+予備6個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（ヘッドライト）</td><td>12個</td><td>運転員6名分+予備6個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（ワークライト）</td><td>10個</td><td>運転員6名分+予備4個</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：今後、訓練等で見直しを行う</p> | 品名 | 保管数 | 考え方 | グリーンハウス | 2個 | チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量 | グリーンハウス専用フレーム | 1式 | 養生シート | 9巻 ^{※1} | バリア | 9枚 ^{※2} | 養生テープ | 20巻 | 作業用テープ | 5巻 | 透明ロール袋（大） | 10巻 | 粘着マット | 10枚 | ウエス | 1箱 | ウェットティッシュ | 62個 | 回収箱 | 9個 | はさみ | 2本 | カッター | 2本 | マジック | 2本 | フェンス | 10個 ^{※3} | 除染エリア用ハウス | 1式 ^{※4} | 簡易シャワー | 1個 ^{※5} | ポリタンク | 1個 ^{※6} | トレイ | 1個 | バケツ | 1個 | 可搬型照明（SA） | 2台（予備1台） | 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | 食料等 | 食料 | 126食 | 6名 ^{※1} ×3食×7日 | 飲料水 | 8箱 | 6名 ^{※2} ×0.5箱/本×4本×7日 | 安定剤 | 1,000錠 | 6名 ^{※3} ×2錠/人/日×7日+余裕 | 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | 酸素濃度・二酸化炭素濃度計 | 3台 | 1台+放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備2台 | 可搬型照明（SA） | 4個 | 3個+放線時の予備1個 | 可搬型照明（懐中電灯） | 12個 | 運転員6名分+予備6個 | 可搬型照明（ヘッドライト） | 12個 | 運転員6名分+予備6個 | 可搬型照明（ワークライト） | 10個 | 運転員6名分+予備4個 | <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大飯】【女川】記載内容の相違 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大飯】記載内容の相違（女川審査実績反映） ・泊は、女川審査実績を反映し、中央制御室に配備する食料等について記載する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大飯】【女川】記載内容の相違 ・発電所ごとに配備する資機材に多少の相違はあるが、外部支援が受けられない場合も事故対応を行うために必要な資機材を配備する方針に相違はない。</p> |
| 名称 | 保管数 | 根拠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鋼製ボード | 1式 | チェンジングエリア設置に必要な数量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート | 6本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バリア | 5個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 粘着マット | 5個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴミ箱（スターション含む） | 7個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリ袋（赤・黄・黒） | 各200枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テープ（白・黒） | 各20巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウエス | 2箱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウェットティッシュ | 10個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はさみ・カッター | 各2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マジック | 2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易シャワー | 1台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易タンク | 1台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| チェンジングエリア可搬型空気浄化装置（ダクト含む） | 1式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 [※] | | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート（床用） | 2巻 ^{※1} | チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート（壁用） | 12巻 ^{※2} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テープ | 20巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 積層シート | 6枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ゴミ箱 | 7個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリ袋 | 100枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウエス | 2箱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウェットティッシュ | 50個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はさみ | 3丁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カッター | 3本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マジック | 3本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バリア | 8個 ^{※3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フェンス | 12枚 ^{※4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヘルメット掛け | 2台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 棚 | 2台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 除染エリア用ハウス | 1式 ^{※5} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易シャワー | 1台 ^{※6} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリタンク | 1台 ^{※7} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレイ | 1個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バケツ | 2個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型空気浄化設備 | 1台（予備1台） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型空気浄化設備用ダクト | 1式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乾電池内蔵型照明 | 4台（予備1台） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食糧 | 147食 | 7名（2号炉運転員）×7日×3食 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 飲料水（1.5リットル） | 98本 | 7名（2号炉運転員）×7日×2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易トイレ | 30個 | 7名（2号炉運転員）×3回/10時間（放射線防護中）1→予備30個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リウ薬箱 | 56錠 | 7名（2号炉運転員）×1初日2錠+2日目以降1錠/1日×8日）×56錠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酸素濃度計 | 2台 | 1台（放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二酸化炭素濃度計 | 2台 | 1台（放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備1台を保有する。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（SA） | 10個 | 2号炉運転員7名分+予備3個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（ヘッドライト） | 10個 | 2号炉運転員7名分+予備3個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（ランタン） | 3個 | 発電員1個+発電員1個+運転員1個+予備1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（懐中電灯） | 10個 | 2号炉運転員7名分+予備3個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| グリーンハウス | 2個 | チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| グリーンハウス専用フレーム | 1式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生シート | 9巻 ^{※1} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バリア | 9枚 ^{※2} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生テープ | 20巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 作業用テープ | 5巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 透明ロール袋（大） | 10巻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 粘着マット | 10枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウエス | 1箱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウェットティッシュ | 62個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回収箱 | 9個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はさみ | 2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カッター | 2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マジック | 2本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フェンス | 10個 ^{※3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 除染エリア用ハウス | 1式 ^{※4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 簡易シャワー | 1個 ^{※5} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポリタンク | 1個 ^{※6} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレイ | 1個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バケツ | 1個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（SA） | 2台（予備1台） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食料等 | 食料 | 126食 | 6名 ^{※1} ×3食×7日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 飲料水 | 8箱 | 6名 ^{※2} ×0.5箱/本×4本×7日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 安定剤 | 1,000錠 | 6名 ^{※3} ×2錠/人/日×7日+余裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品名 | 保管数 [※] | 考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酸素濃度・二酸化炭素濃度計 | 3台 | 1台+放線時及び保守点検による待機除染時のバックアップ用として予備2台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（SA） | 4個 | 3個+放線時の予備1個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（懐中電灯） | 12個 | 運転員6名分+予備6個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（ヘッドライト） | 12個 | 運転員6名分+予備6個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型照明（ワークライト） | 10個 | 運転員6名分+予備4個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉

添付10-1

通信手段の確保

大規模損壊の発生時において、指揮者と現場間、発電所外等との通信手段を確保するため、多様な複数の通信手段を整備している。

通常の通信手段が使用不能な場合を想定した通信手段として、携行型通話装置、トランシーバー、衛星電話（携帯）及び統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備を配備するとともに、消火活動専用の通信設備としてトランシーバー、衛星携帯電話を配備する。**（川内ヒアリング）**

<携行型通話装置について>

・携行型通話装置の通話可能距離は、約20km^{※1}であるため、発電所内を十分にカバーできる。

・大規模損壊時の対処において、緊急時対策所にて携行型通話装置を使用する場合、最大の通話距離となるのは4号炉空冷式非常用発電装置であり、その範囲で通話できることを定期的に確認している。

※1：1対1通話の場合。4～5台のグループ通話の場合は約10km。

大規模損壊発生時の通信連絡手段について



※2：中央制御室が使用不能な場合は、緊急時対策所と現場で連絡を取り実施。

※3：携行型通話装置の通信線は既に敷設済みであるが、断線を考慮して通信線約4,000mを配備している。

第3表 通信連絡設備の確保

| 通信種別 | 主要設備 | 通信連絡の場所 |
|-------------------------|--------------------------------------|---|
| 運用/監視設備 ^{※1} | | ・中央制御室一現場（屋内） |
| 運用/監視設備（中継用ケーブルシステム含む） | | ・緊急時対策所一現場（屋内） ^{※2} |
| 遠隔設備（イーサネット） （緊急時専用） | ハンドセット・スピーカ | ・緊急時対策所一中央制御室 ・緊急時対策所一現場（屋内） ・緊急時対策所一現場（屋外） ・中央制御室一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋内）一現場（屋外） |
| | | |
| 移動無線設備 | 移動無線設備（固定型） | ・緊急時対策所一現場（屋外） |
| | 移動無線設備（車載型） | |
| 無線連絡設備 | 無線連絡設備（固定型） ^{※1} | ・緊急時対策所一中央制御室 ・緊急時対策所一現場（屋外） |
| | 無線連絡設備（携帯型） ^{※1} | ・中央制御室一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋内）一現場（屋外） |
| 電力保安通信用電話設備 | 固定電話機 | ・緊急時対策所一中央制御室 ・緊急時対策所一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋内） ・緊急時対策所一現場（屋外） |
| | FAX端末 | ・緊急時対策所一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋内）一現場（屋外） |
| | FAX | ・緊急時対策所一中央制御室 |
| | | |
| 衛星電話設備 | 衛星電話設備（固定型） ^{※1} | ・緊急時対策所一中央制御室 |
| | 衛星電話設備（携帯型） ^{※1} | ・緊急時対策所一現場（屋外） |
| データ伝送設備 ^{※1} | | ・データ収集計算機 |
| データ伝送設備（無線） | | ・緊急時対策所 |
| データ伝送設備 ^{※1} | | ・緊急時対策所 |
| 視覚検知用防災ネットワークを用いた通信連絡設備 | テレビ会議システム ^{※1} （構築済、標準型） | |
| | IP電話 ^{※1} （構築済、標準型） | |
| | IP電話 ^{※1} （構築済、衛星系） | |
| | 加入電話機 | |
| 視覚検知用電話設備 | 加入電話 | ・緊急時対策所一現場（屋外） |
| | | |
| 電力保安通信用電話設備 | 衛星保安電話（固定型） | |
| | | |
| 社内テレビ会議システム | | |
| 専用電話設備 | 専用電話設備（固定型） （標準型） | |
| データ伝送設備 | IP伝送サーバ ^{※1} | |

※1 重大事故等対応設備
 ※2 中央制御室の機能喪失時は、緊急時対策所に保管している携行型通話装置及び中継用ケーブルを使用し、緊急時対策所から現場（屋内）までケーブルを張りつけて通信連絡を行う。

泊発電所3号炉

第3表 通信連絡設備の確保（1/2）

| 通信種別 | 主要設備 | 通信連絡の場所 | |
|-----------------------------------|----------------------------|--|--|
| 通信連絡設備（発電所内） | 運転指令設備（警報装置を含む。） | ・緊急時対策所指揮所一中央制御室 ・緊急時対策所待機所一中央制御室 ・緊急時対策所指揮所一現場（屋内） ・緊急時対策所待機所一現場（屋内） ・緊急時対策所指揮所一現場（屋外） ・緊急時対策所待機所一現場（屋外） | |
| | | | |
| 無線連絡設備 | 無線連絡設備（固定型） ^{※1} | ・緊急時対策所指揮所一中央制御室 ・緊急時対策所指揮所一現場（屋外） | |
| | 無線連絡設備（携帯型） ^{※1} | ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋外）一現場（屋外） | |
| 携行型通話装置 ^{※1} | | ・中央制御室一現場（屋内） ・緊急時対策所指揮所一現場（屋内） ^{※2} | |
| 移動無線設備 | 移動無線設備（固定型） 移動無線設備（車載型） | ・緊急時対策所指揮所一現場（屋外） | |
| テレビ会議システム（指揮所・待機所間） ^{※1} | | ・緊急時対策所指揮所 一緊急時対策所待機所 | |
| インターフォン ^{※1} | | ・緊急時対策所指揮所 一緊急時対策所待機所 | |
| 通信連絡設備（発電所内） | 電力保安通信用電話設備 | 保安電話（固定） | ・緊急時対策所指揮所一中央制御室 ・緊急時対策所待機所一中央制御室 ・緊急時対策所指揮所一現場（屋内） ・緊急時対策所待機所一現場（屋内） ・緊急時対策所指揮所一現場（屋外） ・緊急時対策所待機所一現場（屋外） ・中央制御室一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋内）一現場（屋内） ・現場（屋内）一現場（屋外） ・現場（屋外）一現場（屋外） |
| | | 保安電話（携帯） | ・緊急時対策所指揮所 一緊急時対策所待機所 |
| 通信連絡設備（発電所外） | 衛星電話設備 | 衛星電話設備（固定型） ^{※1} | ・緊急時対策所指揮所一中央制御室 ・緊急時対策所指揮所一現場（屋外） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋内）一現場（屋内） ・現場（屋内）一現場（屋外） ・現場（屋外）一現場（屋外） ・緊急時対策所指揮所 一緊急時対策所待機所 |
| | | 衛星電話設備（携帯型） ^{※1} | ・緊急時対策所指揮所一中央制御室 ・緊急時対策所指揮所一現場（屋外） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋外）一現場（屋外） |

※1 重大事故等対応設備
 ※2 大規模損壊時の発生による中央制御室の機能喪失時は、緊急時対策所と現場（屋内）まで通話装置用ケーブルを張りつけて通信連絡を行う。通話装置用ケーブルは発電所構内に3km以上を敷設する。なお、携行型通話装置の最大通話可能距離は約10kmであるため、発電所内において想定される通話範囲を十分にカバーできる。

第3表 通信連絡設備の確保（2/2）

| 通信種別 | 主要設備 | 通信連絡の場所 |
|-------------------------|---------------------------|-----------------|
| 通信連絡設備（発電所外） | 加入電話設備 | 加入電話機 |
| | 携帯電話 | 加入FAX |
| 電力保安通信用電話設備 | 衛星保安電話 | ・緊急時対策所指揮所一発電所外 |
| | 専用電話 | ・中央制御室一発電所外 |
| 衛星電話設備 | 専用電話設備（固定型） | ・緊急時対策所指揮所一発電所外 |
| | 専用電話設備（FAX） ^{※1} | |
| 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 | テレビ会議システム ^{※1} | |
| | IP電話 ^{※1} | |
| 社内テレビ会議システム | | |
| | | |
| データ伝送設備（発電所内） | データ伝送サーバ ^{※1} | ・緊急時対策所指揮所 |
| データ伝送設備（発電所外） | データ収集計算機 ^{※1} | ・原子炉補助建屋 |
| | FIS伝送サーバ ^{※1} | ・原子炉補助建屋一発電所外 |

※1 重大事故等対応設備

相違理由

【大飯】資料構成、記載表現の相違（女川審査実績反映）

・泊は、女川審査実績を反映し、配備する通信連絡設備について、表に整理している。

【大飯】【女川】記載内容の相違

・発電所ごとに配備する通信連絡設備に多少の相違はあるが、大規模損壊発生時において、指揮者と現場間、発電所外等との連絡に必要な通信連絡設備を整備する方針に相違はない。

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----|---------|----|------------|---------|----|---------|----|---|----|------|-------------------|-------------------|----|---------|----|-------------------|---------------|-------|----|-------------------|------------------|---------------|----|-------------------|--------|-------|-----|-------------------|---|
| | <p>第4表 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材</p> <table border="1" data-bbox="669 199 1191 293"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>保管場所</th> <th>保管数^{※1}</th> <th>規定額^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">治具</td> <td>第2保管エリア</td> <td>1個</td> <td rowspan="3">重大事故等対応要領書</td> </tr> <tr> <td>第3保管エリア</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>第4保管エリア</td> <td>1個</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 今後、訓練等で見直しを行う。 ※2 記載する社内規定額については今後の運用を踏まえた検討により変更となる可能性がある。</p> | 品目 | 保管場所 | 保管数 ^{※1} | 規定額 ^{※2} | 治具 | 第2保管エリア | 1個 | 重大事故等対応要領書 | 第3保管エリア | 1個 | 第4保管エリア | 1個 | <p>第4表 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材</p> <table border="1" data-bbox="1245 199 1789 360"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>保管場所</th> <th>保管数^{※1}</th> <th>規定額^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治具</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1個</td> <td>重大事故等および大規模損壊対応要領</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応用水素濃度盤</td> <td>周辺補機棟</td> <td>1個</td> <td>重大事故等および大規模損壊対応要領</td> </tr> <tr> <td>変圧器車2次側（低圧）用ケーブル</td> <td>大規模損壊対応用変圧器車内</td> <td>3台</td> <td>重大事故等および大規模損壊対応要領</td> </tr> <tr> <td>可搬ケーブル</td> <td>周辺補機棟</td> <td>19台</td> <td>重大事故等および大規模損壊対応要領</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 今後、訓練等で見直しを行う可能性がある。 ※2 記載する社内規定額については今後の運用を踏まえた検討により変更となる可能性がある。</p> | 品目 | 保管場所 | 保管数 ^{※1} | 規定額 ^{※2} | 治具 | 原子炉補助建屋 | 1個 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | 大規模損壊対応用水素濃度盤 | 周辺補機棟 | 1個 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | 変圧器車2次側（低圧）用ケーブル | 大規模損壊対応用変圧器車内 | 3台 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | 可搬ケーブル | 周辺補機棟 | 19台 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | <p>相違理由</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、大規模損壊に特化した手順において使用する資機材の配備について記載する。</p> <p>【女川】記載内容の相違 ・整備する大規模損壊に特化した手順はプラントごとに異なることから、整備する資機材も異なっている。</p> |
| 品目 | 保管場所 | 保管数 ^{※1} | 規定額 ^{※2} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 治具 | 第2保管エリア | 1個 | 重大事故等対応要領書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第3保管エリア | 1個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第4保管エリア | 1個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 品目 | 保管場所 | 保管数 ^{※1} | 規定額 ^{※2} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 治具 | 原子炉補助建屋 | 1個 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大規模損壊対応用水素濃度盤 | 周辺補機棟 | 1個 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 変圧器車2次側（低圧）用ケーブル | 大規模損壊対応用変圧器車内 | 3台 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬ケーブル | 周辺補機棟 | 19台 | 重大事故等および大規模損壊対応要領 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|-------------|---------|---|
| <p>・設計で想定する電圧電流(100mV/100A)の超過(電圧)防止(電流)防止の電圧電流値を変更し、電圧電流値を超過するよう大飯原発が未設計、海水ポンプ等の電圧電流値が機能喪失した場合は、電圧及び電流の超過を抑制できるように大飯原発等対称設備の保安用電源を確保する。</p> <p>・部外に分散配置している可搬型重大事故等対称設備については、3、4号炉の原子炉建屋から上記建屋の電線による放射線以上の輻射線量があり、電線移動方向を考慮して適切に分散配置されている場合は影響を判断する。(電線移動方向については、放射線より放射線2回7及び8のとり、大飯発電所3号炉での放射線量についてはすべて西から東(南側から山側)へ移動している。)</p> <p>・原子炉建屋及び核燃料貯蔵庫については、輻射性を有しては取り入れ難い電線であっても、建屋内の設備については防護されるものと判断する。</p> <p>■ 凍結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷設経路で凍結された日最高気温である「10.9℃」を大きく下回る「3.8℃」の極低温(発生凍結事件)が発生した場合は、建屋内は放射線設備の設置が認められていることから影響を与えることはないものとして判断する。 ・屋外に設置している可搬型重大事故等対称設備が凍結により機能喪失する可能性があるが、本敷片敷片により事前の予備が可能なため、発生までの時間的余裕があり、必要の措置を講じることが可能であり、機能は維持されるものと判断する。 <p>■ 森林火災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火帯を越えるような森林火災が発生した場合は、予防的対策の周回は防火し、建屋の設備まで影響を及ぼす可能性は低いものとして判断する。 ・予防的措置は立てられることから、部外の可搬型重大事故等対称設備については移動させることで回避できるものと判断する。 <p>■ 生物学的現象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内外の設備については防護できるものと判断する。ただし、屋外にある空気式非常用電源装置については機能喪失による影響も考慮する。 ・発生生物学的現象 <p>■ 高圧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型設備の設置等により、原子炉建屋への放射線防止が阻害されることから発生確率は低いと判断するが、設計想定を超える電圧により放射線設備の一部に影響を受ける可能性がある。また、屋外設備については高圧により機能喪失する可能性があるが、発生による放射線防止が阻害されることから、高圧による放射線防止が阻害されるものと判断する。 | | | <p>(前ページからの続き)</p> <p>【大飯】 記載内容の相違(女川審査実績反映)</p> <p>・泊は、女川審査実績を踏まえた自然現象によるプラントへの影響評価を行っており、添付資料2.1.1にて整理していることから、女川と同様に当該資料に紐づけた記載としている。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所 3 / 4号炉 | 女川原子力発電所 2号炉 | 泊発電所 3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>3. 安全施設は、工場等内又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわねばならない。また、ダクト等も存在せず、また、ダクト等も存在しないため、それによる影響を考慮する必要はない。</p> <p>2. 周辺監視区域に隣接する地域に事業所、鉄道、道路その他の外部からの衝撃が発生するおそれがある原因がある場合には、事業所における火災又は爆発事故、危険物を搭載した車両、船舶又は航空機の事故その他の事故によるもの（故意によるものを除く。）により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>3. 航空機の墜落により発電用原子炉施設の安全性を損なうおそれがある場合には、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」(外部燃焼物)の大規模損傷での対応状況 大阪発電所近辺には、火災や爆発、有毒ガスの懸念がある石川コンクリート等があるため除外する。 燃気機により誘導電流が発生する可能性があるが、影響が及んだとしても変圧器等の一部に限定されることから、出力を絞る等の対応により、判定基準を維持できるため除外する。 交流電源喪失時の安全保護機能喪失に包含されるため、除外する。 飛来物(航空機衝突)は「発電用原子炉施設への航空機落下飛来物の評価基準(第1号)」(平成21年・06・25 原研第1号)に基づき評価しており、判定基準の10"回/年を下回る結果となっている。 また飛来物(航空機衝突)は故意による大型航空機の衝突に内包され、この場合においても衝突原因によっては、使用可能な常設重大事故等対応設備があること、さらに船外可搬型重大事故等対応設備は原子炉建屋等及び同建屋を持つ可搬型設備と100m以上離隔し配置することで、同様の機能を保持し得るため除外する。</p> | <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損傷での対応状況 本文2.1.2.1(2)参照。</p> <p>外部からの衝撃による損傷の防止 実用発電用原子炉及びその附属施設(構造及び設備)の位置、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>3. 安全施設(兼用キヤスクを除く。)は、工場等内又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわねばならない。また、ダクト等も存在しないため、それによる影響を考慮する必要はない。</p> <p>2. 周辺監視区域に隣接する地域に事業所、鉄道、道路その他の外部からの衝撃が発生するおそれがある原因がある場合には、事業所における火災又は爆発事故、危険物を搭載した車両、船舶又は航空機の事故その他の事故によるもの（故意によるものを除く。）により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>3. 航空機の墜落により発電用原子炉施設(兼用キヤスクを除く。)の安全性を損なうおそれがある場合には、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p> | <p>外部からの衝撃による損傷の防止 実用発電用原子炉及びその附属施設(構造及び設備)の位置に関する規則</p> <p>3. 安全施設(兼用キヤスクを除く。)は、工場等内又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわねばならない。また、ダクト等も存在しないため、それによる影響を考慮する必要はない。</p> <p>2. 周辺監視区域に隣接する地域に事業所、鉄道、道路その他の外部からの衝撃が発生するおそれがある原因がある場合には、事業所における火災又は爆発事故、危険物を搭載した車両、船舶又は航空機の事故その他の事故によるもの（故意によるものを除く。）により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>3. 航空機の墜落により発電用原子炉施設(兼用キヤスクを除く。)の安全性を損なうおそれがある場合には、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損傷での対応状況 本文2.1.2.1(2)参照。</p> | <p>【大阪】記載内容の相違(女川審査実績反映) ・泊は、人為事象による発電用原子炉施設への影響については、故意による大型航空機の衝突に代表できると、本文にて整理していることから、女川と同様に、当該箇所を紐づけた記載としている。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>火災による損傷の防止</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、早期に火災発生を感知する設備及び消火を行う設備並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>第八条 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備及び消火を行う設備（以下「消火設備」といい、安全施設に属するものに限る。）並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>第十一條 設計基準対象施設が火災によりその安全性が損なわれないよう、次に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>一 火災の発生を防止するため、次の措置を講ずること。</p> <p>イ 耐火又は引火性の物質を内包する扉の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 安全施設（設置許可基準規則第二条第八号に規定する安全施設をいう。以下同じ。）には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合には、この限りでない。</p> <p>(1) 安全施設における材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合</p> <p>(2) 安全施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上用可能な場合であって、安全施設における火災に起因して他の安全施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 建造設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を備置すること。</p> <p>ニ 水源の供給設備その他の水源が内包に存在する可能性がある設備にあつては、水源の乾燥が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性を損なわないよう施設すること。</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水源の急凍が機軸により、発電用原子炉施設の感知及び消火のため、次に掲げるところにより、早期に火災発生を感知すること。</p> | <p>火災による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第八條 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び消火を行う設備（以下「消火設備」といい、安全施設に属するものに限る。）並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>第十一條 設計基準対象施設が火災によりその安全性が損なわれないよう、次に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>一 火災の発生を防止するため、次の措置を講ずること。</p> <p>イ 耐火又は引火性の物質を内包する扉の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 安全施設（設置許可基準規則第二条第二項第八号に規定する安全施設をいう。以下同じ。）には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合には、この限りでない。</p> <p>(1) 安全施設に使用する材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合</p> <p>(2) 安全施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上用可能な場合であって、安全施設における火災に起因して他の安全施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 建造設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を備置すること。</p> <p>ニ 水源の供給設備その他の水源が内包に存在する可能性がある設備にあつては、水源の乾燥が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性を損なわないよう施設すること。</p> | <p>火災による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第八條 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び消火を行う設備（以下「消火設備」といい、安全施設に属するものに限る。）並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならない。</p> <p>第十一條 設計基準対象施設が火災によりその安全性が損なわれないよう、次に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>一 火災の発生を防止するため、次の措置を講ずること。</p> <p>イ 耐火又は引火性の物質を内包する扉の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 安全施設（設置許可基準規則第二条第二項第八号に規定する安全施設をいう。以下同じ。）には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合には、この限りでない。</p> <p>(1) 安全施設に使用する材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合</p> <p>(2) 安全施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上用可能な場合であって、安全施設における火災に起因して他の安全施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 建造設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を備置すること。</p> | <p>相違理由</p> <p>(本ページの表中では、設置許可基準規則と技術基準規則を記載)</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---------------------------------------|
| <p>加する設備（以下「火災感知設備」という。）及び早期に消火を行う設備（以下「消火設備」という。）を施設すること。 イ 火災と同時に発生すると想定される自然現象により、その機能が損なわれることがないこと。 ロ 消火設備においては、その損傷、誤作動又は誤操作が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性が損なわれることがないこと。 三 火災の影響を軽減するため、耐火性能を有する壁の設置その他の延焼を防止するための措置その他の発電用原子炉施設の火災により発電用原子炉を停止する機能が損なわれることがないように行うための措置を講ずること。</p> | <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 四 実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に 関する規則</p> <p>火災による損傷の防止</p> <p>非 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、発電用原子炉施設の安全性を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を防止する措置を講ずること。</p> <p>二 火災の感知及び消火のため、次に掲げるところにより、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び早期に消火を行う設備（以下「消火設備」という。）を施設すること。 イ 火災と同時に発生すると想定される自然現象により、その機能が損なわれることがないこと。 ロ 消火設備においては、その損傷、誤作動又は誤操作が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性が損なわれることがないこと。</p> <p>三 火災の影響を軽減するため、耐火性能を有する壁の設置その他の延焼を防止するための措置その他の発電用原子炉施設の火災により発電用原子炉を停止する機能が損なわれることがないように行うための措置を講ずること。</p> | <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 四 実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に 関する規則</p> <p>火災による損傷の防止</p> <p>二 水素の供給設備その他の水素が内部に存在する可能性がある設備においては、水素の燃焼が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性を損なわないよう施設すること。 非 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、発電用原子炉施設の安全性を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を防止する措置を講ずること。</p> <p>二 火災の感知及び消火のため、次に掲げるところにより、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び早期に消火を行う設備（以下「消火設備」という。）を施設すること。 イ 火災と同時に発生すると想定される自然現象により、その機能が損なわれることがないこと。 ロ 消火設備においては、その損傷、誤作動又は誤操作が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性が損なわれることがないこと。</p> <p>三 火災の影響を軽減するため、耐火性能を有する壁の設置その他の延焼を防止するための措置その他の発電用原子炉施設の火災により発電用原子炉を停止する機能が損なわれることがないように行うための措置を講ずること。</p> | <p>（本ページの表中では、設置許可基準規則と技術基準規則を記載）</p> |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---|
| <p>第四十一条 重大事故等対応施設は、火災により重大事故等に対応するために必要な機能を損なうおそれがないよう、水災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならない。</p> <p>第五十二条 重大事故等対応施設が火災によりその重大事故等に対応するために必要な機能が損なわれたいよう、次に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>イ 発火性は引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 重大事故等対応施設には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 重大事故等対応施設に使用する材料が、代替材料である場合</p> <p>(2) 重大事故等対応施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、重大事故等対応施設における火災に起因して他の重大事故等対応施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 非常設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> | <p>火災による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>第四十一条 重大事故等対応施設は、火災により重大事故等に対応するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならない。</p> <p>第五十二条 重大事故等対応施設が火災によりその重大事故等に対応するために必要な機能が損なわれたいよう、次に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>イ 発火性は引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 重大事故等対応施設には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 重大事故等対応施設に使用する材料が、代替材料である場合</p> <p>(2) 重大事故等対応施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、重大事故等対応施設における火災に起因して他の重大事故等対応施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 非常設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> | <p>火災による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>第四十一条 重大事故等対応施設は、火災により重大事故等に対応するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならない。</p> <p>第五十二条 重大事故等対応施設が火災によりその重大事故等に対応するために必要な機能が損なわれたいよう、次に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>イ 発火性は引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 重大事故等対応施設には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 重大事故等対応施設に使用する材料が、代替材料である場合</p> <p>(2) 重大事故等対応施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、重大事故等対応施設における火災に起因して他の重大事故等対応施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 非常設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> | <p>相違理由</p> <p>(本ページの表中では、設置許可基準規則と技術基準規則を記載)</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|--|
| <p>二 水素の供給設備その他の水素が存在する可能性がある設備において、水素の燃焼が起きた場合においても重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわれないよう施設すること。</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を抑制する措置を講ずること。</p> <p>ニ 水素の感知及び消火のため、水素と同時に発生すると想定される自然現象により、火災感知設備及び消火設備の機能が損なわれないよう施設すること。</p> <p>火災による損傷防止のうち、「影響の軽減」の大規模損傷での対応状況 大規模地震により耐震性の低い機器については評価し、潤滑油を火災源として火災が発生することが考えられる。 大規模地震が発生した場合には、閉鎖する防火設備が機能せず、水素により建内内の燃料基幹事故対処設備等の機能が低下する可能性がある。この場合において、当外に保存している可搬型重大事故等対処設備による事故緩和対応に期待できることから、プラントに及ぼす影響は、大規模地震発生時の場合と同様になるものと判断する。</p> | <p>火災による損傷の防止 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を抑制する措置を講ずること。</p> <p>ニ 火災の感知及び消火のため、火災と同時に発生すると想定される自然現象により、火災感知設備及び消火設備の機能が損なわれないよう施設すること。</p> <p>火災による損傷防止のうち、「影響の軽減」の大規模損傷での対応状況 本文2.1.2.1(2)h、(a)イ参照。</p> | <p>火災による損傷の防止 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>ニ 水素の供給設備その他の水素が存在する可能性がある設備において、水素の燃焼が起きた場合においても重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわれないよう施設すること。</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を抑制する措置を講ずること。</p> <p>ニ 火災の感知及び消火のため、水素と同時に発生すると想定される自然現象により、火災感知設備及び消火設備の機能が損なわれないよう施設すること。</p> <p>火災による損傷の防止のうち、「影響の軽減」の大規模損傷での対応状況 本文2.1.2.1(2)h、(a)イ参照。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】記載内容の相違(女川審査実績反映) ・泊は、火災による影響軽減の対応として、大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順等を整備することを、本文にて整理していることから、女川と同様に、当該箇所に関する記載とされている。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|--|---|
| <p>漏水による損傷の防止</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、も安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>「漏水による損傷の防止」(内部漏水)の大規模損壊での対応状況 基準施設を一定程度超える地震動により、漏水した水が全て地下階に溜留したと想定する場合でも、最下階の設計基準事故対応局設備の機能が果たする可能性があるが、それ以上に設置している設備について評価すること、また屋外に設置している可搬型重大事故対応局設備による発電・給水が可能となることから、安全機能を損なわないものではないと判断する。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損により当該容器又は配管から放射性物質を含む液体が漏れ出すおそれがある場合は、当該液体が管理区域外へ漏れ出すことを防止するために必要な措置を講じなければならない。</p> <p>設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損壊では対象外である。</p> | <p>漏水による損傷の防止等</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則</p> <p>第十二条 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が漏れ出すおそれがある場合は、当該液体が管理区域外へ漏れ出すことを防止しなければならない。</p> <p>「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損壊での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が漏れ出すおそれがある場合は、当該液体が管理区域外へ漏れ出すことを防止しなければならない。</p> <p>設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損壊では対象外である。</p> | <p>漏水による損傷の防止等</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則</p> <p>第十二条 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、も安全機能を損なわないものでなければならない。</p> <p>「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損壊での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。</p> <p>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が漏れ出すおそれがある場合は、当該液体が管理区域外へ漏れ出すことを防止するために必要な措置を講じなければならない。</p> <p>設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損壊では対象外である。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】記載内容の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映した記載内容とする。大飯とは記載している内容は異なるものの、内部漏水による影響として建屋の地下階が浸水することを想定しており、実質的には相違はない。</p> |

灰色：泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|---|--|---|------|-------------|---|---|--|------|-------------|---|---|--|
| <p>大阪発電所3/4号炉</p> <table border="1" data-bbox="73 255 651 1117"> <tr> <th data-bbox="73 255 246 686">安全施設</th> <th data-bbox="246 255 651 686">設計基準対象施設の機能</th> </tr> <tr> <td data-bbox="73 686 246 1117"> <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>■ 高速回転機器の破損による飛来物 タービンについては、蒸気タービン及び発電機の駆動防止対策を行うことにより、蒸気タービン及び発電機の駆動事故の発生確率を低くするとともに、ミサイルの発生を仮に想定しても安全機能を有する構築物、系統及び機器への到達確率を低くすることによって、原子炉施設の安全性を損なう可能性を極めて低くしている。</p> <p>1 冷却却材ポンプのミサイルについては、フライホイールの慣性回転力が、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時に想定される最大回転速度に比べて十分大きく、また、製作段階及び使用期間における品質管理を十分実施することにより、ポンプの破損確率又は故障による系列で発生が想定される。また、安全機能を有する構築物、系統及び機器のうち相対性を要求されているものは、相互の信頼距離又は間隙によって分離し、ある系列で発生が想定される飛来物が他の系列に影響を与えず、かつ、ある系統で発生が想定される飛来物に伴う過熱水等の二次的影響が他の系列に波及しない設計としている。</p> <p>既に建設内でミサイルが発生し重大事故等設計施設の状態に至った場合においても屋外の可搬型重大事故等設計施設にて対応が可能である。</p> </td> <td data-bbox="246 686 651 1117"> <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なう可能性を極めて低くしなければならない。</p> </td> </tr> </table> | 安全施設 | 設計基準対象施設の機能 | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>■ 高速回転機器の破損による飛来物 タービンについては、蒸気タービン及び発電機の駆動防止対策を行うことにより、蒸気タービン及び発電機の駆動事故の発生確率を低くするとともに、ミサイルの発生を仮に想定しても安全機能を有する構築物、系統及び機器への到達確率を低くすることによって、原子炉施設の安全性を損なう可能性を極めて低くしている。</p> <p>1 冷却却材ポンプのミサイルについては、フライホイールの慣性回転力が、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時に想定される最大回転速度に比べて十分大きく、また、製作段階及び使用期間における品質管理を十分実施することにより、ポンプの破損確率又は故障による系列で発生が想定される。また、安全機能を有する構築物、系統及び機器のうち相対性を要求されているものは、相互の信頼距離又は間隙によって分離し、ある系列で発生が想定される飛来物が他の系列に影響を与えず、かつ、ある系統で発生が想定される飛来物に伴う過熱水等の二次的影響が他の系列に波及しない設計としている。</p> <p>既に建設内でミサイルが発生し重大事故等設計施設の状態に至った場合においても屋外の可搬型重大事故等設計施設にて対応が可能である。</p> | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なう可能性を極めて低くしなければならない。</p> | <p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1" data-bbox="651 255 1229 1117"> <tr> <th data-bbox="651 255 806 686">安全施設</th> <th data-bbox="806 255 1229 686">設計基準対象施設の機能</th> </tr> <tr> <td data-bbox="651 686 806 1117"> <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> </td> <td data-bbox="806 686 1229 1117"> <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の状態その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> </td> </tr> </table> | 安全施設 | 設計基準対象施設の機能 | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の状態その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> | <p>泊発電所3号炉</p> <table border="1" data-bbox="1229 255 1807 1117"> <tr> <th data-bbox="1229 255 1366 686">安全施設</th> <th data-bbox="1366 255 1807 686">設計基準対象施設の機能</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1229 686 1366 1117"> <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> </td> <td data-bbox="1366 686 1807 1117"> <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の状態その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> </td> </tr> </table> | 安全施設 | 設計基準対象施設の機能 | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の状態その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】記載内容の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川と同様に、人為事象による発電用原子炉施設への影響については、大型航空機の衝突に代表できると、本文2.1.2.1(2)項にて整理している。</p> |
| 安全施設 | 設計基準対象施設の機能 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>■ 高速回転機器の破損による飛来物 タービンについては、蒸気タービン及び発電機の駆動防止対策を行うことにより、蒸気タービン及び発電機の駆動事故の発生確率を低くするとともに、ミサイルの発生を仮に想定しても安全機能を有する構築物、系統及び機器への到達確率を低くすることによって、原子炉施設の安全性を損なう可能性を極めて低くしている。</p> <p>1 冷却却材ポンプのミサイルについては、フライホイールの慣性回転力が、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時に想定される最大回転速度に比べて十分大きく、また、製作段階及び使用期間における品質管理を十分実施することにより、ポンプの破損確率又は故障による系列で発生が想定される。また、安全機能を有する構築物、系統及び機器のうち相対性を要求されているものは、相互の信頼距離又は間隙によって分離し、ある系列で発生が想定される飛来物が他の系列に影響を与えず、かつ、ある系統で発生が想定される飛来物に伴う過熱水等の二次的影響が他の系列に波及しない設計としている。</p> <p>既に建設内でミサイルが発生し重大事故等設計施設の状態に至った場合においても屋外の可搬型重大事故等設計施設にて対応が可能である。</p> | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なう可能性を極めて低くしなければならない。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 安全施設 | 設計基準対象施設の機能 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の状態その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 安全施設 | 設計基準対象施設の機能 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十二条 5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なわないものでなければならない。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」(内部乗来物)の大規模損傷での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> | <p>発電用原子炉及びその付属施設の状態、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>第十五条 4 設計基準対象施設に属する設備であつて、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により損傷を受け、発電用原子炉施設の安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の状態その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------------|-------------------------------|-----------------|----|-------|----------|---|---|-----|--------------|---|---|--------------------|--------------|---|---|-----------------------------------|--------------------|---|---|---------------------|---------------|---|---|-------|-----------|---|---|-------------------------------|---|---|---|------------------------------------|--------------------------|---|---|---|----|------|--|------------|------------|---------------|---------------------|----|---------------|---------------------|----|----------|------|------------------------|--------------|---------------|------------------------|---------------|--------------|-------------------------------|---------------------|-------------------------|----|----------------------------|------|-------------------------|--------|-----------------|----|---|----|------|----|----|---------------|-------------------|---|---|----------------|--------------|---|---|-----|---------------|---|---|--------------------|---------------------|---|---|-----------------------------------|---------------|---|---|---------------------|----------------------|---|---|-------|------------------------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|--|--|--------|-----------------|--|--|--|
| <p>添付資料2.1.12 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について</p> <p>(1) 放射線防護具類の着用 大規模損壊発生時、作業者は、個人線量計を装着し、表-2.1.12-1の緊急作業に係る線量限度を超えないように確認を行う。</p> <p>また、放射性物質の放出後、放射性物質濃度の高い場所で作業を行う場合は、全面マスク等の放射線防護具を装着する。</p> <p>なお、プラントの状況把握の困難な大規模損壊初動対応においては、副原子力防災管理者又は当直課長が、プラント状況（炉心損傷の可能性、原子炉周辺建屋の破損、原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）の破損及び使用済燃料ピットからの漏えいの有無等）を考慮し、大気に放出された放射性物質が大規模損壊対応に影響を与える可能性がある場合、放射線防護具類の着用を指示する。</p> <p>以下に、大規模損壊対応及び消火活動対応に必要な装備品について整理する。【川内ヒアリング】</p> <p>a. 大規模損壊対応時に着用する装備品について</p> <p>【プラント対応時の装備品】</p> <table border="1" data-bbox="91 986 622 1193"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>身体汚染の恐れがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服(タイベック)、ゴム手袋等</td> <td>身体汚染の恐れがある場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>アノラック、汚染作業用長靴(胴長靴^{※1})</td> <td>身体汚染の恐れがある場合(腐蝕作業)</td> <td>□</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全面マスク^{※2}</td> <td>身体汚染のおそれがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>半面マスク</td> <td>(内部被ばく防止)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>自給式呼吸器・セルフエアセット^{※3}</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服^{※3}(タングステンベスト)</td> <td>高線量下で移動を伴わない作業等、状況に応じて着用</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：必ず着用 △：緊急を要する作業以外は着用 -：着用不要 □：管理区域内で内部線量が心配している場所へのアクセスのみ着用 ※1：足水水位が高い場合 ※2：半面マスク、全面マスク、セルフエアセットについては、現場の状況に応じて使用する。 ※3：着用により作業時間が長くなり、作業時間の増加に伴い被ばく線量が増加するため、移動を伴う作業においては使用しない。</p> | 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | 個人線量計 | 対応者は必ず着用 | ○ | ○ | 綿手袋 | 身体汚染の恐れがある場合 | ○ | ○ | 汚染防護服(タイベック)、ゴム手袋等 | 身体汚染の恐れがある場合 | △ | ○ | アノラック、汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1}) | 身体汚染の恐れがある場合(腐蝕作業) | □ | - | 全面マスク ^{※2} | 身体汚染のおそれがある場合 | ○ | ○ | 半面マスク | (内部被ばく防止) | - | - | 自給式呼吸器・セルフエアセット ^{※3} | - | - | - | 高線量対応防護服 ^{※3} (タングステンベスト) | 高線量下で移動を伴わない作業等、状況に応じて着用 | - | - | <p>添付資料2.1.20 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について</p> <p>大規模損壊発生時、作業者は、個人線量計を着用し、緊急作業従事者は緊急作業に係る線量限度（100mSv又は250mSv）、緊急作業従事者でない者は通常の線量限度（50mSv/年、100mSv/5年）を超えないように確認を行う。</p> <p>また、放射性物質の放出後、放射性物質濃度の高い場所で作業を行う場合は、全面マスク等の放射線防護具を着用する。</p> <p>なお、プラントの状況把握の困難な大規模損壊初動対応においては、放射線管理班長、夜間及び休日の場合は総括責任者又は発電課長が、プラント状況（炉心損傷の可能性、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プールからの漏えいの有無等）を考慮し、大気に放出された放射性物質が大規模損壊対応に影響を与える可能性がある場合、放射線防護具類の着用を指示する。</p> <p>以下に、大規模損壊対応及び消火活動対応に必要な装備品について整理する。</p> <p>1. 大規模損壊対応時に着用する装備品について 大規模損壊対応時に着用する装備品として、第1表にプラント対応時の装備品、第2表に火災対応時の装備品を示す。また、第3表に緊急作業に係る線量限度を示す。</p> <p>第1表 プラント対応時の装備品</p> <table border="1" data-bbox="667 979 1218 1294"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">着用基準</th> </tr> <tr> <th>炉心損壊の懸念等あり</th> <th>炉心損壊の懸念等なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計(ガラスバッジ)</td> <td>現場作業を行っていない間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>個人線量計(電子式線量計)</td> <td>現場作業を行っていない間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>綿手袋、ゴム手袋</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服(タイベック)</td> <td>緊急を要する作業を除き着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>EVAスーツ、長靴、胴長靴</td> <td>腐蝕作業を行う場合に着用</td> <td>管理区域内で身体汚染のおそれがある腐蝕作業を行う場合に着用</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服(タングステンベスト)</td> <td>移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>全面マスク (電動ファン付き全面マスクを含む)</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>自給式呼吸器</td> <td>酸欠等のおそれがある場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> | 名称 | 着用基準 | | 炉心損壊の懸念等あり | 炉心損壊の懸念等なし | 個人線量計(ガラスバッジ) | 現場作業を行っていない間も含め必ず着用 | 同左 | 個人線量計(電子式線量計) | 現場作業を行っていない間も含め必ず着用 | 同左 | 綿手袋、ゴム手袋 | 必ず着用 | 管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用 | 汚染防護服(タイベック) | 緊急を要する作業を除き着用 | 管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用 | EVAスーツ、長靴、胴長靴 | 腐蝕作業を行う場合に着用 | 管理区域内で身体汚染のおそれがある腐蝕作業を行う場合に着用 | 高線量対応防護服(タングステンベスト) | 移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用 | 同左 | 全面マスク (電動ファン付き全面マスクを含む) | 必ず着用 | 管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用 | 自給式呼吸器 | 酸欠等のおそれがある場合に着用 | 同左 | <p>添付資料2.1.14 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について</p> <p>大規模損壊発生時、作業者は、個人線量計を着用し、緊急作業従事者は緊急作業に係る線量限度（100mSv又は250mSv）、緊急作業従事者でない者は通常の線量限度（50mSv/年、100mSv/5年）を超えないように確認を行う。</p> <p>また、放射性物質の放出後、放射性物質濃度の高い場所で作業を行う場合は、全面マスク等の放射線防護具を着用する。</p> <p>なお、プラントの状況把握の困難な大規模損壊初動対応においては、放管理班長、夜間及び休日の場合は全体指揮者又は発電課長(当直)が、プラント状況（炉心損傷の可能性、原子炉格納容器の破損、燃料取扱極（使用済燃料ピット内の燃料体等）の損傷及び使用済燃料ピットからの漏えいの有無等）を考慮し、大気に放出された放射性物質が大規模損壊対応に影響を与える可能性がある場合、放射線防護具類の着用を指示する。</p> <p>以下に、大規模損壊対応及び消火活動対応に必要な装備品について整理する。</p> <p>1. 大規模損壊発生時に着用する装備品について 大規模損壊対応時に着用する装備品として、第1表にプラント対応時の装備品、第2表に火災対応時の装備品を示す。また、第3表に緊急作業に係る線量限度を示す。</p> <p>第1表 プラント対応時の装備品</p> <table border="1" data-bbox="1240 979 1792 1217"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計(ガラスバッジ)</td> <td>現場作業を行っていない間も必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>個人線量計(ポケット線量計)</td> <td>被ばくのおそれがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>身体汚染のおそれがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服(タイベック)・ゴム手袋等</td> <td>身体汚染のおそれがある場合(腐蝕作業)</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>アノラック・汚染作業用長靴(胴長靴^{※1})</td> <td>身体汚染のおそれがある場合</td> <td>□</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服(タングステンベスト)</td> <td>移動を伴わない高線量下での作業を行う場合</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>身体汚染のおそれがある場合(内部被ばく防止)</td> <td>○^{※2}</td> <td>○^{※3}</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク</td> <td>酸欠等のおそれがある場合に着用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自給式呼吸器</td> <td>酸欠等のおそれがある場合に着用</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：必ず着用 △：緊急を要する作業以外は着用 -：着用不要 □：管理区域内で内部線量が心配している場所へのアクセス時のみ着用 ※1：足水水位が高い場合 ※2：高線量対応防護服(タングステンベスト)は、重量があることから、移動を伴う作業に依っては作業時間の増加に伴い被ばく線量が増加するため、原則着用しない。 ※3：全面マスク、電動ファン付きマスク、自給式呼吸器については、現場の状況に応じいずれかを着用する。</p> | 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | 個人線量計(ガラスバッジ) | 現場作業を行っていない間も必ず着用 | ○ | ○ | 個人線量計(ポケット線量計) | 被ばくのおそれがある場合 | ○ | ○ | 綿手袋 | 身体汚染のおそれがある場合 | ○ | ○ | 汚染防護服(タイベック)・ゴム手袋等 | 身体汚染のおそれがある場合(腐蝕作業) | △ | ○ | アノラック・汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1}) | 身体汚染のおそれがある場合 | □ | - | 高線量対応防護服(タングステンベスト) | 移動を伴わない高線量下での作業を行う場合 | - | - | 全面マスク | 身体汚染のおそれがある場合(内部被ばく防止) | ○ ^{※2} | ○ ^{※3} | 電動ファン付きマスク | 酸欠等のおそれがある場合に着用 | | | 自給式呼吸器 | 酸欠等のおそれがある場合に着用 | | | <p>相違理由</p> <p>【大阪】【女川】資料番号の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違 【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川と同様に、「着用」で統一している。また、女川と同様に、線量限度の数値を併記する。</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、放射線防護具類着用の指示を行う者について、夜間及び休日の場合に加えて平日日中の場合についても記載する。 (以降、相違理由の記載を省略する。)</p> <p>【女川】要員名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川審査実績反映) 【大阪】記載方針の相違(女川審査実績反映) ・泊は、女川審査実績を反映し、個人線量計(ガラスバッジ)について記載する。</p> <p>【大阪】配備する防護具の相違 ・泊は、通常の全面マスクよりも容易に声を伝えることが可能な電動ファン付き全面マスクを配備し、現場の状況に応じていずれかを着用する。</p> <p>【女川】記載方針の相違 ・泊の第1表の構成は、大阪と同様としている。</p> <p>【女川】名称の相違 ・EVAスーツ⇔アノラック ・長靴⇔汚染作業用長靴 ・電子式線量計⇔ポケット線量計</p> |
| 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計 | 対応者は必ず着用 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 綿手袋 | 身体汚染の恐れがある場合 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汚染防護服(タイベック)、ゴム手袋等 | 身体汚染の恐れがある場合 | △ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アノラック、汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1}) | 身体汚染の恐れがある場合(腐蝕作業) | □ | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク ^{※2} | 身体汚染のおそれがある場合 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 半面マスク | (内部被ばく防止) | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自給式呼吸器・セルフエアセット ^{※3} | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高線量対応防護服 ^{※3} (タングステンベスト) | 高線量下で移動を伴わない作業等、状況に応じて着用 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 着用基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 炉心損壊の懸念等あり | 炉心損壊の懸念等なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計(ガラスバッジ) | 現場作業を行っていない間も含め必ず着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計(電子式線量計) | 現場作業を行っていない間も含め必ず着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 綿手袋、ゴム手袋 | 必ず着用 | 管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汚染防護服(タイベック) | 緊急を要する作業を除き着用 | 管理区域内で身体汚染のおそれがある場合に着用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| EVAスーツ、長靴、胴長靴 | 腐蝕作業を行う場合に着用 | 管理区域内で身体汚染のおそれがある腐蝕作業を行う場合に着用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高線量対応防護服(タングステンベスト) | 移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク (電動ファン付き全面マスクを含む) | 必ず着用 | 管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自給式呼吸器 | 酸欠等のおそれがある場合に着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計(ガラスバッジ) | 現場作業を行っていない間も必ず着用 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計(ポケット線量計) | 被ばくのおそれがある場合 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 綿手袋 | 身体汚染のおそれがある場合 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汚染防護服(タイベック)・ゴム手袋等 | 身体汚染のおそれがある場合(腐蝕作業) | △ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アノラック・汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1}) | 身体汚染のおそれがある場合 | □ | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高線量対応防護服(タングステンベスト) | 移動を伴わない高線量下での作業を行う場合 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク | 身体汚染のおそれがある場合(内部被ばく防止) | ○ ^{※2} | ○ ^{※3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電動ファン付きマスク | 酸欠等のおそれがある場合に着用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自給式呼吸器 | 酸欠等のおそれがある場合に着用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------------------|-----------------|----|-------|----------|---|---|---------------------|---------------|--|--|-------|-------------------------|---|---|------------------------|--|--|--|-----|----------------|---|---|-------------|--|------|--------|---|----|------|--|------------|------------|---------------|--------------------|----|---------------|--------------------|----|------------------------|------|-------------------------|--------|-----------------|----|-----|------------------|----|-------------|--|------|----------------------------------|--|----|------|----|----|---------------|-------------------|---|---|----------------|--------------|---|---|-------|--|-----------------|-----------------|------------|--|--|--|--------|----------------|---|---|-----|--|--|--|-------------|--|------|---|--|
| <p>【火災対応時の装備品】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>全面マスク^{※1}</td> <td>内部被ばくの恐れがある場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>半面マスク</td> <td>又は建屋内など煙により消火活動に影響がある場合</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット^{※1}</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火服</td> <td>火災近くでの対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>○：必ず着用 △：緊急を要する作業以外は着用 注1：半面マスク、全面マスク、セルフエアセットについては、現場の状況に応じどちらかを着用する。</small></p> <p>表-2.1.12-1 緊急作業に係る線量限度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急作業に係る線量限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実効線量</td> <td>250mSv</td> </tr> </tbody> </table> <p>（女子については、妊娠する可能性がないと診断された者に限る）</p> <p>b. 放射線防護具等の携行について</p> <p>大規模損壊対応において、作業者は、各箇所に配備されている装備品一式を携行し、副原子力防災管理者又は当直課長の指示により必要な放射線防護具の着用を行う。</p> <p>なお、個人線量計については、被ばく管理のため必ず着用し、各対応を行う。</p> <p>【配備箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室 緊急時対策所指揮所 緊急時対策所待機場所 <p>委託消防隊については、個別に個人線量計、セルフエアセットを配備している。</p> <p>【携行品一式】</p> <p>放射線防護具：タイベック、ゴム手袋、全面マスク、個人線量計</p> | 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | 個人線量計 | 対応者は必ず着用 | ○ | ○ | 全面マスク ^{※1} | 内部被ばくの恐れがある場合 | | | 半面マスク | 又は建屋内など煙により消火活動に影響がある場合 | △ | △ | セルフエアセット ^{※1} | | | | 防火服 | 火災近くでの対応者は必ず着用 | ○ | ○ | 緊急作業に係る線量限度 | | 実効線量 | 250mSv | <p>第2表 火災対応時の装備品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">着用基準</th> </tr> <tr> <th>炉心損傷の発生等あり</th> <th>炉心損傷の発生等なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計（ガラスバッチ）</td> <td>現場作業を行っている間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>個人線量計（電子式線量計）</td> <td>現場作業を行っている間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>全面マスク（電動ファン付全面マスクを含む。）</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で内部被ばくのリスクがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>自給式呼吸器</td> <td>撤去等のおそれがある場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>防火服</td> <td>火災近くでの作業を行う場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3表 緊急作業に係る線量限度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急作業に係る線量限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実効線量</td> <td>100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に選定された者）</td> </tr> </tbody> </table> <p>（女子については、妊娠不能と診断された者に限る。）</p> <p>2. 放射線防護具等の携行について</p> <p>大規模損壊対応において、作業者は、各箇所に配備されている装備品一式を携行し、放射線管理班長、夜間及び休日の場合は総括責任者又は発電課長の指示により必要な放射線防護具の着用を行う。</p> <p>なお、個人線量計については、被ばく管理のため必ず着用し、各対応を行う。</p> <p>(1) 配備場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室 緊急時対策建屋 <p>(2) 携行品一式</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線防護具：汚染防護服（タイベック）、綿手袋、ゴム手袋、全面マスク | 名称 | 着用基準 | | 炉心損傷の発生等あり | 炉心損傷の発生等なし | 個人線量計（ガラスバッチ） | 現場作業を行っている間も含め必ず着用 | 同左 | 個人線量計（電子式線量計） | 現場作業を行っている間も含め必ず着用 | 同左 | 全面マスク（電動ファン付全面マスクを含む。） | 必ず着用 | 管理区域内で内部被ばくのリスクがある場合に着用 | 自給式呼吸器 | 撤去等のおそれがある場合に着用 | 同左 | 防火服 | 火災近くでの作業を行う場合に着用 | 同左 | 緊急作業に係る線量限度 | | 実効線量 | 100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に選定された者） | <p>第2表 火災対応時の装備品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計（ガラスバッチ）</td> <td>現場作業を行っていない間も必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>個人線量計（ポケット線量計）</td> <td>被ばくのおそれがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>身体汚染のおそれがある場合（内部被ばく防止）又は建屋内等において煙により消火活動に影響がある場合</td> <td>△^{※1}</td> <td>△^{※1}</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自給式呼吸器</td> <td>火災近くでの対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>防火服</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>○：必ず着用 △：緊急を要する作業以外は着用 注1：全面マスク、電動ファン付きマスク、自給式呼吸器については、現場の状況に応じいずれかを着用する。</small></p> <p>第3表 緊急作業に係る線量限度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急作業に係る線量限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実効線量</td> <td>100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に選定された者） （女子については、妊娠不能と診断された者に限る。）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 放射線防護具等の携行について</p> <p>大規模損壊対応において、作業者は、各箇所に配備されている装備品一式を携行し、放管班長、夜間及び休日の場合は全体指揮者又は発電課長（当直）の指示により必要な放射線防護具の着用を行う。</p> <p>なお、個人線量計については、被ばく管理のため必ず着用し、各対応を行う。</p> <p>(1) 配備箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室 緊急時対策所指揮所 緊急時対策所待機場所 災害対策要員の待機場所 <p>消火要員については、個別に個人線量計、自給式呼吸器を配備する。</p> <p>(2) 携行品一式</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線防護具：汚染防護服（タイベック）、綿手袋、ゴム手袋、全面マスク、電動ファン付きマスク | 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | 個人線量計（ガラスバッチ） | 現場作業を行っていない間も必ず着用 | ○ | ○ | 個人線量計（ポケット線量計） | 被ばくのおそれがある場合 | ○ | ○ | 全面マスク | 身体汚染のおそれがある場合（内部被ばく防止）又は建屋内等において煙により消火活動に影響がある場合 | △ ^{※1} | △ ^{※1} | 電動ファン付きマスク | | | | 自給式呼吸器 | 火災近くでの対応者は必ず着用 | ○ | ○ | 防火服 | | | | 緊急作業に係る線量限度 | | 実効線量 | 100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に選定された者） （女子については、妊娠不能と診断された者に限る。） | <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊の第2表の構成は、大阪と同様としている。 <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大阪】記載内容の相違（女川審査実績反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川審査実績を反映し、緊急作業従事者の緊急作業に係る線量限度として、「核原料物質又は核燃料物質の製錬の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示」第7条第1項及び第2項の線量限度を併記する。 <p>【女川】要員名称の相違</p> <p>【大阪】【女川】配備箇所名称の相違</p> <p>【大阪】【女川】配備箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、初動対応時に直接現場に向かう要員の防護具について、その要員の待機場所に配備する。中央制御室、緊急時対策所以外に、要員の待機場所に配備するのは、伊方3号、玄海3/4号と同様。 また、消火要員についても、初動対応において火災現場へ直接向かうことから、個別に配備する。 <p>【大阪】記載表現の相違（女川審査実績反映） 【大阪】携行する防護具の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、個人線量計については必ず着用することから、携行品には含めていない。 泊は、各要員に対して全面マスクと電動ファン付きマスクを配備しており、携行品に含めている。（女川は、全面マスクに電動ファン付全面マスクを含む。） |
| 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計 | 対応者は必ず着用 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク ^{※1} | 内部被ばくの恐れがある場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 半面マスク | 又は建屋内など煙により消火活動に影響がある場合 | △ | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セルフエアセット ^{※1} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防火服 | 火災近くでの対応者は必ず着用 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急作業に係る線量限度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実効線量 | 250mSv | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 着用基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 炉心損傷の発生等あり | 炉心損傷の発生等なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計（ガラスバッチ） | 現場作業を行っている間も含め必ず着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計（電子式線量計） | 現場作業を行っている間も含め必ず着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク（電動ファン付全面マスクを含む。） | 必ず着用 | 管理区域内で内部被ばくのリスクがある場合に着用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自給式呼吸器 | 撤去等のおそれがある場合に着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防火服 | 火災近くでの作業を行う場合に着用 | 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急作業に係る線量限度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実効線量 | 100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に選定された者） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 着用基準 | 屋内 | 屋外 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計（ガラスバッチ） | 現場作業を行っていない間も必ず着用 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個人線量計（ポケット線量計） | 被ばくのおそれがある場合 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全面マスク | 身体汚染のおそれがある場合（内部被ばく防止）又は建屋内等において煙により消火活動に影響がある場合 | △ ^{※1} | △ ^{※1} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電動ファン付きマスク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自給式呼吸器 | 火災近くでの対応者は必ず着用 | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防火服 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急作業に係る線量限度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実効線量 | 100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に選定された者） （女子については、妊娠不能と診断された者に限る。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：泊3号炉と比較対象と
ならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>c. 火災対応時の装備品について 大規模損壊時の消火活動の装備品については、中央制御室又は、出入管理所等に配備してある防火服及びセルフエアセット等の必要な装備品を着用し消火対応を行う。</p> <p>【装備品】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人線量計 全面マスク又はセルフエアセット 防火服 <p>d. 大規模損壊対応時の留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業者は、個人線量計を携帯するとともに、適時、線量を確認し、自身の被ばく状況を把握する。（川内ヒアリング） 作業者は、被ばく管理のため、消火活動時の滞在箇所、滞在時間及び被ばく線量等の情報を確認及び記録する。 予期せぬ放射線量の上昇が確認された場合は、その場を一時的に離れ、対策本部（対策本部設置前であれば、副原子力防災管理者又は当直課長）の指示により対応する。 | <p>3. 火災対応時の装備品について 大規模損壊時の消火活動の装備品については、中央制御室又は出入管理所等に配備してある防火服及び自給式呼吸器等の必要な装備品を着用し消火対応を行う。</p> <p>(1) 装備品</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人線量計 全面マスク又は自給式呼吸器 防火服 <p>4. 大規模損壊対応時の留意事項</p> <p>作業者は、個人線量計を着用するとともに、適時、線量を確認し、自身の被ばく状況を把握する。</p> <p>作業者は、被ばく管理のため、消火活動時の滞在箇所、滞在時間及び被ばく線量等の情報を確認・記録する。</p> <p>予期せぬ放射線量の上昇が確認された場合は、その場を一時的に離れ、発電所対策本部（放射線管理班長、夜間及び休日の場合は総括責任者）又は発電課長の指示により対応する。</p> | <p>3. 火災対応時の装備品について 大規模損壊時の消火活動の装備品については、51m倉庫・車庫又は出入管理室等に配備してある防火服及び自給式呼吸器等の必要な装備品を着用し消火対応を行う。</p> <p>(1) 装備品</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人線量計 全面マスク、電動ファン付きマスク又は自給式呼吸器 防火服 <p>4. 大規模損壊対応時の留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業者は、個人線量計を着用するとともに、適時、線量を確認し、自身の被ばく状況を把握する。 作業者は、被ばく管理のため、消火活動時の滞在場所、滞在時間及び被ばく線量等の情報を確認・記録する。 予期せぬ放射線量の上昇が確認された場合は、その場を一時的に離れ、発電所対策本部（放管班長、夜間及び休日の場合は全体指揮者）又は発電課長（当直）の指示により対応する。 | <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績反映)</p> <p>【大飯】【女川】配備箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、消火活動を行う消火要員について、火災現場へ直に向かうことから、消火要員の待機場所に配備する。 <p>【大飯】装備品の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、消火要員に対して全面マスク、電動ファン付きマスク及び自給式呼吸器を配備し、現場の状況に応じていずれかを着用する。（女川は、全面マスクに電動ファン付全面マスクを含む。） <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、個人線量計は必ず着用することから、女川と同様に、「着用」と記載する。大飯も、(1)b.項にて、個人線量計については必ず着用することとしていることから、実質的な相違はない。 <p>【女川】要員名称の相違</p> |